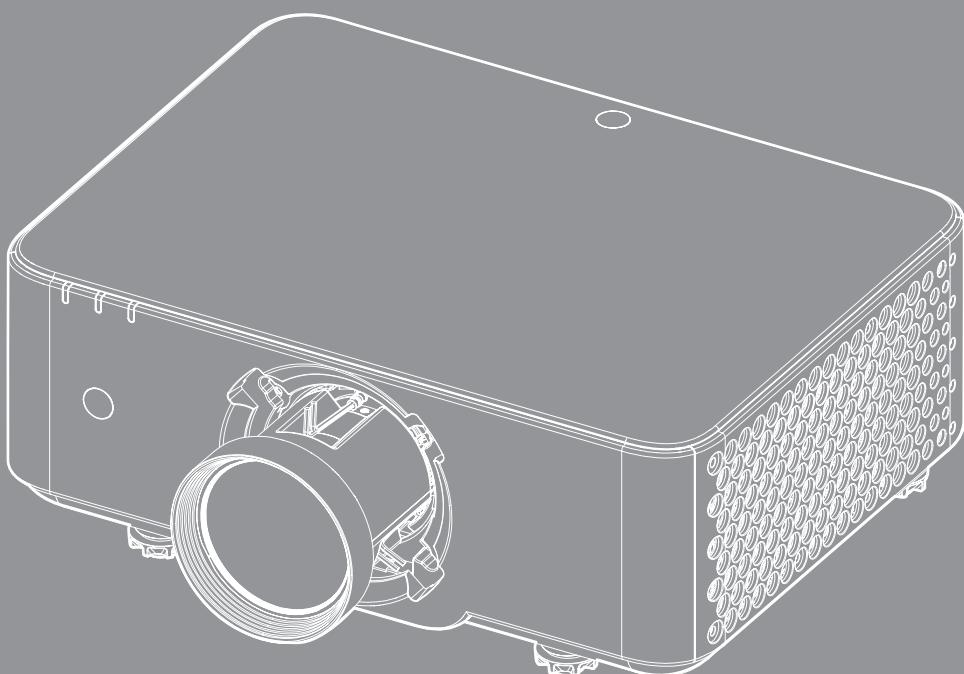




DLP® プロジェクター



ユーザーマニュアル



PJLink HDMI

CRESTRON
CONNECTED



目次

安全	4
安全に関するご注意	4
レーザー強度危険距離	6
レーザー放射安全情報	7
製品の安全ラベルと場所	8
3D 安全情報	9
レンズの清掃	9
著作権	10
免責条項	10
商標認識	10
FCC 通告	10
EU 諸国への適合宣言	11
WEEE	11
はじめに	12
パッケージの内容	12
標準アクセサリー	12
オプションのアクセサリー	13
製品の各部名称	14
接続	15
キーパッド	16
リモコン	17
設定と設置	19
投影レンズの取り付け	19
レンズゴムの再取り付け	20
照準調整	21
ソースをプロジェクターに接続する	24
プロジェクターの画像を調整する	25
プロジェクターのズームおよびフォーカスを調整する	26
プロジェクターの位置を調整する	27
リモコンの準備	29
プロジェクターを使用する	31
プロジェクターの電源オン/オフ	31
メニューの操作と機能	33
OSD メニュー ツリー	34
映像設定メニュー	48
表示設定メニュー	54
デバイス設定メニュー	61
入力設定メニュー	68
コントロール設定メニュー	69
情報メニュー	81

追加情報 83

対応解像度.....	83
RS232 ポート設定と信号接続.....	95
画像サイズと投影距離.....	96
天井への取り付け.....	100
IR リモコンコード.....	101
トラブルシューティング.....	103
LED インジケータと点灯メッセージ.....	104
仕様.....	105
手動ワープ制御手順.....	106
RS232プロトコル機能リスト	109
Optoma 社グローバルオフィス	121

安全

	正三角形内部の矢印の付いた稲妻は、製品の筐体内部に感電の恐れのある、絶縁されていない「危険な電圧」が相当な規模で存在していることをユーザーに警告するものです。
	正三角形内部の感嘆符は、機器に付属するマニュアルに、重要な操作およびメンテナンス(修理点検など)に関する指示があることをユーザーに警告するものです。

この取扱説明書で推奨されたすべての警告、安全上のご注意およびメンテナンスの指示に従ってください。

安全に関するご注意

- 通気孔を塞がないでください。プロジェクターを過熱から守り、正常な動作を保つため、通気孔を塞がないような場所に設置してください。たとえば、プロジェクターを混雑した表面に置かないでください。本棚やキャビネットなど、空気の流れを妨げる筐体にプロジェクターを置かないでください。
- 火事や感電のリスクがありますので、プロジェクターを雨や湿気にさらさないでください。ラジエータ、ヒーター、ストーブまたは熱を発生するその他の機器(アンプを含む)など、熱源のそばに設置しないでください。
- プロジェクター内部に、異物や液体が入らないよう、ご注意ください。危険な電圧部分に触れて、部品がショートしたり、火災、感電を引き起こす原因になります。
- 以下のような環境下では使用しないでください。
 - 極端に気温の高い、低い、あるいは湿気の多い場所。
 - (i) 室温が 5°C ~ 40°C (41°F ~ 104°F) の範囲に保たれていることを確認します
 - (ii) 相対湿度は 10% ~ 85% の範囲です
 - 大量のほこりや汚れにさらされる場所。
 - 強い磁場が集まる装置の傍に置く。
 - 直射日光の当たる場所。
- 物理的に破損している、または乱用された痕跡のある装置は使用しないでください。物理的なダメージや酷使とは以下の通りです(ただしこれらに限定されません):
 - 装置を落とした。
 - 電源装置のコードまたはプラグが壊れている。
 - プロジェクターに液体をこぼした。
 - プロジェクターを、雨や湿気にさらしてしまった。
 - プロジェクター内部に何らかの異物を落とした。または、内部で何かが緩んでいる音がする。
- 不安定な場所にプロジェクターを置かないでください。プロジェクターが落下して壊れたり、人身事故を起こす可能性があります。
- プロジェクターの使用中、プロジェクターのレンズから発せられる光を遮断しないでください。光が物体を暖め、溶解、火傷、火災などを引き起こす恐れがあります。
- プロジェクターのカバーを外したり、本体を分解したりしないでください。感電の原因になります。
- お客様自身でこのプロジェクターを修理しないでください。カバーを開けたり取り外したりすると、危険な電圧やその他の危険にさらされます。本機を修理に出す前に、Optoma にお電話ください。
- 安全に関するマーキングについては、プロジェクターの筐体をご覧ください。
- 本機の修理は、適切なサービススタッフだけに依頼してください。
- メーカー指定の付属品/アクセサリのみをご使用ください。
- プロジェクターの使用中、プロジェクターのレンズを直視しないでください。強力な光線により、視力障害を引き起こす恐れがあります。
- プロジェクターの電源を切るときは、冷却サイクルが完了したことを確認してから、電源コードを抜いてください。

さい。プロジェクターは、少なくとも 90 秒間、放熱させてください。

- ・ 本体のスイッチをオフにして、電源プラグをコンセントから抜いてから、本機をクリーニングしてください。
- ・ ディスプレイの筐体を洗浄する際は、中性洗剤と柔らかい乾いた布をご使用ください。本体を研磨剤、ワックス、溶剤で洗浄しないでください。
- ・ 本機を長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・ 振動や衝撃を受けるような場所にプロジェクターを設置しないでください。
- ・ レンズを素手で触らないでください。
- ・ プロジェクターの電源が入っているときはレンズを清掃しないでください。そうすることで生じた損害については保証が無効になります。
- ・ 保管前にリモコンから電池を取り外してください。長期間、電池がリモコンに入っていると、液漏れが発生する恐れがあります。
- ・ 石油または煙草からの煙が存在する可能性がある場所でプロジェクターを使用または保管しないでください。プロジェクターの性能が低下する可能性があります。
- ・ プロジェクターは正しい向きで設置してください。標準的な設置方法でなければ、プロジェクターの性能が低下する可能性があります。
- ・ 電源ストリップ、および/または、サージプロテクタを使用してください。停電または電圧低下により装置が破損する恐れがあります。
- ・ これらの要件は、ボタン電池またはコイン型電池を含む消費者製品に適用されます。これらは、その専用目的と指示により、通常または典型的にはお子様がアクセスする可能性のある場所で使用することを意図していない製品には適用されません。
- ・ 電源コードを接地する:
 - このデバイスは、電源コードを接地して使用するように設計されています。電源コードを接地しないと、感電する可能性があります。電源コードが適切に接地され、壁のコンセントに直接接続されていることを確認してください。
 - 2ピンアダプターは使用しないでください。
- ・ このプロジェクターはお子様の手の届かない場所に設置することをお勧めします。

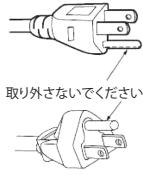


警告:

- 電源プラグのアースピンを取り外さないでください。この装置には、3 枝アースタイプの電源プラグが装備されています。このプラグは、アースタイプの電源コンセントにのみ適合します。これは安全機能です。プラグを電源コンセントに差し込めない場合は、電気技師にお問い合わせください。アースプラグの目的を無効にしないでください。

注意事項:

- この装置には、3 ピン接地タイプの電源プラグが装備されています。電源プラグの接地ピンを取り外さないでください。このプラグは、接地タイプの電源コンセントにのみ適合します。これは安全機能です。プラグをコンセントに差し込めない場合は、電気技師にお問い合わせください。接地プラグの目的を無効にしないでください。



-  表面が熱いので触れないでください。
- プロジェクターの動作中は、プロジェクターのレンズの前に手、顔、その他の物を置かないでください。そうすると、対象物が極度に熱くなり、光出力から放出される熱によって火災や損傷が発生する可能性があります。レンズの前に置かれたものが過熱して燃えたり、火災の原因となる可能性があります。
- レンズに溜まったほこりや汚れを取り除くために可燃性ガスを噴霧しないでください。火災の原因となる可能性があります。

レーザー強度危険距離

この製品は、IEC 60825-1:2014 のクラス 1 レーザー製品 - リスク グループ 2 に分類されており、IEC 62471-5: Ed.1.0 で定義されているリスク グループ 2 LIP としての適合を除き、21 CFR 1040.10 および 1040.11 にも準拠しています。詳細は、2019 年 5 月 8 日付けのレーザー通知第 57 号をご参照ください。

BX-CTA22 および BX-CTA23 レンズ (投影比 2.4 以上) を使用してセットアップされたプロジェクターは、クラス 1 レーザー製品 - リスク グループ 3 (RG3) になる可能性があり、専門家による使用のみを目的としており、一般消費者による使用は想定されていません。管理者は、危険距離 (HD) 内でのビームへのアクセスを制御するか、危険距離 (HD) 内での目の露出を防ぐ高さに製品を設置する必要があります。

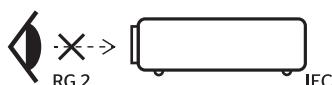
投影レンズ	スロー比	レーザー照明プロジェクター (LIP) の分類と要件	
• BX-CTA28	• 0.34-0.37		
• BX-CTA10	• 0.50-0.65		
• BX-CTA11	• 0.78-0.90		
• BX-CTA12	• 0.90-1.30		
• BX-CTA07	• 1.30-1.80		
• BX-CTA08	• 1.25-2.00		
• BX-CTA20	• 1.44-1.80		
• BX-CTA21	• 1.80-2.40		
		• HD: 該当なし	<ul style="list-style-type: none">• IEC 62471-1: 2015• IEC 60825-1: 2014• クラス 1 レーザー製品 - リスクグループ 2

投影レンズ	スロー比	レーザー照明プロジェクター (LIP) の分類と要件	
• BX-CTA22	• 2.40-4.80	• HD: 1.8 m	<ul style="list-style-type: none">• IEC 62471-1: 2015• IEC 60825-1: 2014• クラス 1 レーザー製品 - リスクグループ 3
• BX-CTA23	• 4.80-8.64	• HD: 3.6 m	

レーザー放射安全情報

安全な操作を確保するために、プロジェクターを設置して操作する前に、レーザーの安全上の注意事項をすべてお読みください。

- このプロジェクターは、IEC/EN 60825-1:2014 およびリスクグループ 2 のクラス 1 レーザー製品であり、IEC 62471-5:2015 の要件を備えています。
- IEC 62471-5:Ed.1.0 で定義されているリスクグループ 2 LIP としての適合性を除き、21 CFR 1040.10 および 1040.11 に準拠しています。詳細については、2019 年 5 月 8 日付のレーザー通知第 57 号を参照してください。
- IEC 60825-1:2014/EN 60825-1:2014+A11:2021/EN 50689:2021 クラス 1 民生用レーザー製品、IEC 62741-5:2015 リスク グループ 2。
- このプロジェクターは非常に高輝度のレーザーを使用しています。非常に明るい光により永久的な目の損傷を引き起こす可能性があるため、光線を直接見ないでください。(IEC 62471-5:2015 のリスクグループ 2)



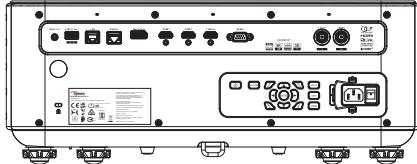
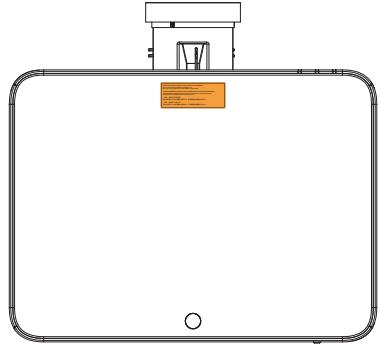
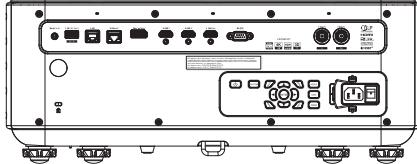
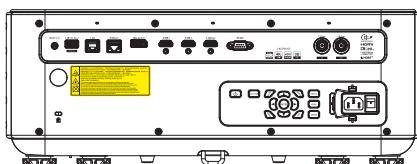
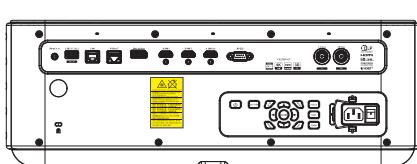
- 光線を目に入れないでください (RG2)。
- あらゆる明るい光源と同様に、光線を直接目に入れないでください (RG2 IEC 62471-5:2015)。
- 光線への直接的な露出は許可されません。(IEC 62471-5:2015 のリスクグループ 3)
- 本製品から危険な光学的照射が放射される可能性があります。
- 本製品には、クラス 4 レーザーモジュールが内蔵されています。分解または改造は非常に危険ですので、絶対に試みないでください。
- ユーザーマニュアルに記載されていない方法で操作したり、調整したりすると、危険なレーザー照射にさらされる恐れがあります。
- レーザー放射曝露による存在を引き起こす可能性がありますので、プロジェクターを開いたり、分解したりしないでください。
- プロジェクターの電源を入れるときは、レンズを見る投影範囲に人がいないことを確認してください。
- 制御、調整、操作手順を遵守しないと、レーザー放射曝露により、損害が発生する可能性があります。
- クラス 2 のアクセス可能放射制限を超過するレーザーおよび二次放射への曝露を防止し、注意事項に関連する明確な警告を含む組立、操作、保守に対する十分な指示事項。
- お子様を監視し、プロジェクターから離れた場所でプロジェクターの光線を凝視しないように注意してください。
- 投影レンズの前でリモコンを使用してプロジェクターを起動する場合は注意してください。
- ビーム内で双眼鏡や望遠鏡などの光学器具を使用しないようにユーザーに通知してください。

注意事項:

- ここで指定されているもの以外の制御や調整を使用したり、手順を実行すると、危険な放射線被ばくが生じる可能性があります。

製品の安全ラベルと場所

ライトビーム関連の安全ラベルと場所

ラベル名	ラベルの画像	ラベルの場所
仕様ラベル	 <p>注: 仕様ラベルは地域によって異なります (参考用のみ)。</p>	
警告ラベル		
警告ラベル		
警告ラベル		
警告ラベル		

3D 安全情報

推奨されるすべての警告と安全上の注意に従った上で、ご自身またはお子様が 3D 機能をご利用ください。



警告

- 幼児及び 10 代の方は、3D 鑑賞に関連する健康問題により影響を受けやすくなっています。よって、これらの画像を見る際は十分にご注意ください。

光感受性発作の警告及びその他健康面におけるリスク

- プロジェクターの画像やビデオゲームに含まれる点滅画面やライトに曝されると、一部視聴者はてんかん症状や発作を起こす恐れがあります。そのような症状が発生した場合又はてんかんや発作の家族歴がある場合、3D 機能をご使用いただく前に、医療専門家にご相談ください。
- てんかんや発作の個人歴又は家族歴がない方でも、光感受性てんかん発作を引き起こす診断未確定症状が現れる場合があります。
- 妊婦、高齢者、重症患者、不眠症患者やアルコール依存症の方は、当装置の 3D 機能のご使用はお控えください。
- 以下の症状を経験されたことがある方は、ただちに 3D 画像の鑑賞を中止し、医療専門家にお問い合わせください：(1) 視覚の変化、(2) 軽い頭痛、(3) 昏暈、(4) 眼や筋肉の引き攣りといった無意識の動作、(5) 混乱状態、(6) 吐き気、(7) 意識喪失、(8) 痙攣、(9) 急激な腹痛、及び (又は) (10) 見当識障害。幼児及び 10 代の方は大人よりこれらの症状が出やすいとされています。ご両親はお子様を監督され、これらの症状が出でないかお尋ねください。
- 3D 投影の鑑賞はまた、吐き気、知覚後遺症、見当識障害、眼精疲労、姿勢の安定性減少をもたらす恐れがあります。ユーザーはこれらの影響の可能性を削減するために、頻繁に休憩を取ることが推奨されます。目に疲労や乾き、又は上記のどれか症状が出現した場合、ただちに当機器のご使用を中止いただき、症状が落ち着いてから最低 30 分はご使用をお控えください。
- 長時間、かなり画面の近くに座って 3D 投影を鑑賞すると、視力にダメージを与える恐れがあります。理想的な鑑賞距離は、画面高さの最低 3 倍の距離となっています。また視聴者の目の位置が画面の高さにあることが推奨されます。
- 3D 眼鏡をかけながらの長時間にわたる 3D 投影の鑑賞は、頭痛や疲労を引き起こす恐れがあります。頭痛、疲労や眩暈を感じた場合、3D 投影の鑑賞を中止し、休憩してください。
- 3D 投影の鑑賞以外の目的での 3D 眼鏡のご使用はお止めください。
- その他目的 (通常の眼鏡、サングラス、保護ゴーグルなど) のための 3D 眼鏡の着用は、肉体的傷害を引き起こしたり、視力の低下をもたらす恐れがあります。
- 3D 投影の鑑賞は、一部視聴者において見当識障害を引き起こす恐れがあります。よって、広い階段の吹き抜け、ケーブル、バレコニーなどその他の転んだり、衝突したり、倒れたり、壊れたり、落ちたりする可能性がある場所の傍に 3D プロジェクターを設置しないでください。

レンズの清掃

- レンズを清掃する前に、必ず、プロジェクターの電源を切り、電源コードを切断し、完全に冷却させてください。
- 埃を取り除くために、圧縮空気タンクを使用してください。
- レンズ清掃用の特殊布を使用し、レンズを優しく拭いてください。レンズを指で触らないでください。
- レンズの清掃に、アルカリ性/酸性の溶剤またはアルコールなどの揮発性の溶剤を使用しないでください。清掃処理により、レンズが損傷した場合、保証の対象とはなりません。



警告

- レンズから埃または汚れを取り除くために、可燃性ガスを含むスプレーを使用しないでください。プロジェクター内部の過度の熱より、火災が発生する可能性があります。
- レンズ表面のフィルムが剥がれる可能性があるので、プロジェクターがウォームアップ中は、レンズを清掃しないでください。
- 硬い物でレンズを拭いたり、叩いたりしないでください。

著作権

この出版物は、すべての写真、イラスト、ソフトウェアを含め、著作権に関する国際法の下で保護され、無断複写・転載が禁じられます。このマニュアルもこの中に含まれるいかなる素材も作者の書面による同意なしで複製することはできません。

©著作権 2025

免責条項

本書の情報は予告なしで変更されることがあります。製造者は本書の内容についていかなる表明も保証もせず、特に、商品性または特定目的の適合性について、いかなる暗黙的保証も否定します。製造者は本出版物を改訂し、その内容を折に触れて変更する権利を留保します。ここで、かかる改訂または変更を通知する義務は製造者にないものとします。

商標認識

Kensington は ACCO Brand Corporation の米国登録商標であり、世界中の他国で登録され、あるいは登録申請中になっています。

HDMI、HDMI ロゴ、High-Definition Multimedia Interface は米国とその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

DLP®、DLP Link および DLP ロゴは、Texas Instruments の登録商標です。BrilliantColor™ は、Texas Instruments の商標です。

HDBaseT™ および HDBaseT Alliance ロゴは、HDBaseT Alliance の商標です。

本書に記載されているその他すべての製品名はそれぞれの所有者の財産であり、認知されています。

FCC 通告

本装置は、FCC 規則パート 15 に準拠しています。運転は、以下の 2 つの状況を前提とします：

1. 本装置は、有害な干渉を引き起こしてはならない。
2. 本装置は、不要な作動を引き起こす恐れのある干渉を含む干渉受信を許容する。

本装置は、FCC 規則パート 15 に準ずるクラス B のデジタル機器の制限に準拠することが試験によって確認されています。これらの制限は、装置が商業環境で操作されたときに有害な干渉から適切な保護を提供するように設計されています。本装置は高周波エネルギーを生成し使用しています。また、高周波エネルギーを放射する可能性があるため、取扱説明書に従って正しく設置しなかった場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。

しかし、干渉が個々の設置において発生しないと保証することはできません。本装置の電源を切ったり入れたりすることにより、本装置がラジオやテレビ受信に有害な干渉をもたらしていることが確認できる場合は、下記の手順で改善を試みてください：

- 受信アンテナの再設定又は移動。
- 本装置と受信機の距離を離す。
- 受信機の接続とは異なる回路のコンセントを本装置へ接続。
- 販売代理店又は資格のある無線/テレビ技術者へのお問い合わせ。

注意：シールドケーブル

その他コンピューターデバイスへの全ての接続は、FCC 規則を遵守するために、シールドケーブルを必ず使用して行ってください。

注意事項

本装置に対しメーカーが明確に認定していない変更や修正を加えると、連邦通信委員会で許可されているユーザー権限が無効になることがあります。

EU 諸国への適合宣言

- EMC 指令 2014/30/EU (修正案を含む)
- 低電圧指令 2014/35/EU
- 無線機器指令2014/53/EU (製品に RF 機能が搭載されている場合)
- RoHS 指令 2011/65/EU

WEEE



廃棄物についての指示

当機器を処分する際、電子装置はゴミ箱に捨てないでください。汚染を最小限に抑え、最大限グローバルな環境を保護するために、リサイクルしてください。

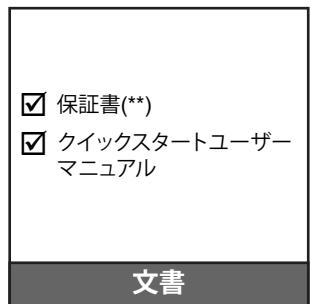
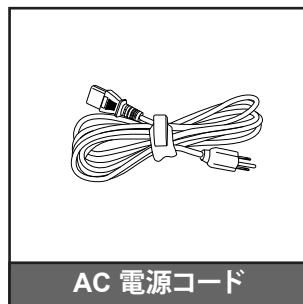
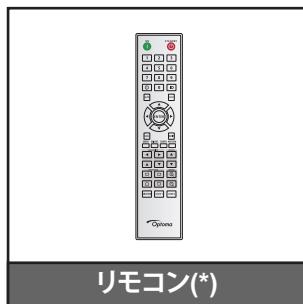
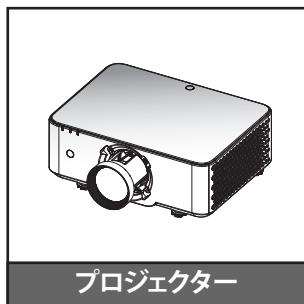
はじめに

パッケージの内容

慎重に箱から取り出し、下記に記載されている標準付属品がすべて揃っていることを確認してください。オプションの付属品については、モデル、仕様、購入地域によっては入っていない場合があります。購入場所で確認してください。地域によっては付属品が異なる場合があります。

保証書は一部の地域でのみ同封されます。詳細については、販売店にお問い合わせください。

標準アクセサリー



注:

- (*) リモコンには単4電池2本が必要です。詳細については、「リモコンの電池の取り付け/交換」(29ページ)を参照してください。
- (**) 欧州の保証情報については、[www.optoma.com](https://www.optoma.com/us/support/warranty-and-return-policy/)にアクセスしてください。



OPAM 保証の QR コードをスキャンするか、次の URL にアクセスしてください:
<https://www.optoma.com/us/support/warranty-and-return-policy/>



アジア太平洋地域の QR コードをスキャンするか、次の URL にアクセスしてください:
<https://www.optoma.com/support/download>

はじめに

オプションのアクセサリ



オプション レンズ
BX-CTA07 (1.30-1.80)



オプション レンズ
BX-CTA08 (1.25-2.00)



オプション レンズ
BX-CTA10 (0.50-0.65)



オプション レンズ
BX-CTA11 (0.78-0.90)



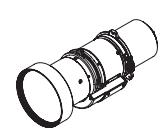
オプション レンズ
BX-CTA12 (0.90-1.30)



オプション レンズ
BX-CTA20 (1.44-1.80)



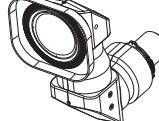
オプション レンズ
BX-CTA21 (1.80-2.40)



オプション レンズ
BX-CTA22 (2.40-4.80)



オプション レンズ
BX-CTA23 (4.80-8.64)

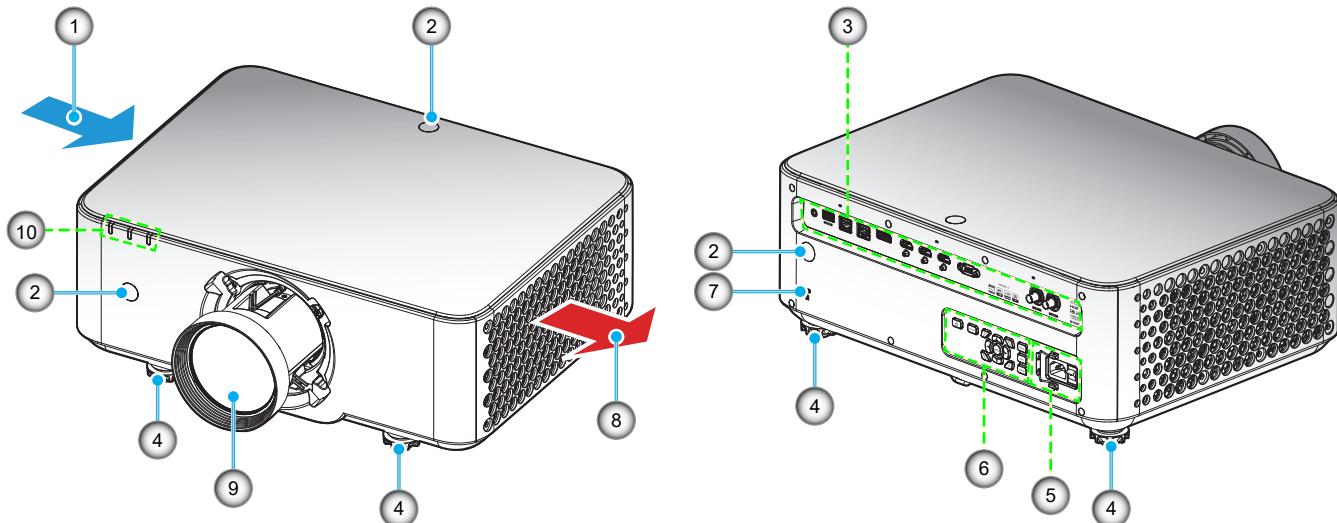


オプション レンズ
BX-CTA28 (0.34-0.37)

注: アクセサリは、モデル、仕様、地域によって異なります。

はじめに

製品の各部名称

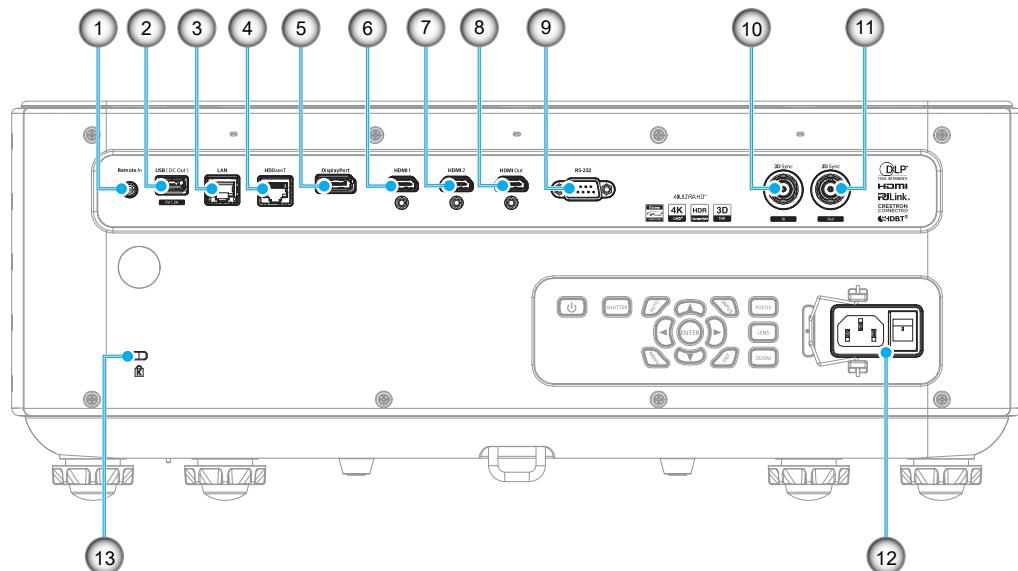


注: プロジェクタの吸気口または排気口を塞がないでください。

番号	項目	番号	項目
1.	換気 (吸気口)	6.	コントロールパネル
2.	赤外線レシーバー	7.	Kensington™ ロックポート
3.	入/出力	8.	換気 (排気口)
4.	チルト調整フット	9.	投影レンズ
5.	電源ソケット/電源スイッチ	10.	LED インジケーター

はじめに

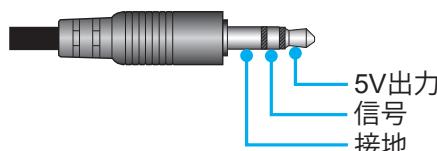
接続



番号	項目	ケーブル	接続例 ¹
1.	リモコン入力端子	有線リモコンケーブルまたは IR レシーバーケーブル (3.5mm TRS タイプ ²)	リモコン
2.	USB Type-A コネクタ	USB (A - A) ケーブル	電源供給のみ (5V/2A)
3.	LAN 入力端子	RJ-45 ケーブル	デバイス、インターネット
4.	HDBaseT 端子	RJ-45 ケーブル	HDBaseT セットトップボックス
5.	DisplayPort コネクタ	DisplayPort ケーブル	デバイス
6.	HDMI 1 端子	HDMI ケーブル	デバイス
7.	HDMI 2 端子	HDMI ケーブル	デバイス
8.	HDMI 出力コネクタ	HDMI ケーブル	スクリーン、プロジェクター、ディスプレイ機器
9.	RS-232 端子	RS-232 ケーブル	デバイス
10.	3D 同期入力端子	3D 同期ケーブル	3D 信号用デバイス
11.	3D 同期出力端子	3D エミッターケーブル	3D エミッター
12.	電源ソケット/電源スイッチ	電源コード	プロジェクター
13.	Kensington™ ロックポート	保護ケーブル	プロジェクター

注:

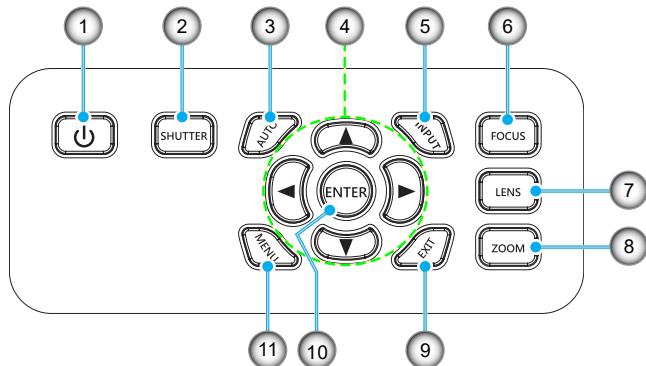
- これらは接続できるもののほんの一例です。各ポートにはさらに多くのオプションが使用できる場合があります。
- 3.5mm TRS タイプ。



- 携帯電話の充電用には推奨されません。

はじめに

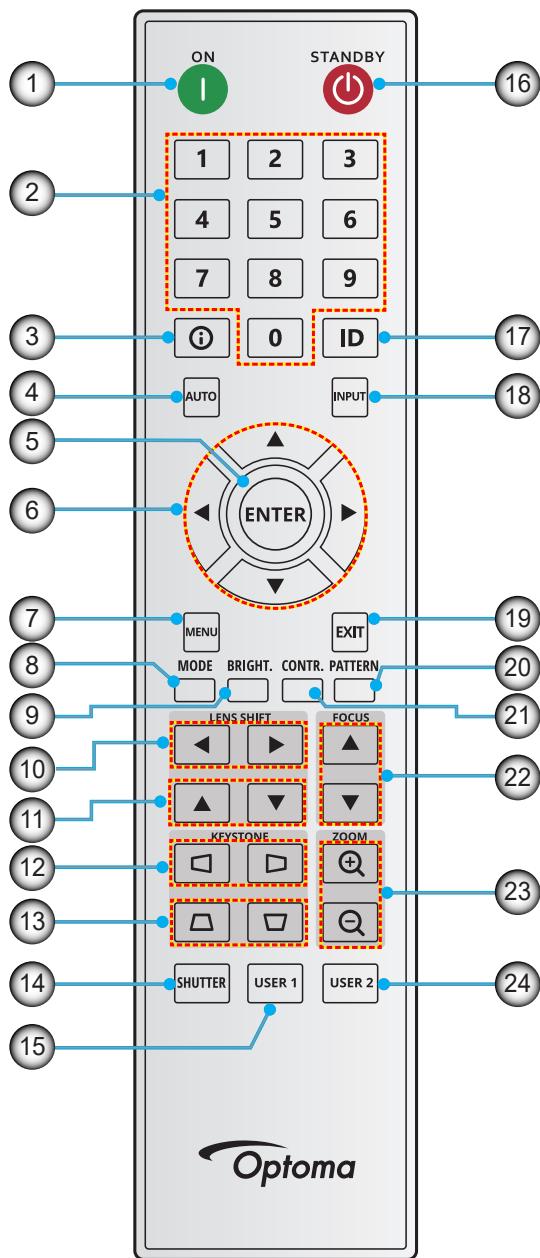
キーパッド



番号	ボタン	機能
1.	電源ボタン	プロジェクターの電源をオンまたはオフにします。
2.	シャッター	画面を一時的にオフ/オンします (AV 消音)。
3.	自動	プロジェクターが自動的に入力ソースと同期します。
4.	矢印キー	矢印キーを使用してメニュー内を移動するか、適切な設定を選択します。
5.	入力	入力信号を選択します。
6.	フォーカス	画像のフォーカスを調整します。
7.	レンズ	レンズの垂直/水平位置を調整します。
8.	ズーム	画像のサイズを調整します。
9.	戻る	前のメニューに戻るか、トップレベルの場合はメニューを終了します。
10.	決定	設定を確認します。
11.	メニュー	画面にemainメニューを表示します。

はじめに

リモコン



番号	ボタン	機能
1.	パワーオン	プロジェクターの電源を入れます。
2.	数字キー	数字 (0 ~ 9) を入力します。
3.	情報	画面画像に情報を表示します。
4.	自動	プロジェクターが自動的に入力ソースと同期します。
5.	決定	押して選択を確認します。
6.	矢印キー	矢印キーを使用してメニュー内を移動するか、適切な設定を選択します。
7.	メニュー	画面にメインメニューを表示します。
8.	モード	押して、プリセット表示モードを選択します。

はじめに

番号	ボタン	機能
9.	輝度	画像の輝度を設定します。
10.	レンズシフト (横)	画像の水平方向の位置を調整します。
11.	レンズシフト (縦)	画像の垂直方向の位置を調整します。
12.	キーストーン (水平)	水平方向のキーストーン画像を調整します。
13.	キーストーン (垂直)	垂直方向のキーストーン画像を調整します。
14.	シャッター	画面を一時的にオフ/オンします (AV 消音)。
15.	ユーザー1	押してカスタム機能を割り当てます。詳細については、ユーザーガイドを参照してください。
16.	スタンバイ	プロジェクターの電源を切れます。
17.	ID	プロジェクターのアドレスを設定します。
18.	入力	入力ソースを手動で選択します。
19.	戻る	前のメニューに戻ります。
20.	パターン	テストパターンを表示します。
21.	コントラスト	画像のコントラストを設定します。
22.	フォーカス	画像のフォーカスを調整します。
23.	ズーム	画像のサイズを調整します。
24.	ユーザー 2	押してカスタム機能を割り当てます。詳細については、ユーザーガイドを参照してください。

注: これらの機能をサポートしていないモデルの場合、一部のキーが機能しないことがあります。

設定と設置

投影レンズの取り付け

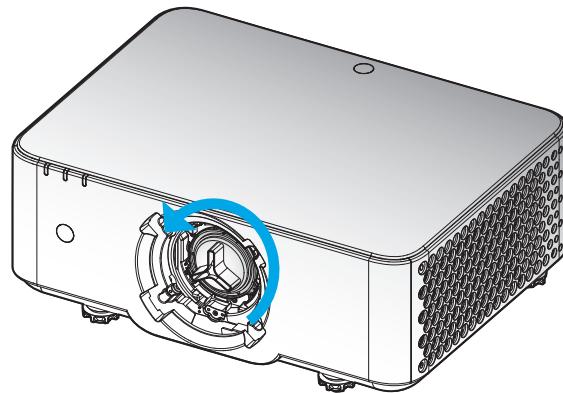
プロジェクターをセットアップする前に、投影レンズをプロジェクターに取り付けます。

重要!

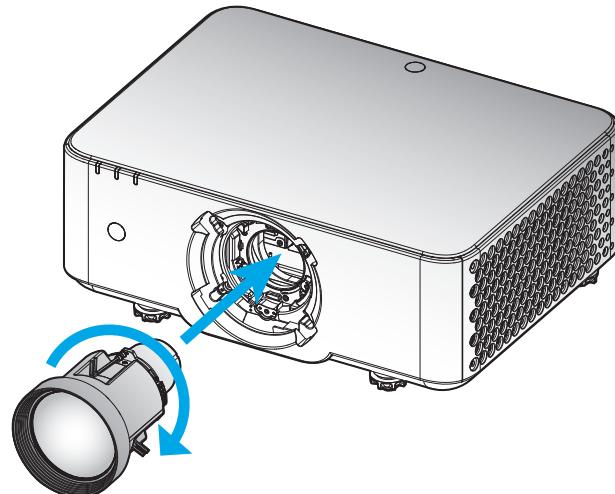
- レンズを取り付けたり交換したりする前に、プロジェクターの電源スイッチがオフになっていることを確認してください。
- レンズの取り付け中は、リモコンやプロジェクターのキーパッドを使用してレンズのシフト、ズーム、フォーカスを調整しないでください。
- レンズの損傷や人的傷害を防ぐため、プロジェクターの電源がオンのときはレンズを清掃しないでください。そうすることで生じた損害については保証が無効になります。

手順:

- レンズキャップを反時計回りに回します。次にレンズキャップを外します。



- レンズをプロジェクターに取り付けます。次にレンズを時計回りに回して固定します。



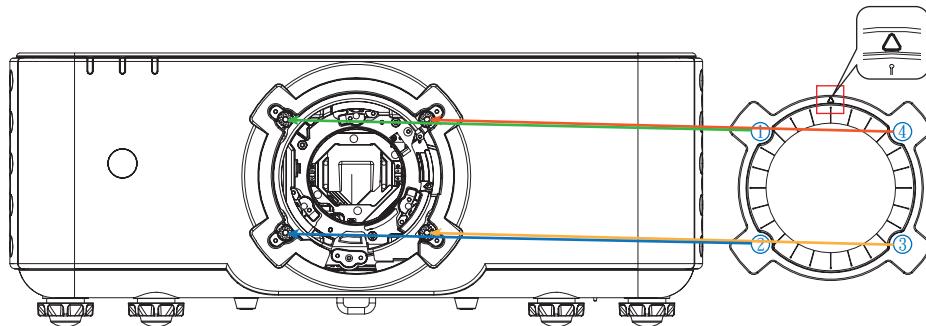
注: 逆の手順でレンズを取り外します。

設定と設置

レンズ ゴムの再取り付け

1. レンズ ゴムが外れた場合は、再度取り付ける前にレンズをプロジェクターから取り外してください。
2. レンズ キャリブレーションを実行して、レンズがプロジェクターの中央に配置されていることを確認します。OSD メニューから Device Setup → レンズ設定 → レンズキャリブレーションを選択します。
3. レンズ シフト モジュールにゴムを順番に押して取り付け直します。

注: レンズ ゴムの三角形のマークが上を向くようにします。



4. レンズをプロジェクターに慎重に取り付けます。

注:

- ゴムの損傷を防ぐため、取り付け時にゴムに過度の力を加えたり引っ張ったりしないでください。
- BX-CTA07, BX-CTA08, BX-CTA10, BX-CTA11, BX-CTA12, BX-CTA20, BX-CTA21, BX-CTA22、または BX-CTA23* レンズを交換する場合は、レンズ ゴムを取り外す必要はありません。
- BX-CTA28* レンズに交換する前に、レンズ ゴムが取り外されていることを確認してください。

設定と設置

照準調整

投影された画像の全体的な焦点が均等に鮮明でない場合にのみ、照準調整を適用します。照準調整は、レンズマウントの傾きのバランスをとって、画像の焦点が合っていない部分を鮮明にするのに役立ちます。レンズホルダーを傾けて、レンズ面と DMD 面を平行にします。

注: この照準調整プロセスにより、画像の他の領域の焦点がずれる場合があります。これは全く普通のことです。

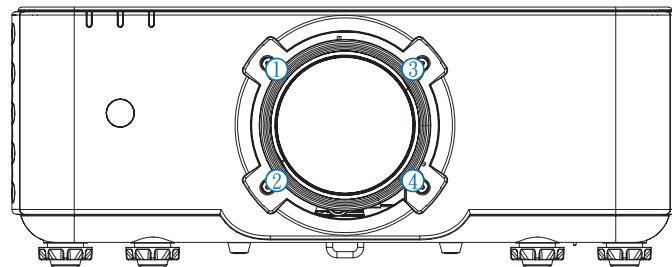
プロジェクターの起動モードの設定

1. OSD メニューから Device Setup → テストパターン → 全画面 を選択します。
2. テスト領域を準備します。設置したレンズのスロー比が設置領域の要件 (投影距離とスクリーンサイズ) と一致していることを確認します。
3. レンズが正しく取り付けられていることを確認します。

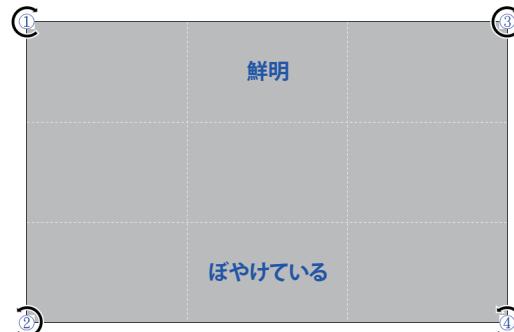
照準調整の実行

1. 六角レンチを使用して 4 つの照準ネジを調整します。

注: 一般的な六角レンチでご使用いただけます。



2. レンズを最大開口部までズームします。
3. フォーカスコントロールを調整して、投影された画像の鮮明度を最適にします。
4. 画像の垂直解像度を調整します。
 - ネジ ① と ③ を時計回りに 1/8 回転させ、ネジ ② と ④ を反時計回りに 1/8 回転させます。次に、スクリーンの上部と下部の両方で画像が鮮明になるまで繰り返します。



- ネジ ① と ③ を反時計回りに 1/8 回転させ、ネジ ② と ④ を時計回りに 1/8 回転させます。次に、スクリーンの上部と下部の両方で画像が鮮明になるまで繰り返します。



設定と設置

5. 中央の正方形の画像解像度を調整します。

- ネジ ①、②、③、④ を約 1/8 回転分時計回りに調整します。
- ネジ ①、②、③、④ を 1/16 回転分時計回りに細かく調整します。
- 次に、スクリーン全体が鮮明になるまで調整します。

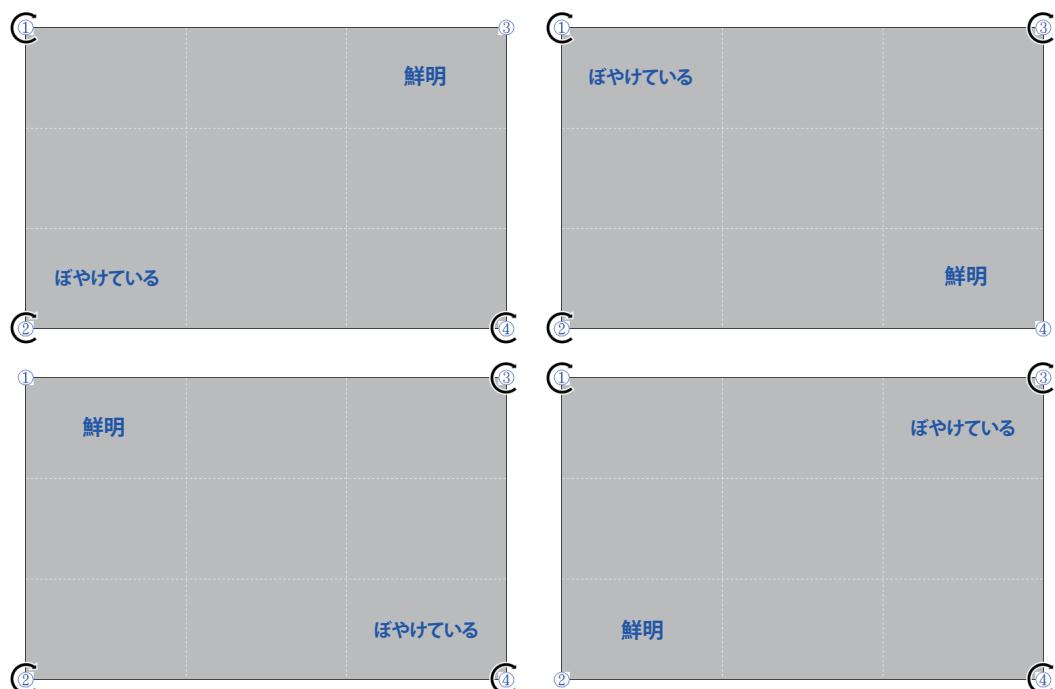


- ネジ ①、②、③、④ を約 1/8 回転分反時計回りに調整します。
- ネジ ①、②、③、④ を 1/16 回転分反時計回りに細かく調整します。
- 次に、スクリーン全体が鮮明になるまで調整します。



6. スクリーン全体が鮮明になるまで微調整します。

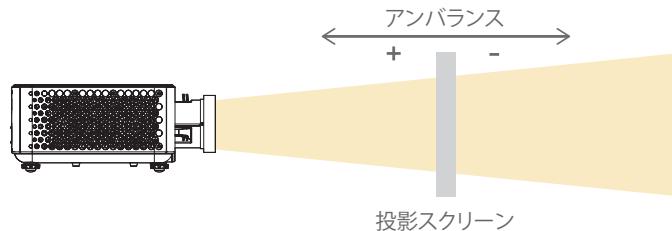
- ぼやけた領域ではネジを時計回りに 1/8 回転、隣接する領域では 11/16 回転に調整します。スクリーン全体が鮮明になるまで調整します。



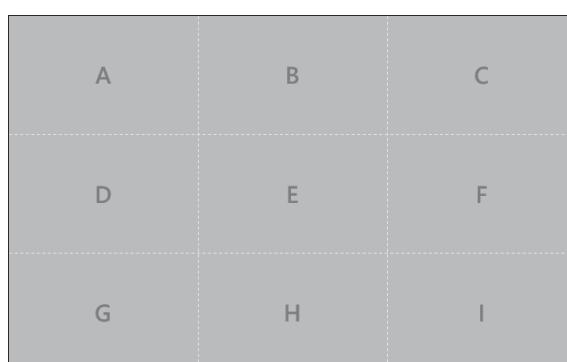
設定と設置

7. 照準をリセットします。

- プロジェクターにレンズを取り付け、4つの照準ネジを反時計回りに均等に締めます。
- 締めたネジを時計回りに2回転緩めます。
- 画面の不均衡を確認するには、フォーカスキーを選択して押し続け、最初に明確な角が特定されるまで保持してください。
- 負の不均衡の場合は照準ネジを反時計回りに調整し、正の不均衡の場合は時計回りに調整してください (下図を参照)。

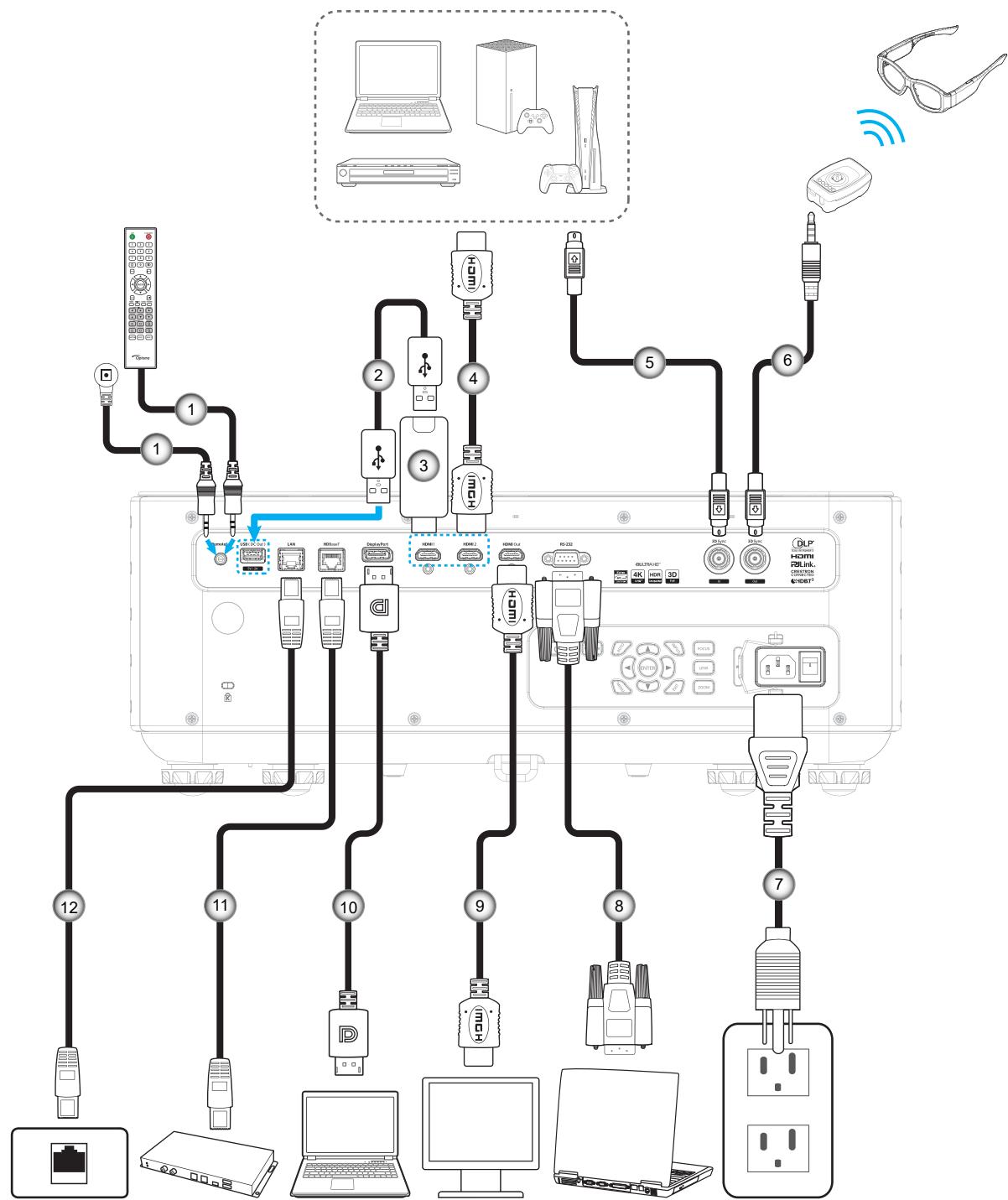


- 左右の調整については、画像ゾーンごとに次の手順に従います (手順 e の図を参照)。
 - スクリーンに近づき、A、D、G が鮮明な場合は、C、F、I に不均衡がないか調べます (上図を参照)。
 - 負の不均衡に対して C、F、I のフォーカスを調整します。
 - ネジ ① と ② を 1/8 回転分時計回りに回し、ネジ ③ と ④ を 1/8 回転分反時計回りに回します。
 - 画像が鮮明かどうかを確認します。
 - 鮮明でない場合は、不均衡を確認してその領域を鮮明にしてください。
 - 正の不均衡に対して C、F、I のフォーカスを調整します。
 - ネジ ① と ② を 1/8 回転分時計回りに回し、ネジ ③ と ④ を 1/8 回転分反時計回りに回します。
- 画像の左側と右側の両方の画像が鮮明になるまで、手順 a ~ d を繰り返します。



設定と設置

ソースをプロジェクターに接続する



番号	項目
1.	有線リモコンケーブルまたはIR レシーバーケーブル (3.5mm TRS タイプ)
2.	USB (A - A) ケーブル
3.	HDMI ドングル
4.	HDMI ケーブル

番号	項目
5.	3D 同期ケーブル
6.	3D エミッターケーブル
7.	電源コード
8.	RS-232 ケーブル

番号	項目
9.	HDMI ケーブル
10.	DisplayPort ケーブル
11.	RJ-45 ケーブル
12.	RJ-45 ケーブル

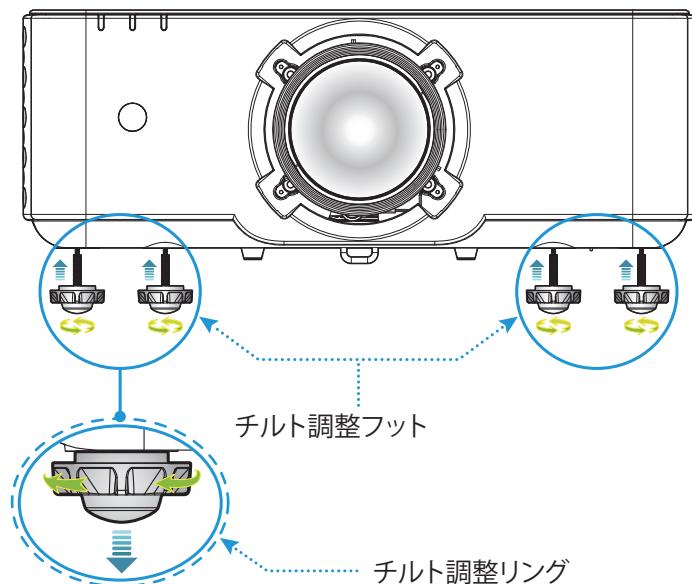
設定と設置

プロジェクターの画像を調整する

プロジェクターの高さを調整する

本プロジェクターには、投影映像の高さを調整するためのチルト調整フットがあります。

1. プロジェクターの底面の変更したい調整フットを探します。
2. 調整フットを時計方向/反時計方向に回してプロジェクターを上げ下げします。

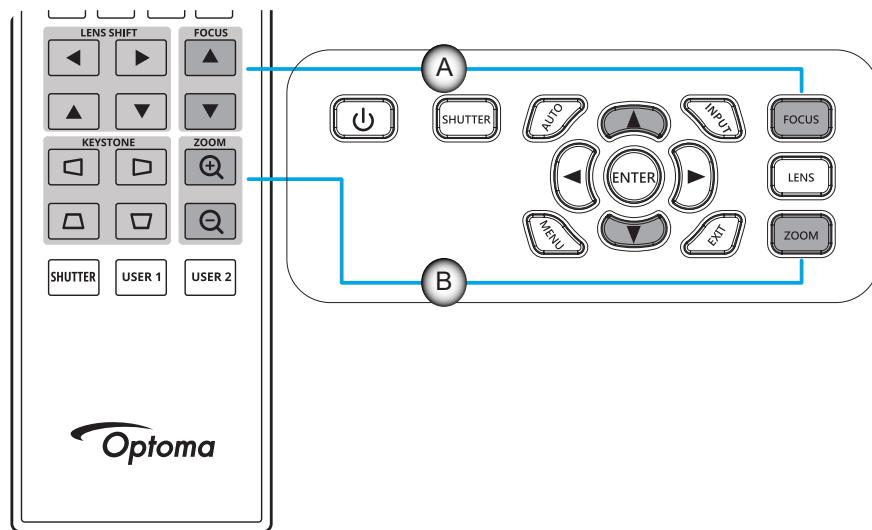


設定と設置

プロジェクターのズームおよびフォーカスを調整する

リモコンまたはプロジェクターのキーパッドを使用して、投影像のズームとフォーカスを調整します。

- 画像のフォーカスを調整するには、画像が鮮明で判読可能になるまで、リモコンまたはキーパッドの**フォーカス**ボタンと▲▼ボタンを押します。**A**
- 画像サイズを調整するには、キーパッドの**ズーム**ボタンと▲▼ボタン、またはリモコンの**Q** **Q**ボタンを押して、必要な画像サイズにします。**B**



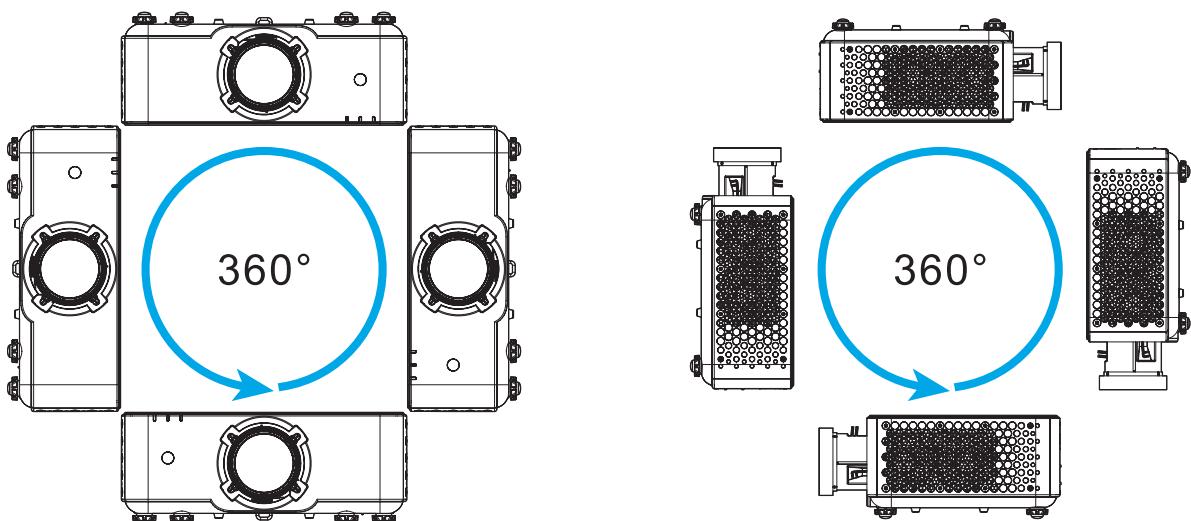
設定と設置

プロジェクターの位置を調整する

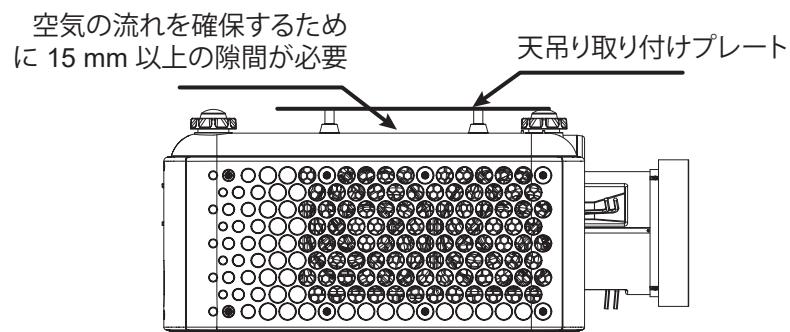
プロジェクターの設置位置を選択する場合は、スクリーンのサイズと形状、コンセントの位置、プロジェクターと残りの装置との間の距離を考慮してください。

次の一般的なガイドラインに従ってください:

- プロジェクターをスクリーンに対して直角に平らな面に置いてください。
- プロジェクターをスクリーンから希望する距離に配置してください。プロジェクターのレンズからスクリーンまでの距離、ズーム設定、およびビデオ形式によって、投影される画像のサイズが決まります。
- 360 度の自由方向操作。

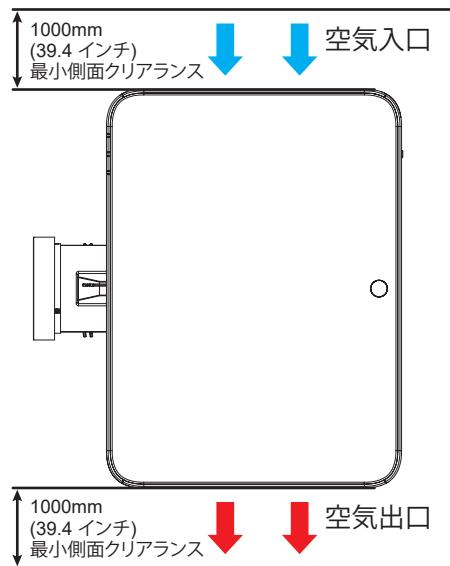


- 天井取り付けの場合は、プロジェクターの天井取り付けと下部の吸気口の間に 15 mm (0.6 インチ) を空けてください。



設定と設置

- プロジェクターの周囲に適切なスペースを確保することは、空気の循環と冷却にとって重要です。360° 設置および複数のプロジェクターの場合は、プロジェクターの吸気口と排気口の周囲に少なくとも 1000 mm (39.4 インチ) のスペースを確保してください。



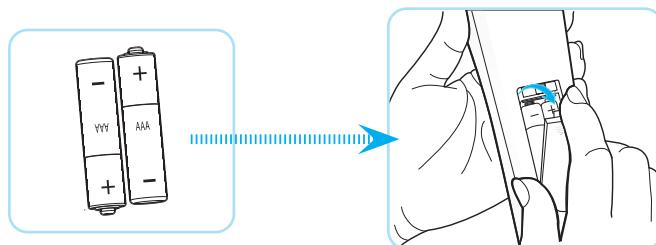
設定と設置

リモコンの準備

リモコンの電池の取り付け/交換

リモコンには単4電池2本が付属しています。

1. リモコンの背面にある電池カバーを外します。
2. 図のように単4電池をバッテリーコンパートメントに挿入します。
3. リモコンのカバーを戻します。



注: 交換には同じ電池か同種の電池のみをご利用ください。

注意事項

電池の使い方が正しくないと、化学物質の漏れや爆発が起こる恐れがあります。必ず以下の指示に従ってください。

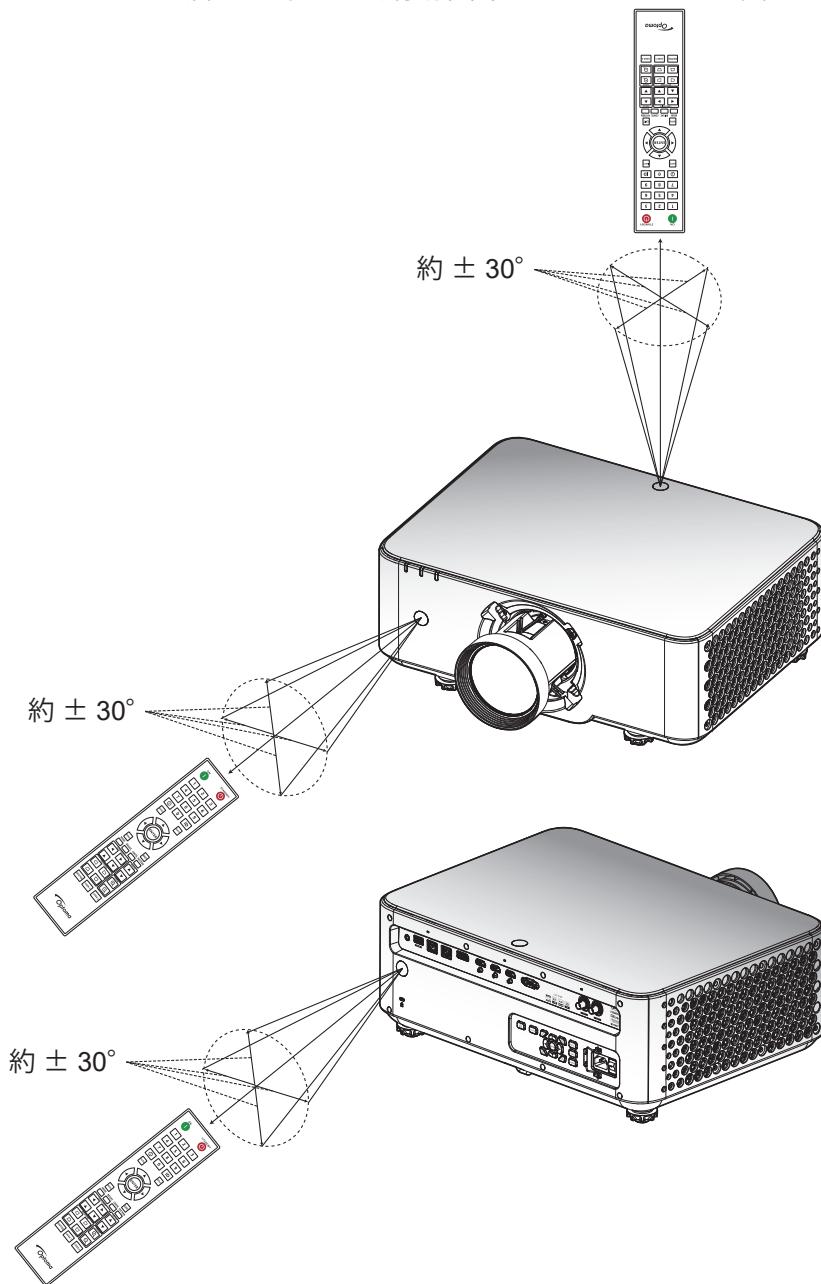
- 異なる種類の電池を混在させない。電池の種類によって特性が異なります。
- 古い電池と新しい電池を混在させない。古い電池と新しい電池を混在させると、新しい電池の寿命が短くなったり、古い電池から化学物質漏れが起こる恐れがあります。
- 使い切った電池はすぐに外してください。電池から漏れた化学物質が肌に触れると発疹が出ることがあります。化学物質漏れを発見した場合は、布で拭きとってください。
- 本製品に付属の電池は、保管状態により予想寿命が短いことがあります。
- 長時間リモコンを使用しない場合は、電池を取り外してください。
- 電池を廃棄する際は、必ず関連する地域や国の法律に従ってください。

設定と設置

リモコン有効範囲

赤外線 (IR) リモコンセンサーは、プロジェクターの上部、前面、背面にあります。プロジェクターの IR リモコンセンサーに対して 30 度以内の角度でリモコンを向けると正常に動作します。リモコンとセンサーの間の距離は、20 メートル (65.6 フィート) 以内、センサーを 0° で向ける場合は 30 メートル (98.4 フィート) 以内にしてください。

- リモコンとプロジェクターの IR センサーの間に赤外線ビームを遮断するような障害物がないことを確認します。
- プロジェクターリモコンの IR 伝送装置に太陽や蛍光灯の光を直接当てないでください。
- リモコンは蛍光灯から 2 メートル以上離さないと誤作動が起こることがあります。
- リモコンがインバータータイプの蛍光灯に近いと、動作しないことがあります。
- リモコンとプロジェクターの距離が近いと、リモコンが動作しないことがあります。
- スクリーンに向けるときは、リモコンからスクリーンまでの有効距離が 5 メートル以内であれば、IR ビームが反射してプロジェクターに届きます。ただし、有効範囲はスクリーンによって変わることがあります。

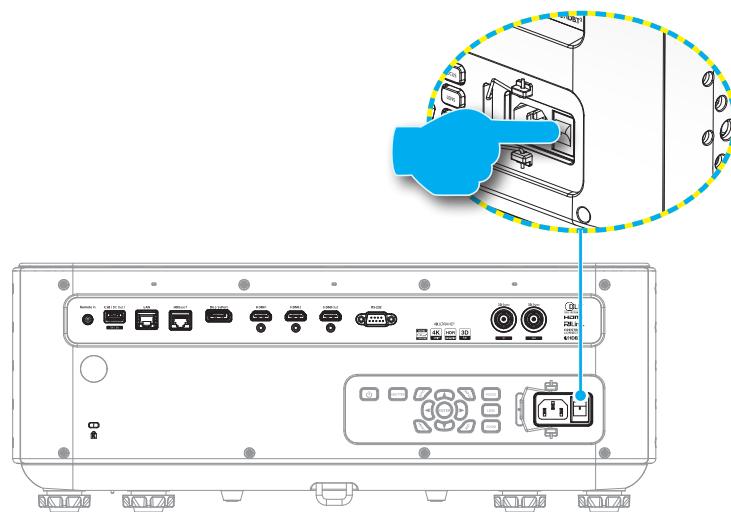


プロジェクターを使用する

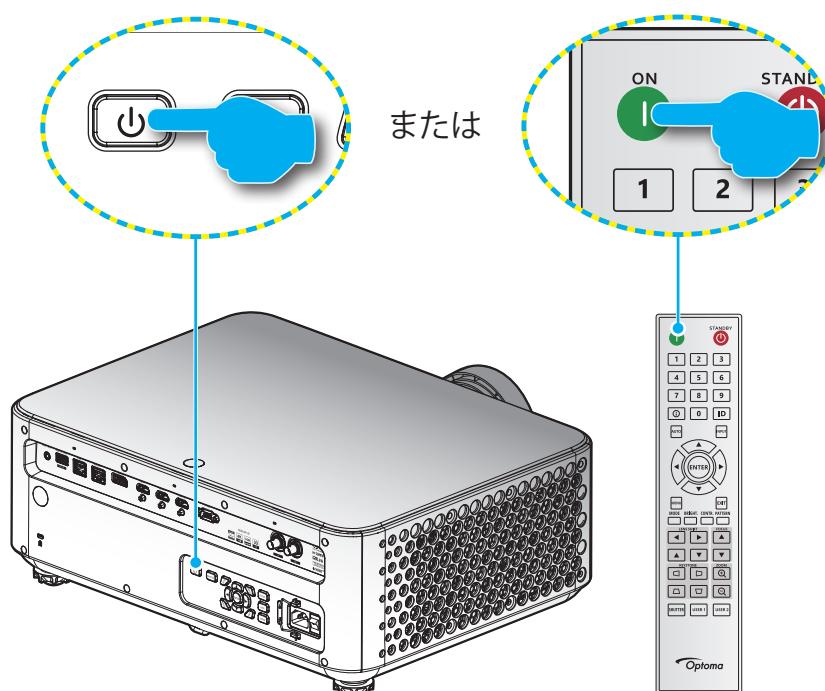
プロジェクターの電源オン/オフ

電源オン

1. 電源コードと信号/ソースケーブルをしっかりと接続します。接続すると、電源 LED が赤色に点灯します。
2. 電源スイッチを「I」(オン) 位置に設定し、プロジェクターのキーパッドの「①」が白色に点灯するまで待機してください。



3. プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの「①」ボタンを押し、プロジェクターの電源を入れます。起動中、電源 LED は赤色に点滅し、通常動作中、電源 LED は緑色に点灯します。

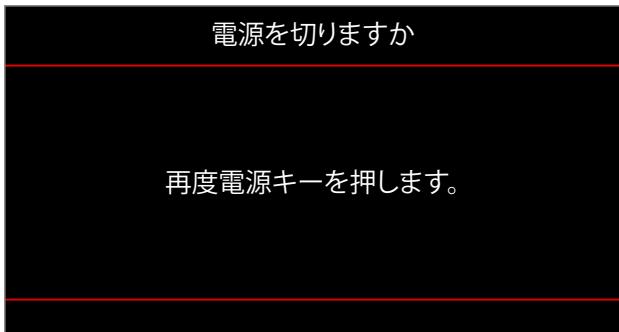


注: プロジェクターを初めてオンにする場合は、プロジェクターの言語、投影方向、その他の設定を選択するように求められます。

プロジェクターを使用する

電源オフ

1. プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの「」ボタンを押し、プロジェクターの電源を切ります。次のメッセージが表示されます。



2. 「」ボタンを再び押して確認します。ボタンを押さない場合、15秒後にメッセージが消えます。2回目に「」ボタンを押すと、プロジェクターはシャットダウンします。
3. 冷却サイクルの間、電源 LED は緑色に点滅します。電源 LED が赤色に点灯すると、プロジェクターはスタンバイモードに入っています。プロジェクターの電源を再び入れる場合、冷却サイクルを終了し、スタンバイモードに入るまで待つ必要があります。プロジェクターがスタンバイモードに入ったら、プロジェクターキーパッドの「」ボタンまたはリモコンの「」を押すだけで、プロジェクターの電源が再び入ります。
4. 電源コードをコンセントおよびプロジェクターから抜きます。

注:

- 電源を切った直後にプロジェクターの電源を入れる行為は推奨されません。
- デフォルトでは、プロジェクターは、20分間使用されない場合、自動的に電源が切れます。アイドル時間の長さを「自動電源オフ(分)」メニューの「Device Setup → 電源設定」で変更できます。代わりに、プロジェクターをスタンバイモードに移行させたい場合は、自動電源オフ機能を無効にして、スリープ時間間隔「Device Setup → 電源設定 → スリープタイマー(分)」で設定してください。

プロジェクターを使用する

メニューの操作と機能

プロジェクターには多言語オンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューが搭載されており、画像を調整したり、さまざまな設定を変更したりできます。

1. OSD メニューを開くには、プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの**メニュー**ボタンを押します。
2. メインメニューまたはサブメニューを選択するには、▲▼ ボタンを使用してそれを強調表示します。次に、**Enter** ボタンを押してサブメニューに入ります。
3. 戻るボタンを押して前のメニューに戻るか、トップレベルの場合は OSD メニューを終了します。
4. 機能値を調整するための設定方法やオプションを選択します。
 - スライドバーの値を調整するには、機能を強調表示し、◀▶ ボタンを使用して値を変更します。
 - チェックボックスをオンまたはオフにするには、機能を強調表示して**決定**キーを押します。
 - 数字または記号を入力するには、数字または記号を強調表示し、▲▼ ボタンを使用して選択します。リモコンまたはキーパッドの数字キーを使用することもできます。
 - 機能オプションを選択するには、▲▼◀▶ ボタンを使用して選択します。ナビゲーションバーに**決定**アイコンが表示されない場合は、強調表示されたオプションが自動的に適用されます。ナビゲーションバーに**決定**アイコンがある場合は、「**決定**」を押して選択を確定します。



番号	項目	番号	項目
1.	映像設定メニュー	4.	入力設定メニュー
2.	表示設定メニュー	5.	コントロール設定メニュー
3.	デバイス設定メニュー	6.	情報メニュー

プロジェクターを使用する

OSD メニュー ツリー

メインメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	サブメニュー 5	サブメニュー 6 値
映像設定	ピクチャモード				鮮明
					HDR
					HLG
					シネマ
					リファレンス
					高輝度
					DICOM SIM.
					ブレンディング
					3D
					ハイフレームレート
					ユーザー
ダイナミックレンジ	HDR				オフ
					自動
		HDR ピクチャ モード			高輝度
					標準
					フィルム
					詳細
輝度					-50 ~ 50
コントラスト					-50 ~ 50
シャープネス					1 ~ 15
ガンマ					フィルム
					グラフィック
					1.8
					2.0
					2.2
					2.4
					鮮明
					3D
					黒板
					DICOM SIM.
					HDR
ダイナミックコントラスト	ダイナミックブラック				オフ
					オン
		速度			1 ~ 255
		強さ			0 ~ 3
		レベル			50% ~ 100%
		エクストリームブラック			オフ
					オン
		AV Mute Timer			0.0 秒 ~ 10.0 秒
		Black Signal Level			0 ~ 255
色設定	色の濃さ				0 ~ 100
	色あい				0 ~ 100
	BrilliantColor™				0 ~ 10
	色温度				低
					標準
					高
					冷色

プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	サブメニュー 5	サブメニュー 6 値
映像設定	色設定	カラーマッチング	自動テストパターン		オフ オン
			赤	色あい 彩度 Luminance リセット	0 ~ 254 0 ~ 254 0 ~ 254 はい キャンセル
			緑	色あい 彩度 Luminance リセット	0 ~ 254 0 ~ 254 0 ~ 254 はい キャンセル
			青	色あい 彩度 Luminance リセット	0 ~ 254 0 ~ 254 0 ~ 254 はい キャンセル
		シアン		色あい 彩度 Luminance リセット	0 ~ 254 0 ~ 254 0 ~ 254 はい キャンセル
		マゼンタ		色あい 彩度 Luminance リセット	0 ~ 254 0 ~ 254 0 ~ 254 はい キャンセル
		黄		色あい 彩度 Luminance リセット	0 ~ 254 0 ~ 254 0 ~ 254 はい キャンセル
		白	赤 緑 青 リセット		0 ~ 254 0 ~ 254 0 ~ 254 はい キャンセル
	ホワイトバランス		赤ゲイン 緑ゲイン 青ゲイン 赤オフセット 緑オフセット 青オフセット		0 ~ 100 0 ~ 100 0 ~ 100 0 ~ 100 0 ~ 100 0 ~ 100

プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	サブメニュー 5	サブメニュー 6 値
映像設定	色設定	カラースペース			自動
					RGB (0-255)
					RGB (16-235)
					REC709
					REC601
壁色補正					オフ
					黒板
					ライトイエロー
					ライトグリーン
					ライトブルー
					ピンク
					グレー
3D 設定	3D モード				オフ
					自動
	3D同期タイプ				DLPリンク
					3D 同期
	3D映像フォーマット				自動
					フレームパッキング
					サイドバイサイド
					トップアンドボトム
					フレームシーケンシャル
	3D同期反転				オフ
					オン
	3D同期アウト				エミッターへ
					次のプロジェクタへ
	フレーム遅延				1 ~ 202
	リセット				はい
					キャンセル
リセット					はい
					キャンセル
ディスプレイ設定	光源の設定	光源モード			標準
					Ecoモード
					カスタム輝度
	輝度レベル				10% ~ 100%
	一定輝度				オフ
					オン
	低レイテンシーモード				オフ
					オン
	アスペクト比				4:3
					16:9
					21:9
					LBX
					自動
					ネイティブ

プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	サブメニュー 5	サブメニュー 6 値
ディスプレイ設定	デジタルズーム	比例			オフ オン
		水平			50% ~ 400%
		垂直			50% ~ 400%
		Horizontal Shift			0 ~ 100
		Vertical Shift			0 ~ 100
		リセット			はい キャンセル
画像シフト		水平			0 ~ 100
		垂直			0 ~ 100
ジオメトリ補正	ワープ制御				基本 詳細設定 AP
		基本	キーストン	水平 垂直	0 ~ 40 0 ~ 40
			ピンクッション	水平 垂直	0 ~ 100 0 ~ 100
			4コーナー	左上 右上 左下 右下	
詳細設定		グリッドカラー			緑 マゼンタ 赤 シアン
		グリッド背景			黒色 透明
	ワープ設定	グリッド ポイント			2x2 3x3 5x5 9x9 17x17
		ワープインナー			オフ オン
		ワープシャープネス			0 ~ 9
ブレンド設定	ブレンド幅				
		オーバーラップグリッド番号			4 6 8 10 12
		ガンマ			1.8 1.9 2.0 2.1 2.2 2.3 2.4

プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	サブメニュー 5	サブメニュー 6 値
ディスプレイ設定	ジオメトリ補正	詳細設定	ブラックレベル	範囲	下
					上部
				有効にする	オフ
					オン
				編集エリア	
			輝度	輝度	
			赤	0 ~ 255	
			緑	0 ~ 255	
			青	0 ~ 255	
			境界	オフ	
					オン
			赤	0 ~ 255	
			緑	0 ~ 255	
			青	0 ~ 255	
		リセット	下	はい	
					キャンセル
			上部	はい	
					キャンセル
			全部	はい	
					キャンセル
	メモリ	メモリの節約		メモリ 1 ~ メモリ 5	
		メモリの適用		メモリ 1 ~ メモリ 5	
		メモリの消去		はい	
					キャンセル
	リセット			はい	
					キャンセル
エッジマスク				0 ~ 10	
PIP/PBP		スクリーン		オフ	
				ピップ	
				PBP	
	メイン入力			HDMI 1	
				HDMI 2	
				DisplayPort	
				HDBaseT	
	サブ入力			HDMI 1	
				HDMI 2	
				DisplayPort	
				HDBaseT	
スワップ					
大きさ				小	
				中	
				大	

プロジェクターを使用する

メインメニュー サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	サブメニュー 5	サブメニュー 6 値
ディスプレイ設定 PIP/PBP	位置			PBP メインが左
				PBP メインが上
				PBP メインが右
				PBP メインが下
				PIP 右下
				PIP 左下
				PIP 左上
				PIP 右上
リセット				はい
				キャンセル
Device Setup テストパターン				オフ
				緑のグリッド
				マゼンタのグリッド
				白グリッド
				白
				黒色
				赤
				緑
				青
				黄
				マゼンタ
				シアン
				ANSI コントラスト 4x4
				かーばー
				全画面表示
投射位置	天吊り			自動
				オン
				オフ
	背面			オフ
				オン
言語				English
				Deutsch
				Français
				Italiano
				Español
				Português
				Polski
				Nederlands
				Svenska
				Norsk
				Dansk
				Suomi
				ελληνικά
				中文(繁)
				中文(简)

プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	サブメニュー 5	サブメニュー 6 値
Device Setup	言語				日本語
					한국어
					Русский
					Magyar
					Čeština
					ไทย
					Türkçe
					Tiếng Việt
					Bahasa Indonesia
					Română
メニュー設定	メニュー位置				左上
					右上
					中央
					左下
					右下
	透明度				0 ~ 9
	メニュータイマー				オフ
					5秒
					10秒
					20秒
					30秒
					60秒
	信号表示				オフ
					オン
高地モード					オフ
					オン
レンズ設定	レンズタイプ				(読み取り専用)
	フォーカス				+
					-
	ズーム				⊕
					⊖
	レンズ機能				ロック済み
					ロック解除
	レンズシフト				▲
					▼
					◀
					▶
	レンズキャリブレーション				はい
					キャンセル
レンズメモリ	メモリの節約				メモリ 1~メモリ 5
	メモリの適用				メモリ 1~メモリ 5
	メモリの消去				はい
					キャンセル
リセット					はい
					キャンセル

プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	サブメニュー 5	サブメニュー 6 値
Device Setup	スケジュール	日付および時刻			----/--/-- --:--
		スケジュールモード			オフ オン
		今日を表示			月曜日/火曜日/水曜日/ 木曜日/金曜日/土曜日/ 日曜日
		月曜日/火曜日/水曜日/木曜日/ 金曜日/土曜日/日曜日	スケジュール有効		オフ オン
		イベント 01-16	時刻	00:00 ~ 23:59	
			機能	オフ	
				電源設定	
				入力ソース	
				光源モード	
				シャッター	
			イベント	オフ	
			(機能 = 電源設定)	電源オン	
				電源を切りますか	
			(機能 = 入力ソース)	HDMI 1	
				HDMI 2	
				DisplayPort	
				HDBaseT	
			(機能 = 光源モード)	標準	
				Ecoモード	
				カスタム輝度	
			(機能 = シャッター)	シャッターオン	
				シャッターオフ	
			リセット	はい	
				キャンセル	
		イベントのコピー先		月曜日	
				火曜日	
				水曜日	
				木曜日	
				金曜日	
				土曜日	
				日曜日	
		日付のリセット		はい	
				キャンセル	
		スケジュールのリセット		はい	
				キャンセル	
日付および時刻	クロックモード			NTP サーバーの仕様	
				手動	
	日付			2000 ~ 2037 (年)	
				01 ~ 12 (月)	
				01 ~ 31 (日)	

プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	サブメニュー 5	サブメニュー 6 値
Device Setup	日付および時刻	時刻			00 ~ 23 (時間)
					00 ~ 59 (分)
	夏時間				オフ
					オン
	NTP サーバー				time.google.com
					asia.pool.ntp.org
					europe.pool.ntp.org
					north-america.pool.ntp.org
	タイムゾーン				
	更新間隔				時間ごと
					日ごと
	適用				
電源設定	電源検知オートパワーオン				オフ
					オン
	信号検知オートパワーオン				オフ
					オン
	自動電源オフ(分)				0、2 ~ 180
	スリープタイマー(分)				0 ~ 960
	Energy Saving				オフ
					オン
	電源モード(スタンバイ)				エコ
					アクティブ
					通信
	USB給電				オフ
					オン
	リセット				はい
					キャンセル
OMS					(パインド ダイアログ ボックスのポップアップ表示) (パインド情報の表示)
シャッター	フェードイン				0 秒 ~ 5 秒
	フェードアウト				0 秒 ~ 5 秒
	起動				シャッターオフ
					シャッターオン
セキュリティ	セキュリティ				オフ
					オン
	セキュリティタイマー	月			0 ~ 35
		日			0 ~ 29
		時			0 ~ 23
	パスワードの変更				
キーパッドロック					オフ
					オン
バックライト	キーパッドロック				オフ
					オン
	電源キー				オフ
					オン

プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	サブメニュー 5	サブメニュー 6 値
Device Setup	起動画面	ロゴの変更			デフォルト
					ニュートラル
					ユーザー
		ロゴの削除			はい
					キャンセル
	背景色				なし
					青
					赤
					緑
					グレー
					白
					ロゴ
ユーザーデータ		すべての設定を保存			メモリ 1 ~ メモリ 5
		すべての設定を読み込む			メモリ 1 ~ メモリ 5
システム更新	自動				オフ
					オン
	Auto Download				オフ
					オン
		更新します。			はい
					キャンセル
デバイスリセット	OSD をリセットします				はい
					キャンセル
	すべての設定をリセット				はい
					キャンセル
選択をリセット	映像設定				はい
					キャンセル
	ディスプレイ設定				はい
					キャンセル
	Device Setup				はい
					キャンセル
	Input Settings				はい
					キャンセル
	コントロール設定				はい
					キャンセル
Input Settings	オートソース				オフ
					オン
Quick Resync					オフ
					オン
Active Inputs					HDMI 1
					HDMI 2
					DisplayPort
					HDBaseT

プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	サブメニュー 5	サブメニュー 6 値
Input Settings	EDID Settings	HDMI 1 EDID			1.4
					2.0
		HDMI 2 EDID			1.4
					2.0
		HDBaseT EDID			1.4
					2.0
HDMI Out					HDMI 1
					HDMI 2
リセット					はい
					キャンセル
コントロール設定	デバイスID				0 ~ 99
リモコン受光設定	フロント				オフ
					オン
	上部				オフ
					オン
	背面				オフ
					オン
	HDBaseT				オフ
					オン
リモコン設定	リモートコード				0 ~ 99
	高速スイッチングコード				オフ
					1 ~ 9
	ユーザー1				HDMI 1
					HDMI 2
					カラーマッチング
					色温度
					投射位置
					光源モード
					フリーズ
					LAN
					選択をリセット
	ユーザー2				HDMI 1
					HDMI 2
					カラーマッチング
					色温度
					投射位置
					光源モード
					フリーズ
					LAN
					選択をリセット
LAN	LAN インターフェイス				RJ-45
					HDBaseT
	ネットワーク情報				接続 (読み取り専用)
					切断 (読み取り専用)
	MACアドレス				(読み取り専用)
	DHCP				オフ
					オン

プロジェクトを使用する

メインメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	サブメニュー 5	サブメニュー 6 値
コントロール	設定 LAN	IPアドレス			---
		サブネットマスク			---
		ゲートウェイ			---
	DNS 1				---
	DNS 2				---
	適用				はい
					キャンセル
	リセット				はい
					キャンセル
コントロール	クリストロン				オフ
					オン
	PJ リンク				オフ
					オン
	エクストロン				オフ
					オン
	AMX デバイス検出				オフ
					オン
	Telnet				オフ
					オン
	HTTP				オフ
					オン
	Art-Net				オフ
					オン
					(2.X.X.X)
					(10.X.X.X)
Art-Net	Net				0 ~ 127
	Subnet				0 ~ 15
	Universe				0 ~ 15
	Channel Settings				ユーザー1
					ユーザー2
	Edit Channel	ユーザー1	1		Art-Net
			2		光源の設定
			3		Active Inputs
			4		レンズシフト (H)
			5		レンズシフト (V)
			6		フォーカス
			7		ズーム
			8		レンズ機能
			9		Lens Control
			10		レンズメモリ
			11		水平キーストン
			12		垂直キーストン
			13		電源
			14		シャッター
			15		フリーズ
			16		テストパターン
			リセット		はい
					キャンセル

プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	サブメニュー 5	サブメニュー 6 値
コントロール設定	Art-Net	Edit Channel	ユーザー2	1	なし
				2	なし
				3	なし
				4	なし
				5	なし
				6	なし
				7	なし
				8	なし
				9	なし
				10	なし
				11	なし
				12	なし
				13	なし
				14	なし
				15	なし
				16	なし
				リセット	はい
					キャンセル
ボーレート					9600
					19200
					38400
					57600
					115200
リセット					はい
					キャンセル
情報	制御				
	シリアル番号				
	ソース情報	ソース			
		解像度			
		信号形式			
		ピクセルクロック			
		リフレッシュレート			
		色深度			
		色域			
		カラースペース			
		ピクチャーモード			
		サブ入力			
		解像度			
		信号形式			
		ピクセルクロック			
		リフレッシュレート			
		色深度			
		色域			
		カラースペース			
	光源モード				
	デバイスID				
	リモートコード				

プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	サブメニュー 5	サブメニュー 6 値
情報	システムステータス	電源モード(スタンバイ)			
		投影時間			
		Total Hours			
		標準			
		Ecoモード			
		カスタム輝度			
		周囲温度			
		内部温度			
		圧力 (hPa)			
		Humidity			
コントロール		クレストロン			
		エクストロン			
		PJ リンク			
		AMX デバイス検出			
		Telnet			
		HTTP			
		Art-Net			
	Art-Net Status	Channels			ユーザー1
		1			Art-Net
		2			光源の設定
		3			Active Inputs
		4			レンズシフト (H)
		5			レンズシフト (V)
		6			フォーカス
		7			ズーム
		8			レンズ機能
		9			Lens Control
		10			レンズメモリ
		11			水平キーストン
		12			垂直キーストン
		13			電源
		14			シャッター
		15			フリーズ
		16			テストパターン
LAN	LAN インターフェイス				
	MACアドレス				
	ネットワーク情報				
	DHCP				
	IPアドレス				
	サブネットマスク				
	ゲートウェイ				
	DNS 1				
	DNS 2				
FW/バージョン					

プロジェクターを使用する

映像設定メニュー

画像設定を構成する方法について説明します。

サブメニュー

- ピクチャモード
- ダイナミックレンジ
- 輝度
- コントラスト
- シャープネス
- ガンマ
- ダイナミックコントラスト
- 色設定
- 壁色補正
- 3D 設定

ピクチャモード

表示の好みに合わせて選択できる、事前定義されたディスプレイモードがいくつかあります。各モードは、幅広いコンテンツに対して優れた色性能を保証するために、専門のカラーチームによって微調整されています。

鮮明

このモードでは、彩度と輝度のバランスがうまくとられます。ゲームプレー用にこのモードを選択してください。

HDR / HLG

ハイダイナミックレンジ (HDR)/Hybrid Log Gamma (HLG) コンテンツを復号し、表示し、REC.2020 色範囲で濃い黒、明るい白、映画のように鮮やかな色を再現します。このモードは、HDR/HLG が自動に設定されている場合、自動的に有効になります (HDR/HLG コンテンツがプロジェクターに送信されます – 4K UHD Blu-ray、1080p/4K UHD HD/HLGR ゲーム、4K UHD ストリーミングビデオ)。HDR/HLG モードが有効なとき、他のディスプレイモード (映画や参照など) は選択できません。HDR/HLG は、他のディスプレイモードの色パフォーマンスを超える、非常に精密な色を再現するからです。

シネマ

映画鑑賞に最適なディテールと色のバランスを提供します。

リファレンス

このモードは、映画監督が意図したように、画像にできるだけ近い色を再現します。色、色温度、輝度、コントラスト、ガンマの設定はすべて Rec.709 の色域に設定されています。映画を見ているときに最も正確な色再現を行うには、このモードを選択します。

高輝度

このモードは、明るい部屋でプロジェクターを使用するなど、非常に高い輝度が必要な環境に適しています。

DICOM SIM.

このモードは、医療訓練中の X 線画像および走査画像の閲覧など、グレースケール画像の確認用に開発されました。

ブレンディング

複数台のプロジェクターを使用する場合、このモードは目に見えるバンディングを除去し、スクリーン全体に 1 つの明るく高解像度の画像を作成できます。

プロジェクターを使用する

3D

3D コンテンツを視聴するための最適化された設定。

注: 3D 効果を体験するには、互換性のある *DLP Link 3D* メガネを用意する必要があります。詳細については、「3D」のセクションをご覧ください。

ハイフレームレート

高フレーム レート (HFR) とは、従来の一般的な方法よりも高いフレーム レートを指します。

ユーザー

鮮明に基づいて、ユーザーは色設定を調整して保存できます。

注:

- 3D モードが選択されているときは、鮮明、HDR、HLG、シネマ、sRGB、高輝度、DICOM SIM、ブレンディング、ハイフレームレート モードは利用できません。
- ブレンディング モードが選択されているときは、HDR、HLG、3D、ハイフレームレート モードは利用できません。

ダイナミックレンジ

4K Blu-ray プレーヤーやストリーミングデバイスからビデオを表示するときの HDR (ハイダイナミックレンジ) 設定とその効果を構成します。

HDR

- オフ:** HDR 処理をオフに切り替えます。オフに設定すると、プロジェクターは HDR コンテンツを復号しません。
- 自動:** HDR 信号を自動検出します。

HDR ピクチャ モード

- 高輝度:** より飽和した色を表示するため、このモードを選択します。
- 標準:** 自然な画像を表示するため、このモードを選択します。
- フィルム:** 詳細を向上させるには、このモードを選択します。
- 詳細:** 暗いシーンにおいて詳細を表示するため、このモードを選択します。

輝度

さまざまな周囲光に適応するように、投影された画像の発光輝度を調整します。

コントラスト

投影された画像のコントラスト比を調整します。コントラストは、画像の最暗部 (黒) と最明部 (白) の差の度合いを調整します。

シャープネス

投影された画像の細部の鮮明さを調整して、画像をより鮮明にします。

ガンマ

適切なガンマ値を選択して、さまざまな入力ソースに対する画像の適合性を最適化します。

フィルム

ホームシアター環境に最適です。

グラフィック

PC 入力からの写真の投影に最適です。

プロジェクターを使用する

1.8/2.0/2.2/2.4/2.6

プリセットのガンマ値を選択して画像パフォーマンスを調整します。一般に、値が小さいほど、画像の暗い領域が明るくなります。標準のガンマ値は 2.2 です。

鮮明

ゲームをプレイするのに最適です。このモードでは、彩度と輝度のバランスがうまくとられます。

3D

3D ビデオの再生に最適です。

黒板

黒板への投影に最適です。

DICOM SIM.

X 線図などのモノクロ医療画像の投影に最適です。

HDR

HDR ビデオの再生に最適です。

注: ブレンディングモードが選択されている場合、ガンマ 2.2 のみがサポートされます。

ダイナミックコントラスト

ダイナミックコントラストを設定して、暗いコンテンツのコントラストを最大化します。

ダイナミックブラック

この機能を有効にすると、ビデオソースのコントラスト比が自動的に調整されます。光の出力を減らすことで、暗いシーンのブラックレベルを向上させます。

速度

光源補正の速度を調整します。値の範囲は 1 ~ 255 です。値が低いほど補正は遅くなり、積極的ではなくなりますが、値が高いほど補正は速くなります。

強さ

ダイナミックコントラスト調整の強度を設定します。値の範囲は 0 ~ 3 で、値が大きいほど補正が強くなります。

レベル

現在のコンテンツの輝度レベルが設定値より低くなった場合に光源を調整します。値の範囲は 50% ~ 100% です。値が大きいほど、光源を調整できる範囲が広くなります。

エクストリームブラック

この機能を有効にすると、黒い画像が検出されたときにレーザー光がオフになり、コントラスト比が自動的に上がります。

AV Mute Timer

黒いコンテンツを検出した後にレーザー光が消えるようにタイマーを設定します。設定値の範囲は 0 秒 ~ 10 秒です。

Black Signal Level

リアルブラック機能のしきい値となるブラックレベル値を設定します。値は 0 から 255 まで調整でき、0 が最も暗い黒、255 が最も明るい黒になります。

注:

- ダイナミックブラックがオンの場合、エクストリームブラックは使用できなくなります。
- エクストリームブラックがオンの場合、ダイナミックブラックは使用できなくなります。

プロジェクターを使用する

色設定

投影された画像の色設定を構成して、色パフォーマンスを向上させます。

色の濃さ

選択した色の彩度を調整します。この値は、色が色度図の中心の白から、または白に向かってシフトすることを示します。

色あい

ビデオ画像の赤と緑のカラーバランスを調整します。

BrilliantColor™

新しいカラー処理アルゴリズムとエンハンスメントを利用して高い輝度を可能にしながら、画像に真の鮮やかなカラーを実現します。

色温度

投影された画像の色温度を調整します。使用可能なオプションは、低、標準、高、または冷色。

カラーマッチング

画像内の各色成分を調整して、投影された画像の色を変更します。調整可能な色には、赤、緑、青、シアン、黄、マゼンタ (R / G / B / C / Y / M) が含まれます。

- **赤/緑/青/シアン/マゼンタ/黄:** さらに調整する色を選択します。
 - **色あい:** 選択した色の色あいを調整します。この値は、元の色からの色度図の周りの回転の度数を反映します。値の増加は反時計回りの回転を示し、値の減少は時計回りの回転を示します。
 - **彩度:** 選択した色の彩度を調整します。この値は、色が色度図の中心の白から、または白に向かってシフトすることを示します。
 - **Luminance:** 選択したカラーの輝度を調整します。値を大きくすると画像が明るくなり(色に白が追加されます)、値が小さくなると画像が暗くなります(色に黒が追加されます)。
 - **リセット:** 赤、緑、青、シアン、マゼンタ、または黄色の色を工場出荷時のデフォルト値にリセットします。
- **白:** 赤、緑、青の値を設定して、白色のパフォーマンスを調整します。
 - **赤/緑/青:** 赤、緑、青の色を調整して、白色のパフォーマンスを最適化します。

ホワイトバランス

ゲインとオフセットを介して投影画像の白色バランスを調整します。ゲインとオフセットは、グレースケールの設定に使用される各 RGB チャネルの個別のコントロールです。ゲインは暗い部分の色を調整し、バイアスは白い部分を調整します。

- **赤/緑/青ゲイン:** 画像の明るい領域の色を調整します。
- **赤/緑/青オフセット:** 画像の暗い領域の色を調整します。

カラースペース

入力信号用に特別に調整された色空間を選択します。利用可能なオプションは、自動(デフォルト)、RGB (0-255)、RGB (16-235)、REC709 および REC601 です。

注: 3D、高フレーム レート、またはブレンディング モードを選択した場合、色温度は使用できません。

壁色補正

プロジェクターの壁色を設定して、特定の壁に対して最高の色パフォーマンスを実現します。利用可能なオプションは、オフ、黒板、ライトイエロー、ライトグリーン、ライトブルー、ピンク および グレー です。

プロジェクターを使用する

3D 設定

3D ビデオ ファイルは、左目と右目で見る異なるビューを表示し、同じシーンの 2 つのわずかに異なる画像 (フレーム) を結合します。これらのフレームが十分な速度で表示され、左右のフレームと同期した 3D メガネで見ると、視聴者の脳は別々の画像を 1 つの 3D 画像に組み立てます。3D メニューには、3D ビデオを正しく表示するために 3D 機能を設定するオプションが用意されています。

3Dモード

- **オフ:** [オフ] を選択すると、3D モードがオフになります。
- **オン:** [オン] を選択すると、3D モードがオンになります。

3D同期タイプ

3D 同期信号の処理方法に応じて、適切な 3D 技術を選択します。

- **DLPリンク:** 3D 同期信号がプロジェクターに組み込まれた DLP Link 技術によって生成される場合は、DLP-Link を選択します。DLP Link は、DLP 3D 技術と互換性があり、3D 機能が有効になっているメガネでのみ動作します。
- **3D 同期:** 3D 同期出力信号が 3D 同期出力ポートを介してエミッターまたは別のプロジェクターに送信される場合は、3D 同期を選択します。

3D映像フォーマット

このオプションを使って、適切な 3D フォーマットのコンテンツを選択します。

- **自動:** 3D 識別信号を検出すると、3D 映像フォーマットが自動的に選択されます。
- **フレームパッキング:** 3D 信号を [フレームパッキング] フォーマットで表示します。
- **サイドバイサイド:** 3D 信号を [サイドバイサイド] フォーマットで表示します。
- **トップアンドボトム:** 3D 信号を [トップアンドボトム] フォーマットで表示します。
- **フレームシーケンシャル:** 3D 信号を [フレームシーケンシャル] フォーマットで表示します。

3D同期反転

このオプションを使って、3D 同期反転機能を有効/無効にします。

3D同期アウト

3D 同期出力信号の伝送を設定します。

- **エミッターへ:** 3D 同期信号を 3D 同期出力ポートに接続されたエミッターに送信します。
- **次のプロジェクタへ:** 複数のプロジェクターを使用する場合、3D 同期信号を次のプロジェクターに送信します。

フレーム遅延

プロジェクターのフレーム遅延値を設定して、与えられた 3D 信号と実行された結果の間の時間差を補正します。この機能は、L/R 参照がフィールド GPIO に設定されている場合にのみ機能します。複数のプロジェクターで 3D ブレンドを実行する場合は、プロジェクターごとにフレーム遅延を設定して、非同期画像を修正します。

リセット

機能設定を工場出荷時設定に戻します。

注:

- ブレンディングモードが選択されている場合、3D 同期タイプ、3D 同期反転、3D 同期出力は使用できません。
- このプロジェクターは、DLP リンク 3D ソリューションを備えた 3D 対応プロジェクターです。
- ビデオを楽しむ前に、DLP リンク 3D コンテンツに 3D メガネが使用されていることを確認してください。
- このプロジェクターは、HDMI1/HDMI2 ポートを介して、フレームシーケンシャル (ページフリップ) 3D をサポートしています。
- 3D モードを有効にするには、入力フレームレートを 60Hz のみに設定してください。これより低いまたは高いフレームレートはサポートされていません。
- 最良の映像を実現するために、1920x1080 の解像度が推奨されます。3D モードでは、4K (3840x2160) の解像度に対応していません。

プロジェクターを使用する

リセット

すべての画像設定を工場出荷時のデフォルト値にリセットします。

プロジェクターを使用する

表示設定メニュー

設置状況に応じて映像を適切に投影するための設定方法を説明します。

サブメニュー

- 光源の設定
- 低レイテンシーモード
- アスペクト比
- デジタルズーム
- ジオメトリ補正
- エッジマスク
- PIP/PBP

光源の設定

光源を設定してプロジェクターの輝度を制御します。

光源モード

設置要件に応じて、光源モードを選択してください。利用可能なオプションは、標準、Ecoモード および カスタム輝度 です。

輝度レベル

輝度レベルを 10% から 100% まで調整します。

一定輝度

光源モードをカスタム輝度に設定します。

- 光源の温度が安定するまで 10 分間待ちます。
- 輝度レベルを希望の輝度に調整します。
- 一定の輝度を維持するには、「一定輝度」を「オン」に設定します。

低レイテンシーモード

ゲーム中にこの機能を有効にして、応答時間 (入力待機時間) を 8.2 ミリ秒 (1080p120Hz) に低減します。すべてのジオメトリ補正設定 (例: キーストン、4 コーナー調整) は、低遅延モードが有効な場合は無効になります。詳細については、以下をご覧ください。

注:

- 信号による入力ラグは、次の表に記載する通りです。
- 表の値は若干変動する場合があります。

ソースタイミング	出力解像度	低レイテンシーモード	合計レイテンシー	フレーム
4K60	2400p60	オン	34.9 ミリ秒	約 2.1 フレーム
1200p60	2400p60	オン	34.9 ミリ秒	約 2.1 フレーム
1080p60	2400p60	オン	34.9 ミリ秒	約 2.1 フレーム
1200p120	1200p240	オン	12.3 ミリ秒	約 1.5 フレーム
1080p120	1200p240	オン	12.4 ミリ秒	約 1.5 フレーム
1080p240	1200p240	オン	8.6 ミリ秒	約 2.1 フレーム
4K60	2400p60	オフ	47.9 ~ 64.1 ミリ秒	約 2.9 ~ 3.9 フレーム
1200p60	2400p60	オフ	47.5 ~ 63.3 ミリ秒	約 2.9 ~ 3.9 フレーム
1080p60	2400p60	オフ	47.9 ~ 64.1 ミリ秒	約 2.9 ~ 3.9 フレーム
1200p120	1200p240	オフ	20 ~ 23.9 ミリ秒	約 2.4 ~ 2.9 フレーム
1080p120	1200p240	オフ	20 ~ 23.9 ミリ秒	約 2.4 ~ 2.9 フレーム
1080p240	1200p240	オフ	12.5 ~ 16.3 ミリ秒	約 3 ~ 3.9 フレーム

プロジェクターを使用する

アスペクト比

投影される映像のアスペクト比を設定します。使用可能なオプションは、4:3、16:9、21:9、LBX、自動 または ネイティブ です。[自動] を選択すると、検出された画像サイズが表示されます。

- **4:3:** このフォーマットは、4:3 入力ソース用です。
- **16:9:** ワイドスクリーンテレビのために用意される高画質の HDTV や DVD のような 16:9 入力用です。
- **21:9:** このフォーマットは、Microsoft Team Front Row 互換やワイドスクリーン TV 向けに拡張された DVD などの 21:9 入力ソース用です。
- **LBX:** 16x9 ではないレターボックスソースを投影する場合や、外部 16x9 レンズを使用して画像を 2.35:1 アスペクト比で最大解像度により投影する場合に選択します。
- **自動:** 適切なディスプレイフォーマットを自動的に選択します。
- **ネイティブ:** このフォーマットは、スケーリングなしでオリジナルの画像を表示します。

注: 入力解像度が 1080p より低い場合、ネイティブ設定は利用できません。

デジタルズーム

スクリーンに投影される画像を縮小または拡大するために使用します。デジタルズームは、光学ズームと同じではなく、画質が劣化する場合があります。

比例

画像の高さと幅を同じ比率で変更する機能を有効にします。

水平

◀ および ▶ ボタンを使用して、投影された画像の幅を変更します。

垂直

▲ および ▼ ボタンを使用して、投影された画像の高さを変更します。

Horizontal Shift

◀ ボタンと ▶ ボタンを使用して、画像を水平方向に移動します。

注: デジタルズームの水平オプションを調整する前は、水平シフトは使用できません。

Vertical Shift

▲ ボタンと ▼ ボタンを使用して、画像を垂直に移動します。

注: デジタルズームの垂直オプションを調整する前は、垂直シフトは使用できません。

リセット

デジタルズーム設定を工場出荷時のデフォルト値にリセットします。

注: ズーム設定は、プロジェクターの電源を入れ直しても保持されます。

画像シフト

投影された画像の位置を調整します。

水平

◀ および ▶ ボタンを使用して、投影された画像の位置を水平方向に調整します。

垂直

▲ および ▼ ボタンを使用して、投影された画像の位置を垂直方向に調整します。

注: 3D モードが選択されている場合、画像シフトは使用できません。

プロジェクターを使用する

ジオメトリ補正

ジオメトリ設定を構成して、さまざまな投影面に合わせて画像の形状を変更します。

ワープ制御

ワープ設定を構成します。基本、詳細設定、AP から選択します。

- **基本:** キーストーン、ピンクッション、4 コーナーの設定を構成します。
- **詳細設定:** グリッドカラーとグリッドの背景を設定し、ワープとブレンドの設定を構成します。
- **AP:** **Visual Suite** と組み合わせて使用し、内部の反りを制御します。**Visual Suite** を有効にすると、プロジェクターに組み込まれているジオメトリ機能が無効になります。

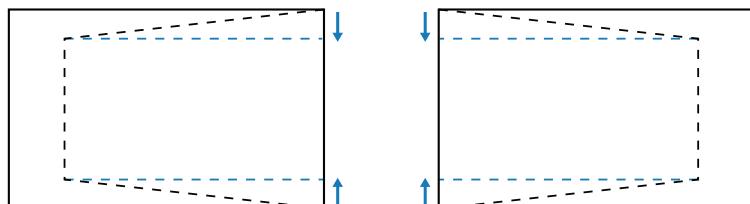
注:

1. *Optoma Visual Suite* は、主にマルチプロジェクター システムで使用されるプロフェッショナルなデスクトップ画像調整ソフトウェアです。
2. *Optoma Visual Suite* は *Optoma Management Suite* に統合されています。*Optoma Management Suite* のインストール中に、*Visual Suite* もインストールするかどうかを尋ねられます。*Optoma Management Suite (OMS)* ソフトウェアと *Visual Suite* ユーザー マニュアルをダウンロードするには、<https://www.optoma.com/support> にアクセスしてください。

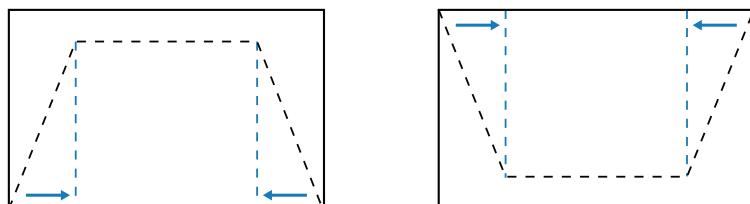
基本

基本設定を構成します。

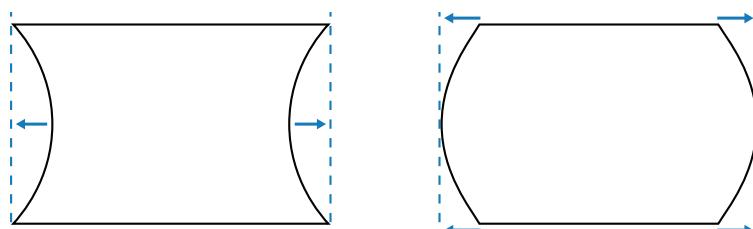
- **キーストン:** キーストーン機能は、非対称の長方形の形状の画像を調整するために使用されます。
 - **水平:** 投影された画像の左辺と右辺を調整して、均等な長方形にします。左右が不均等な画像に使用します。



- **垂直:** 投影された画像の上辺と下辺を調整して、均等な長方形にします。上下が不均等な画像に使用します。

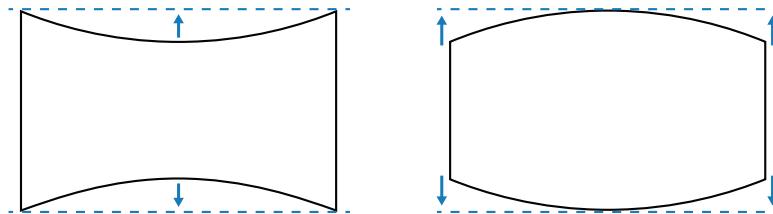


- **ピンクッション:** ピンクッション機能は、樽型または糸巻き型の歪みのある画像を調整するために使用されます。
 - **水平:** 投影された画像の水平樽型または糸巻き型歪みを補正します。

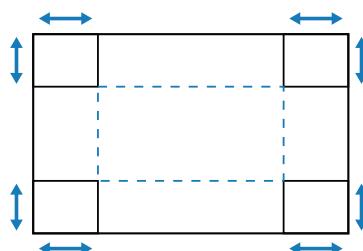


プロジェクターを使用する

- **垂直:** 投影された画像の垂直樽型または糸巻き型歪みを補正します。



- **4コーナー:** 画像の 4 つのコーナーを移動して、特定の投影面にフィットするように画像の形状を変更します。



詳細設定

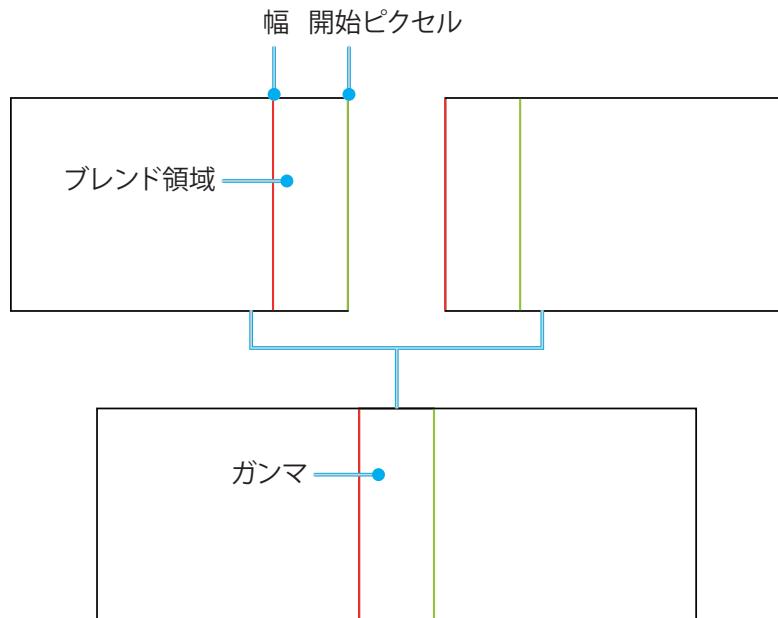
詳細ワープ設定を構成します。「手動ワープ制御手順」(106 ページ) を参照してください。

注: ワープ制御の基本または AP が選択されている場合、詳細設定ワープは使用できません。

- **グリッドカラー:** ワープのグリッド色を選択し、緑、マゼンタ、赤、シアン の間でパターンをブレンドします
- **グリッド背景:** 黒色と透明の間のグリッド背景を選択します。
- **ワープ設定:** ワープ設定を構成します。
 - **グリッド ポイント:** ワーピング制御のグリッド番号選択、 $2 \times 2/3 \times 3/5 \times 5/9 \times 9/17 \times 17$ 。
 - **ワープインナー:** オンにすると内側のグリッドを調整します。 3×3 グリッドポイントを超えると機能がアクティブになります。
 - **ワープシャープネス:** グリッド線が直線から曲線に反っている場合、グリッド線は歪んでギザギザになります。線のギザギザを避けるには、ワープシャープネスを調整して画像のエッジをぼかすかシャープにします。
- **ブレンド設定:** プロジェクター上で直接ブレンド設定を構成し、2 つ以上の隣接する画像を 1 つのより大きなシームレスな画像に結合します。
 - **ブレンド幅:** ブレンドパターンの幅を設定します。
 - **オーバーラップグリッド番号:** ブレンド幅の調整スケールを最大 12 ピクセルまで設定します。
 - **ガンマ:** ブレンド領域のガンマ値を選択して、ブレンド効果の曲率を調整します。

プロジェクターを使用する

注: 設置の柔軟性を高めるため、このデバイスのブレンディングメニューには FW 制限を適用していません。極端にワープさせようとすると歪みが発生する場合があります。より複雑な設置の場合は、有料の歪み用の外部デバイスについて販売店にお問い合わせください。



- **ブラックレベル:** 投影された画像のブラックレベルを手動で調整します。
 - **範囲:** 上部と下部の 2 層のブラックレベル調整をサポートします。2 層の重複領域を避けてください。重複領域には最上位のブラックレベルの値のみが表示されます。
 - **有効にする:** 選択した領域のブラックレベル調整を有効または無効にします。
 - **編集エリア:** ブラックレベルの領域調整。領域調整ビューに入ると、ユーザーはリモコンの「INFO」ボタンを押して、ポイントの追加と削除のホットキーを取得できます。
 - **ポイントを追加:** ブラックレベル調整のために最大 32 の領域コントロールポイントを追加します。
 - **ポイントを削除:** 選択した領域から少なくとも 4 つのコントロールポイントを削除します。
- **注:**
 - **編集領域に入ります:**
 - リモコンの「INPUT」ホットキーを使用して、ポイントの追加機能を有効または無効にします。
 - リモコンの「AUTO」ホットキーを使用して、ポイントの削除機能を有効または無効にします。
 - リモコンの「INFO」ホットキーを使用して編集領域のホットキーヘルプダイアログを表示し、「MENU」または「Exit」を使用して編集領域のホットキーヘルプダイアログを非表示にします。
 - **コントロールポイントを追加または削除した後、Enter キーを押して反時計回りに次のポイントに移動します。**
 - **輝度:** 選択したブラックレベル領域の赤/緑/青の値を同時に調整します。
 - **赤/緑/青:** 選択したブラックレベル領域の各色を個別に調整します。
 - **リセット:** 下部領域または上部領域、または両方の領域のブラックレベルを工場出荷時のデフォルト値にリセットします。

メモリ

プロジェクターでは、ユーザーはプロジェクターに直接設定されたものと外部ソフトウェアツールを介して設定されたものを含む、最大 5 つのジオメトリメモリを保存できます。利用可能なオプションは、メモリの節約、メモリの適用およびメモリの消去です。

リセット

ジオメトリ設定を工場出荷時のデフォルト値にリセットします。

プロジェクターを使用する

エッジマスク

エッジブレンディング機能を使用すると、投影された画像の 1 つまたは複数のエッジを非表示にすることができます。この機能を使用すると、ビデオ画像のエッジにあるビデオエンコードノイズを除去できます。

注: 3D モードがオンになっていると、エッジマスクは使用できません。

PIP/PBP

PIP/PBP (ピクチャインピクチャ/ピクチャバイピクチャ) により、2 つの入力ソースからの 2 つの画像を同時に表示できます。

スクリーン

適切な PIP/PBP モードを選択するか、機能を無効にします。

- オフ:** PIP/PBP モードを無効にします。
- ピップ:** 一方の入力ソースをメイン画面に表示し、もう一方の入力ソースを挿入ウィンドウに表示します。
- PBP:** 同じサイズの 2 つの画像を画面に表示します。

メイン入力

メイン画像の入力ソースを選択します。使用可能な入力ソースは、HDMI 1、HDMI 2、DisplayPort、HDBaseT です。

サブ入力

2 番目の画像の入力ソースを選択します。使用可能な入力ソースは、HDMI 1、HDMI 2、DisplayPort、HDBaseT です。

スワップ

メインソースとサブソースを入れ替えます。

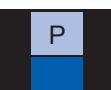
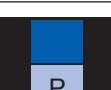
大きさ

PIP モードでのサブソースの表示サイズを変更します。

位置

サブ画像の位置を調整します。以下のレイアウト図では、「P」はメイン画像を示します:

- PIP のレイアウト**

PIP のレイアウト	PIP のサイズ		
	小	中	大
PIP メインが左			
PIP メインが右			
PIP メインが上			
PIP メインが下			

プロジェクターを使用する

- PIP のレイアウト

PIP のレイアウト	PIP のサイズ		
	小	中	大
PIP 右下	P	P	P
PIP 左下	P	P	P
PIP 右上	P	P	P
PIP 左上	P	P	P

注: PIP/PBP の互換性については下の表を参照してください。

PIP/PBP の互換性

PIP/PBP		メイン入力			
		HDMI 1	HDMI 2	DisplayPort	HDBaseT
サブ入力	HDMI 1	—	✓	✓	✓
	HDMI 2	✓	—	✓	✓
	DisplayPort	✓	✓	—	✓
	HDBaseT	✓	✓	✓	—

- 両方の入力の帯域幅が高すぎる場合、ラインが点滅する可能性があります。解像度を下げてみてください。
- メイン画像とサブ画像のフレームレートの違いにより、フレームティアリングが発生する可能性があります。各入力のフレームレートを一致させるようにしてください。

リセット

すべての表示設定を工場出荷時のデフォルト値にリセットします。

プロジェクターを使用する

デバイス設定メニュー

プロジェクターのシステム設定を行う方法について説明します。

サブメニュー

- テストパターン
- 投射位置
- 言語
- メニュー設定
- 高地モード
- レンズ設定
- スケジュール
- 日付および時刻
- 電源設定
- OMS
- シャッター
- セキュリティ
- キーパッドロック
- バックライト
- 起動画面
- 背景色
- ユーザーデータ
- システム更新

テストパターン

テストパターンを選択します。利用可能なオプションは、オフ、緑のグリッド、マゼンタのグリッド、白グリッド、白、黒色、赤、緑、青、黄、マゼンタ、シアン、ANSI コントラスト 4x4、カラーバー - および 全画面表示 です。

投射位置

適切な投影モードを選択して、画像の方向を変更します。

天吊り

天吊り設置機能を有効にします。

背面

背面投影機能を確認します。

言語

OSD メニューの言語を選択します。利用可能な言語は、英語、チェコ語、デンマーク語、オランダ語、フィンランド語、フランス語、ドイツ語、ギリシャ語、ハンガリー語、インドネシア語、イタリア語、日本語、韓国語、ノルウェー語、ポーランド語、ポルトガル語、ルーマニア語、ロシア語、中国語 (簡体字)、スペイン語、スウェーデン語、タイ語、中国語 (繁体字)、トルコ語、ベトナム語です。

メニュー設定

メニュー位置

メニューの場所を 左上、右上、中央、左下、右下から選択します。

透明度

メニュー透明度レベルを設定します。

プロジェクターを使用する

メニュー

メニューが画面に表示される時間を設定します。

信号表示

入力ソース、IP アドレスなどのコーナー情報メッセージを有効または無効にします。

高地モード

ファン速度を上げるには、オンを選択します。画質を確保し、プロジェクターへの損傷を防ぐために、高温、高湿度、または高地の環境では高地モードを有効にしてください。

レンズ設定

レンズの設定を行って画質や位置を調整します。

レンズタイプ

レンズのスロー比を表示します。(読み取り専用)

フォーカス

▲ および ▼ ボタンを使用して、投影された画像のフォーカスを調整します。

ズーム

⊕ および ⊖ ボタンを使用して、投影された画像の大きさを調整します。

レンズ機能

レンズモーターが動かないようにレンズをロックすると、すべてのレンズ機能が無効になります。

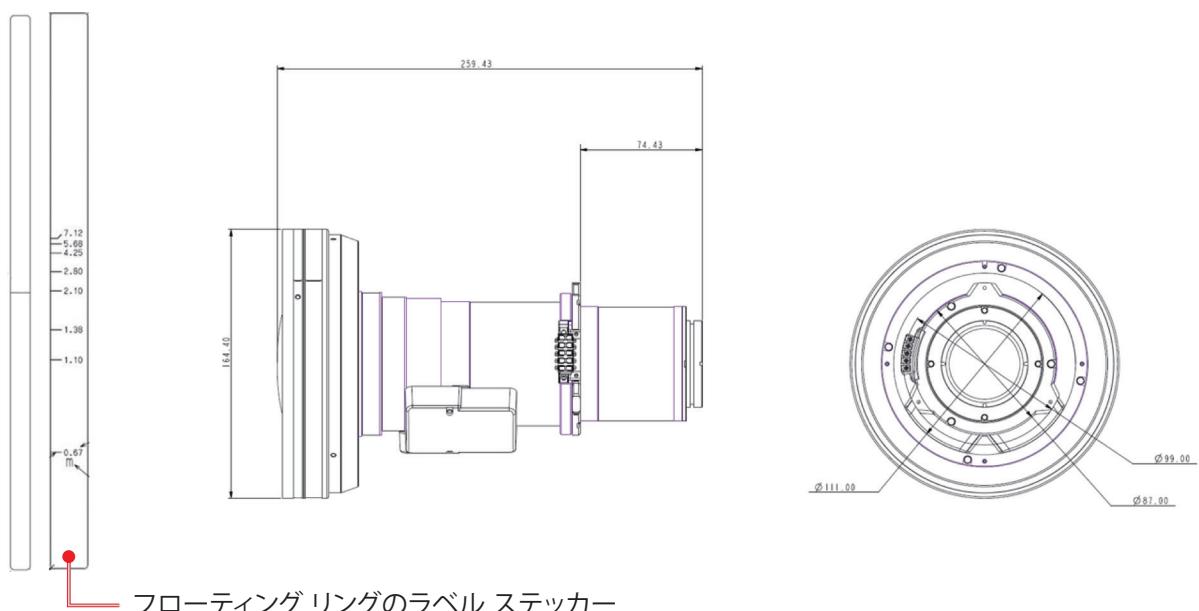
注: レンズ機能をオンにすると、フォーカス、ズーム、レンズシフト、レンズキャリブレーション、レンズメモリは使用できなくなります。

レンズシフト

▲、▼、◀、▶ボタンを使用してレンズの位置を調整し、投影領域を移動します。

注: BX-CTA11 フローティングリング

- 光学性能を向上させるには、ズームとフォーカスを調整する前にフローティングリングを手動で調整します。
- フローティングリングのラベルスケールは投影距離を示します。
- 投射距離はプロジェクターレンズからスクリーンまでの距離です。たとえば、スクリーンとプロジェクターレンズ間の距離が 2.1 m の場合、パフォーマンスを向上させるためにフローティングリングスケールを「2.10」に調整します。



プロジェクターを使用する

レンズキャリブレーション

レンズ位置を調整して中心に戻します。プロジェクターとレンズの損傷を防ぐため、レンズを交換する前に必ずレンズのキャリブレーションを行ってください。

レンズメモリ

このプロジェクターは、レンズの位置を記録するレンズ設定を 5 つまで保存できます。正しいデータを記録するには、レンズメモリを初めて処理するときにレンズキャリブレーションを実行してください。

- メモリの節約:** 1 ~ 5 のレコードを選択して、現在のレンズ設定を保存します。
- メモリの適用:** 1 ~ 5 のレコードを選択してレンズ設定を適用します。
- メモリの消去:** 保存されているレンズのレコードをクリアします。

レンズタイプ	レンズシフト	ズーム	フォーカス
BX-CTA07	✓	✓	✓
BX-CTA08	✓	—	—
BX-CTA10	✓	—	—
BX-CTA11	✓	✓	✓
BX-CTA12	✓	✓	✓
BX-CTA20	✓	✓	✓
BX-CTA21	✓	✓	✓
BX-CTA22	✓	✓	✓
BX-CTA23	✓	✓	✓
BX-CTA28	✓	—	—

注:

- レンズシフトメモリを設定する前に、レンズキャリブレーションを実行してください。
- メモリを適用する前にメモリを保存する必要があります。そうしないと、メモリを適用する機能がグレー表示または無効になります。
- レンズキャリブレーションを実行すると、保存されたレンズのレコードが消去されます。
- レンズキャリブレーションが完了していない場合、レンズシフトメモリは使用できません。

リセット

レンズ設定を工場出荷時設定に戻します。

スケジュール

設定した時刻にプロジェクター機能が自動的に動作するようにスケジュールを設定します。

日付および時刻

プロジェクターの日付と時刻を表示します。

スケジュールモード

スケジュール機能を有効または無効にします。プロジェクターが外部デバイスまたはソフトウェア経由で制御されている場合、スケジュールモードには AP モードが表示され、プロジェクターのスケジュール機能はグレー表示になります。

今日を表示

今日予定されているイベントリストを表示します。

注: スケジュールを設定したら、必ずすべての設定を保存してください。

月曜日 ~ 日曜日

曜日ごとにスケジュールを設定します。スケジュールメニューページで、日を選択し、スケジュール設定を構成します。

プロジェクターを使用する

- **スケジュール有効:** 選択した日のスケジュール機能を有効または無効にします。
- **イベント 01-16:** イベントレコード番号を選択し、スケジュールの詳細を設定します。
 - **時刻:** イベントの時間を設定します。
 - **機能:** 機能を選択します。利用可能な機能は、電源設定、入力ソース、光源モード、シャッターです。
 - **イベント:** 設定した時間になると自動で動作するイベント機能を選択します。
 - **リセット:** イベント設定をリセットします。
- **イベントのコピー先:** その日のイベント設定を別の日にコピーします。
- **日付のリセット:** その日のスケジュール設定をリセットします。

スケジュールのリセット

すべてのスケジュール設定をリセットします。

日付および時刻

プロジェクターの日付と時刻を設定します。

クロックモード

クロック モードを NTP サーバー または 手動 に設定します。

注: NTP サーバーを使用するには、プロジェクターがインターネットに接続されていることを確認してください。

日付

プロジェクターの日付を設定します。日付の形式は年/月/日です。

時刻

プロジェクターの時刻を設定します。

夏時間

夏時間機能を有効または無効にします。

NTP サーバー

ネットワーククロックモードの NTP サーバーを選択します。

タイムゾーン

ネットワーククロックモードのタイムゾーンを設定します。

更新間隔

日付と時刻の更新間隔を設定します。

適用

日付と時刻の変更を適用します。

電源設定

プロジェクターの電源設定を構成します。

電源検知オートパワーオン

[オン] を選択すると、電源検知オートパワーオンモードが有効になります。プロジェクターは、AC 電源が供給されると自動的に電源オンになります。プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの [電源] キーを押す必要はありません。

信号検知オートパワーオン

この機能をオンにすると、HDMI 入力ソースに接続されたときにプロジェクターが自動的にオンになります。これは、通信モードに設定されているスタンバイプロジェクターにのみ適用されます。

自動電源オフ(分)

指定した時間内に信号が検出されない場合にプロジェクターの電源が自動的にオフになるように、インターバルタイマーを設定します。◀ および ▶ ボタンを押して時間を増減します (押すごとに 1 分)。

プロジェクターを使用する

スリープタイマー(分)

インターバルタイマーを設定すると、一定時間動作した後にプロジェクターの電源が自動的に切れます。

Energy Saving

ErP(EU) 2023/826 仕様に基づき、省エネ機能はデフォルト設定で有効になっています。「自動電源オフ(分)」および「電源モード(スタンバイ)」の他の設定を変更する場合は、省エネ機能をオフにしてください。

注: 省エネ設定はデフォルトでオフになっているため、「自動電源オフ(分)」と「電源モード(スタンバイ)」のオプションを選択することはできません。同時に「自動電源オフ(分)」は自動的に20分に変更され、「電源モード(スタンバイ)」も自動的にエコモードに変更されます。

電源モード(スタンバイ)

プロジェクターのスタンバイモードを設定します。

- **エコ:** 最小消費電力 (0.5 ワット)、ネットワーク制御を許可しません。
- **アクティブ:** 低消費電力 (< 2 ワット)、LAN モジュールがスリープモードに入り、Wake on LAN (WoL) によるウェイクアップをサポートします。LAN モジュールが WoL によって起動されると、プロジェクターはネットワーク経由でコマンドを受信できる状態になります。
- **通信:** ネットワーク経由でプロジェクターを制御できるようになるため、消費電力が増加します。

USB給電

USB 電源機能を有効または無効にします。

リセット

電源設定を工場出荷時設定に戻します。

OMS (Optoma Management Suite)

OMS を使用してプロジェクターを制御します。詳細については、<https://oms.optoma.com> をご覧ください。

シャッター

シャッター動作を設定します。

フェードイン/フェードアウト

フェードイン、フェードアウトの持続時間のシャッター設定を調整します。設定値の範囲は 0 秒～5 秒です。

起動

プロジェクターの電源を入れたときのシャッター動作を選択します。

- **シャッターオフ:** プロジェクターは、電源を入れると通常通りに画像を投影します。
- **シャッターオン:** プロジェクターは電源を入れると自動的にシャッターが切れます。

セキュリティ

プロジェクターを保護するためにセキュリティ検証を設定します。

セキュリティ

プロジェクターをパスワードで保護するには、オンを選択します。ユーザーが間違ったパスワードを 3 回入力すると、プロジェクターが 10 秒後にシャットダウンすることを警告するメッセージがポップアップ表示されます。

注:

1. 初めてセキュリティ機能を使用する場合は、セキュリティ機能をオンにしたときにパスワードを入力してください。
2. セキュリティ機能を初めて使用しない場合は、セキュリティ機能が再度オフになったことを確認するため、以前のパスワードを入力してください。

プロジェクターを使用する

セキュリティタイマー

パスワードを入力せずにプロジェクターを使用できる時間を設定します。タイマーが 0 になると、ユーザーはプロジェクターを使用するためにパスワードを入力する必要があります。プロジェクターの電源がオンになるたびに、タイマーが再スタートします。

パスワードの変更

プロジェクターのパスワードを変更します。

注: 自動電源オフ、スリープタイマー、セキュリティタイマーなど、指定されたタイマーに達する前の最後の 1 分間に、プロジェクターが 60 秒後にシャットダウンすることを警告するメッセージが画面に表示されます。リモコンまたはプロジェクターのキーパッドのいずれかのボタンを押してタイマーをリセットすると、プロジェクターはオンのままになります。

キーパッドロック

キーパッドロック機能が [オン] であるとき、キーパッドがロックされます。しかし、リモコンでプロジェクターを操作できます。[オフ] を選択すると、キーパッドを再び使用できるようになります。

バックライト

プロジェクターのバックライトオプションを設定します。

キーパッドロック

キーパッドのバックライトを有効または無効にします。

電源キー

電源キーのバックライトを有効または無効にします。

起動画面

起動画面のロゴを設定します。

ロゴの変更

起動画面のロゴを変更します。デフォルトのロゴ以外に、ユーザーはデフォルトとニュートラルから選択できます。

- **デフォルト:** プロジェクターのデフォルトのロゴ。
- **ニュートラル:** 起動画面にロゴが表示されません。
- **ユーザー:** ユーザーがカスタマイズしたロゴ。

注: サポートされているロゴ形式は *PNG* で、サイズは *1920 x 1200* ピクセルです。

ロゴの削除

保存したカスタマイズされたロゴを削除します。

背景色

入力信号が検出されないときに表示する背景色を設定します。利用可能なオプションは、なし、青、赤、緑、グレー、白およびロゴです。

ユーザーデータ

ユーザーはプロジェクターの設定をユーザーデータとして保存し、後で設定を再読み込みできます。

すべての設定を保存

プロジェクターの設定をすべてユーザーデータとして保存します。ユーザーは最大 5 件のレコードを保存できます。

すべての設定を読み込む

以前に保存したユーザーデータを読み込みます。

プロジェクターを使用する

システム更新

システムを自動または手動で更新します。

自動

システムは、インターネットに接続されるたびに、新しいアップデートがないか自動的にチェックします。

Auto Download

「自動」と「Auto Download」の両方がオンの場合、プロジェクターの再起動時に新しいアップデートが自動的にダウンロードされます。

注:

1. 新しいアップデートが自動的にダウンロードされる場合、プロンプトは表示されません。
2. 電源オフボタンを押すと、ダウンロードが完了すると、アップデートを求めるメッセージがポップアップ表示されます。
3. 更新オプションを選択して更新を開始します。

更新します。

システムファームウェアを手動で更新します。

デバイスリセット

設定を工場出荷時設定に戻します。

OSD をリセットします

OSD 設定をデフォルト値にリセットします。

すべての設定をリセット

すべてのプロジェクター設定をデフォルト値にリセットします。

選択をリセット

いずれかのメインメニューの設定をリセットします。ユーザーは、映像設定、ディスプレイ設定、Device Setup、Input Settings、コントロール設定 から選択できます。

プロジェクターを使用する

入力設定メニュー

プロジェクターの入力設定を行う方法について説明します。

サブメニュー

- オートソース
- Quick Resync
- Active Inputs
- EDID Settings
- HDMI Out

オートソース

自動ソースが有効になっている場合、プロジェクターは入力信号を自動的に検出して選択します。入力ソースを選択したら、リモコンまたはキーパッドの入力ボタンを押して、他の利用可能なソースに切り替えます。機能が無効になっている場合、入力を押すと、アクティブ入力サブメニューが表示されます。

Quick Resync

クリック再同期機能を設定します。

Active Inputs

ソースリストから入力信号を選択します。使用可能な入力ソースは、HDMI 1、HDMI 2、DisplayPort、HDBaseT です。

EDID Settings

EDID の互換性を設定します。

HDMI 1 EDID / HDMI 2 EDID

HDMI 信号を受信する場合、信号が正しく表示されるようにプロジェクターの EDID 互換性を設定してください。HDMI 1.4 の入力デバイスの場合は 1.4 を選択し、HDMI 2.0 デバイスの場合は 2.0 を選択します。

HDBaseT EDID

HDBaseT 経由で HDMI 信号を受信する場合、信号が正しく表示されるようにプロジェクターの EDID 互換性を設定してください。HDMI 1.4 の入力デバイスの場合は 1.4 を選択し、HDMI 2.0 デバイスの場合は 2.0 を選択します。

HDMI Out

信号を出力する HDMI 1 または HDMI 2 ポートを設定します。

リセット

すべての入力定を工場出荷時のデフォルト値にリセットします。

プロジェクターを使用する

コントロール設定メニュー

コントロールメニューは、プロジェクターが他のプロジェクターまたは制御デバイスと通信できるようにする設定を構成するために使用されます。

サブメニュー

- デバイスID
- リモコン受光設定
- リモコン設定
- LAN
- コントロール
- Art-Net
- ボーレート

デバイスID

プロジェクターに 00 ~ 99 の ID コードを割り当てます。RS232、Telnet、その他の制御方法でプロジェクターを制御する場合、このコードをプロジェクター ID として使用します。

リモコン受光設定

プロジェクターと IR リモコン間の通信を制御するには、プロジェクターのリモコン受信機を設定します。

フロント

正面のリモコン受信機を有効または無効にします。

上部

上部のリモコン受信機を有効または無効にします。

背面

背面のリモコン受信機を有効または無効にします。

HDBaseT

HDBaseT 端末をリモコン受信機として設定する場合は、「オン」を選択します。

リモコン設定

赤外線 (IR) リモコンの設定を行います。

リモートコード

リモコンの **ID** キーを押し続けます。すべてのキーのライトが点灯したら、数字キー 00 ~ 99 を押して番号を割り当てます。すべてのキーのライトが速く 2 回点滅すると、リモコン コードが変更されました。このとき、リモコン **ID** キーを放してください。

高速スイッチングコード

プロジェクター間の赤外線干渉を避けるために、プロジェクターの IR 受信機能をホットキー (0 ~ 9) で一時的に無効にすることができます。リモコン ID をすべてに設定する必要があります。

ユーザー1 / ユーザー2

リモコンの「ユーザー1」「ユーザー2」ボタンに機能を割り当てます。OSD メニューを経由することなく、簡単に機能を使用できます。利用可能な機能は、HDMI 1、HDMI 2、カラーマッチング、色温度、投射位置、光源モード、フリーズ、LAN、選択をリセットです。

プロジェクターを使用する

LAN

プロジェクターのネットワーク設定を行います。

LAN インターフェイス

衝突を避けるには、LAN インターフェイスを RJ-45 または HDBaseT に指定します。

ネットワーク情報

ネットワーク接続状態を表示します。(読み取り専用)

MACアドレス

MAC アドレスを表示します。(読み取り専用)

DHCP

DHCP をオンにして、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS を自動的に取得します。

IPアドレス

プロジェクターの IP アドレスを割り当てます。

サブネットマスク

プロジェクターのサブネットマスクを割り当てます。

ゲートウェイ

プロジェクターのゲートウェイを割り当てます。

DNS 1/DNS 2

プロジェクターの DNS 1/DNS 2 を割り当てます。

適用

有線ネットワーク設定を適用します。

注: DHCP、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS1/2 の設定を調整した場合は、ネットワーク設定の変更がシステムに反映されるように、必ず「適用」を実行してください。

リセット

ネットワーク設定を工場出荷時デフォルト値にリセットします。

注: Art-Net がオン (2.X.X.X) またはオン (10.X.X.X) に設定されている場合は、LAN メニューを選択できません。

コントロール

このプロジェクターは、有線ネットワーク接続介してコンピューターまたはその他の外部デバイスからリモートで制御できます。ユーザーは、リモートコントロールセンターから 1 つまたは複数のプロジェクターを制御できます。たとえば、プロジェクターの電源のオン/オフ、画像の明るさやコントラストの調整などです。

コントロールサブメニューを使用して、プロジェクターのコントロールデバイスを選択します。

クレストロン

Creston コントローラーと関連ソフトウェアを使用してプロジェクターを制御します (ポート: 41794)。

詳細については、<http://www.creston.com> にアクセスしてください。

注: OSD 上のクレストン設定は、クレストン V1 機能のみをサポートします。クレストン V2 の機能やより詳細な設定を行う場合は、Web ページに移動して設定する必要があります。

PJ リンク

PJLink v2.0 コマンドでプロジェクターを制御します (ポート: 4352)。

詳細については、<http://pjlink.jbmia.or.jp/english> にアクセスしてください。

エクストロン

Extron デバイスでプロジェクターを制御します (ポート: 2023)。

詳細については、<http://www.extron.com> にアクセスしてください。

プロジェクターを使用する

AMX デバイス検出

AMX デバイスでプロジェクターを制御します (ポート: 9131)。

詳細については、<http://www.ame.com> にアクセスしてください。

注: AMX Discovery 機能のみをサポートします。

Telnet

Telnet 接続を介して RS232 コマンドを使用してプロジェクターを制御します (ポート: 23)。

詳細については、「TelnetによるRS232コマンドの使用」(75 ページ) を参照してください。

HTTP

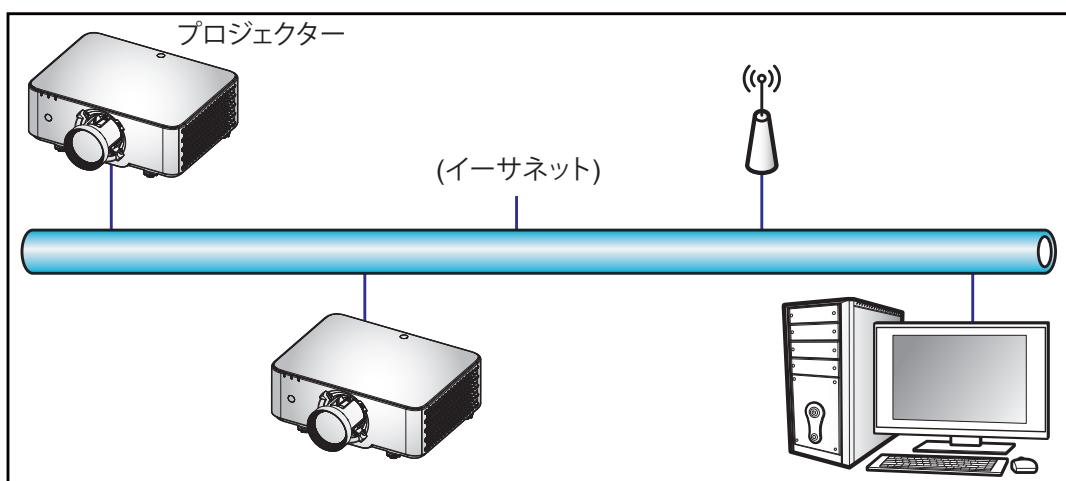
Web ブラウザーでプロジェクターを制御します (ポート: 80)。

詳細については、「Webコントロールパネルの使用」(73 ページ) を参照してください。

Art-Net

Art-Net コマンドを使用してプロジェクターを制御します。

- オフ: Art-Net 機能を無効にします。
- オン: Art-Net 機能を有効にし、LAN メニューで設定された IP アドレスを使用します。
- オン (2.X.X.X): Art-Net 機能を有効にし、IP アドレスを 2.X.X.X に使用します。
- オン (10.X.X.X): Art-Net 機能を有効にし、IP アドレスを 10.X.X.X に使用します。



注:

- Crestron は米国の Crestron Electronics, Inc. の登録商標です。
- Extron は米国の Extron Electronics, Inc. の登録商標です。
- AMX は米国の AMX LLC の登録商標です。
- PJLink は JBMA を通して日本、米国、その他の国で商標とロゴの登録を申請しました。
- Art-Net™ は Artistic Licence Holdings Ltd. によって設計され、著作権は Artistic Licence Holdings Ltd. が所有します。
- LAN/RJ45 ポートに接続し、プロジェクターをリモート操作できる各種外部デバイスとそれらの外部デバイスの対応コマンドに関する情報については、サポートサービスに直接お問い合わせください。
- OMSC と OMSL をサポートします。詳細については、サポートサービスに直接お問い合わせください。

プロジェクトを使用する

Art-Net

「Art-Net」は、TCP/IP プロトコルをベースにしたイーサネット通信プロトコルです。

プロジェクトの設定は、Art-Net プロトコルを使用して DMX コントローラーまたはアプリケーション ソフトウェアによって操作できます。詳細については「Art-Net 機能の使用」(76 ページ) を参照してください。

- **Net:** プロジェクターが Art-Net を処理するときに使用する「Net」を入力します。値の範囲は 0 ~ 127 です。
- **Subnet:** プロジェクターが Art-Net を処理するときに使用する「Subnet」を入力します。値の範囲は 0 ~ 15 です。
- **Universe:** プロジェクターが Art-Net を処理するときに使用する「Universe」を入力します。値の範囲は 0 ~ 15 です。
- **Channel Settings:** ユーザー 1/ユーザー 2 のチャネルを設定します。
- **Edit Channel:** チャネルの割り当てを設定します。Art-Net 機能を使用してプロジェクターを制御するためには、使用するチャネル定義の詳細については、「Art-Net 機能の使用」(76 ページ) を参照してください。
 - **ユーザー1 / ユーザー2:** 標準設定のチャネル割り当てを使用します。Enter ボタンを押すと、チャネルに割り当てられた機能が表示されます。

注: [オン (2.X.X.X)] または [オン (10.X.X.X)] を選択した場合、IP アドレスは自動的に計算され設定されます。

ボーレート

シリアルポート入力とシリアルポート出力のボーレートを設定します。使用可能なオプションは、9600、19200、38400、57600、115200 (デフォルト) です。

リセット

すべてのコントロール設定を工場出荷時デフォルト値にリセットします。

プロジェクターを使用する

Webコントロールパネルの使用

Web コントロール パネルを使用すると、ユーザーはパーソナルコンピューターやモバイルデバイスから Web ブラウザーを使用してさまざまなプロジェクター設定を行うことができます。

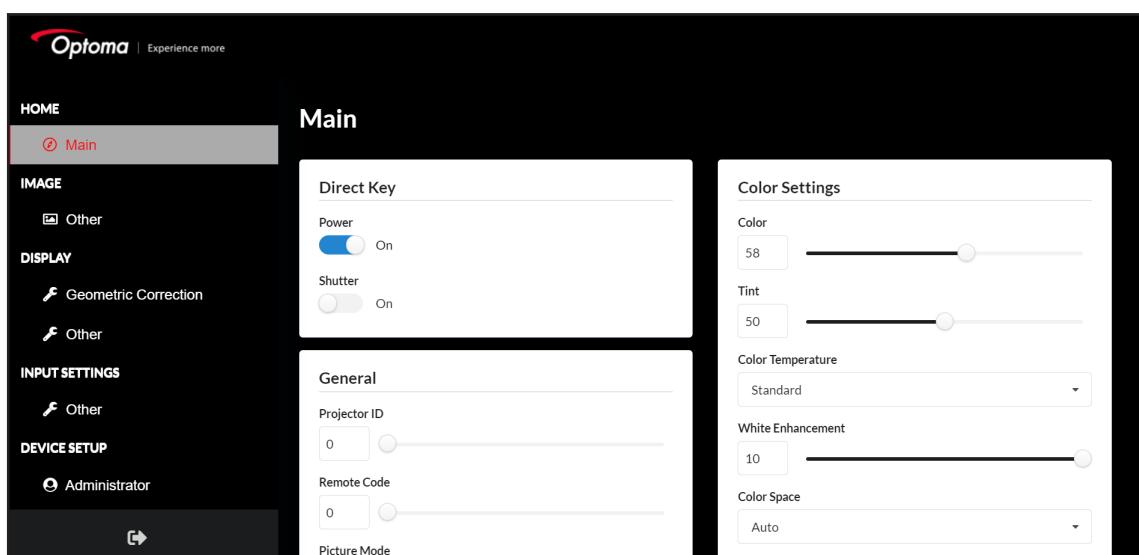
システム要件

Web コントロール パネルを使用するには、デバイスとソフトウェアが最小システム要件を満たしていることを確認してください。

- RJ45 ケーブル (CAT-5e)
- Web ブラウザーがインストールされた PC、ラップトップ、携帯電話、またはタブレット
- 互換性のある Web ブラウザー:
 - Microsoft Edge 40 以降のバージョン
 - Firefox 57 以降のバージョン
 - Chrome 63 以降のバージョン

Web コントロールパネルの概要

Web ブラウザーを使用してプロジェクターの設定を行います。



メニュー	説明
ホーム	プロジェクター情報とファームウェアのバージョンの詳細を表示します。
映像設定	画像の設定を行います。
表示設定	設置状況に応じて適切に画像を投影できるように設定します。
入力設定	プロジェクターの入力設定を行います。
デバイス設定	プロジェクターのシステム設定を行います。
コントロール設定	コントロール設定メニューは、プロジェクターが他のプロジェクターまたは制御デバイスと通信できるようにする設定を構成するために使用されます。
情報	プロジェクターのステータスと設定に関する情報を表示します。プロジェクター情報は読み取り専用です。

プロジェクターを使用する

Web コントロールパネルへのアクセス

ネットワークが利用可能な場合は、プロジェクターとコンピューターを同じネットワークに接続します。プロジェクターのアドレスを Web URL として使用して、ブラウザーで Web コントロールパネルを開きます。

1. OSD メニューを使用してプロジェクターのアドレスを確認します。
 - 設定: コントロール設定→ LAN → IP アドレス。
注: DHCP が有効になっていることを確認してください。
2. Web ブラウザーを開き、アドレスバーにプロジェクターのアドレスを入力します。
3. Web ページは Web コントロールパネルにリダイレクトされます。
4. ユーザー名フィールドにユーザー名: admin を入力します (初回ログイン時)。

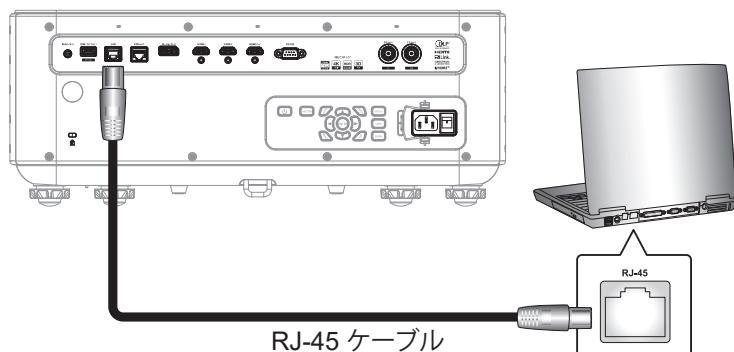
注:

- 初めてログインするときは、パスワードを入力する必要はありません。
- ログインしたら、ユーザー名とパスワードを変更する必要があります。また、強力なパスワードを使用することをお勧めします。

ネットワークが利用できない場合は、「プロジェクターをコンピューターに直接接続する」(74 ページ) を参照してください。

プロジェクターをコンピューターに直接接続する

ネットワークが利用できない場合は、RJ-45 ケーブルを使用してプロジェクターをコンピューターに直接接続し、ネットワーク設定を手動で構成します。



1. プロジェクターに IP アドレスを割り当てます。
 - OSD メニューから、コントロール設定 → LAN → DHCP を選択します。
 - DHCP をオフにして、プロジェクターの IP アドレス、サブネット マスク、ゲートウェイを手動で設定します。
 - **Enter** を押して、設定を確認してください。
2. コンピューターに IP アドレスを割り当てます。
 - コンピューターのデフォルトゲートウェイとサブネットマスクをプロジェクターに合わせて設定します。
 - コンピューターの IP アドレスをプロジェクターの最初の 3 つの数字と一致するように設定します。たとえば、プロジェクターの IP アドレスが 192.168.0.100 の場合、コンピューターの IP アドレスを 192.168.0.xxx に設定します (xxx は 100 ではありません)。
3. Web ブラウザーを開き、アドレスバーにプロジェクターのアドレスを入力します。
4. Web ページは Web コントロールパネルにリダイレクトされます。

プロジェクトを使用する

TelnetによるRS232コマンドの使用

このプロジェクトは、Telnet 接続による RS232 コマンドの使用をサポートしています。

1. プロジェクターとコンピューター間の直接接続をセットアップします。プロジェクターをコンピューターに直接接続する(74 ページ ページ)を参照してください。
2. コンピューターのファイアウォールを無効にします。
3. コンピューター上でコマンド ダイアログを開きます。Windows 7 オペレーティング システムの場合は、「スタート」>「すべてのプログラム」>「アクセサリ」>「コマンドプロンプト」を選択します。
4. コマンド「telnet ttt.xyy.zzz 23」を入力します。
「ttt.xyy.zzz」をプロジェクターの IP アドレスに置き換えます。
5. コンピューターのキーボードで「決定」を押します。

「RS232 by TELNET」の仕様:

- Telnet: TCP
- Telnet ポート: 23 (詳細についてはサービスチームにお問い合わせください)
- Telnet ユーティリティ: Windows [TELNET.exe] (コンソールモード)。
- RS232-by-Telnet 制御の通常切断: 閉じる
- TELNET 接続の準備ができた直後に Windows Telnet ユーティリティを使用する場合の制限事項を以下に示します:
 - Telnet 制御用途に対して、連続するネットワークペイロードが 50 バイト未満とされています。
 - Telnet 制御に対して、1 つの完全な RS232 コマンドに 26 バイト未満とされています。
 - 次の RS232 コマンドの最小遅延は 200 (ms) を超える必要があります。

プロジェクターを使用する

Art-Net 機能の使用

プロジェクターのネットワーク機能は Art-Net 機能をサポートしているため、Art-Net プロトコルを使用して DMX コントローラーとアプリケーション ソフトウェアでプロジェクターの設定を制御できます。

チャンネル定義

次の表は、Art-Net 機能を使用してプロジェクターを制御するために使用されるチャンネル定義を示しています。

各チャンネルに割り当てられた制御の詳細は、次の表に記載されています。

チャンネル	制御の詳細	
	ユーザー1	ユーザー2
チャンネル 1	Art-Net	なし
チャンネル 2	光源設定	なし
チャンネル 3	アクティブ入力	なし
チャンネル 4	レンズ シフト (H)	なし
チャンネル 5	レンズ シフト (V)	なし
チャンネル 6	フォーカス	なし
チャンネル 7	ズーム	なし
チャンネル 8	レンズ機能	なし
チャンネル 9	レンズ コントロール	なし
チャンネル 10	レンズメモリ	なし
チャンネル 11	水平キーストン	なし
チャンネル 12	垂直キーストン	なし
チャンネル 13	電源	なし
チャンネル 14	シャッター	なし
チャンネル 15	フリーズ	なし
チャンネル 16	テストパターン	なし

制御の詳細

- Art-Net (「無効」に設定すると、すべてのチャンネルの操作は受け付けられません)

パフォーマンス	パラメーター	デフォルト値
無効化	0-127	0
有効	128-255	

- 光源の設定

パフォーマンス	パラメーター	デフォルト値
100%	0 ~ 15	0
99%	16-17	
98%	18-19	
97%	20-21	
96%	22-23	
95%	24-25	
…	…	
90%	34-35	
…	…	
80%	54-55	
…	…	
70%	74-75	

プロジェクターを使用する

パフォーマンス	パラメーター	デフォルト値
...	
60%	94-95	
...	
50%	114-115	
...	
40%	134-135	
...	
30%	154-155	0
...	
20%	174-175	
...	
10%	194-195	
...	
0%	214-215	
非稼働	216-255	

- Active Inputs

パフォーマンス	パラメーター	デフォルト値
非稼働	0 ~ 15	
HDMI 1	16-31	
非稼働	32-47	
HDMI 2	48-63	
非稼働	64-79	0
HDBaseT	80-95	
非稼働	96-111	
DisplayPort	112-127	
非稼働	128-255	

- レンズシフト (H)

パフォーマンス	パラメーター	デフォルト値
右	0-31	
停止	64-191	128
左	224-255	

- レンズシフト (V)

パフォーマンス	パラメーター	デフォルト値
上	0-31	
停止	64-191	128
下	224-255	

- フォーカス

パフォーマンス	パラメーター	デフォルト値
レンズ フォーカス +	0-31	
停止	64-191	128
レンズ フォーカス -	224-255	

プロジェクターを使用する

- ズーム

パフォーマンス	パラメーター	デフォルト値
レンズズーム +	0-31	128
停止	64-191	
レンズズーム -	224-255	

- レンズ機能

パフォーマンス	パラメーター	デフォルト値
非稼働	0-31	0
ロック済み	32-47	
動作停止	128-159	
ロック解除	160-175	
非稼働	224-255	

- Lens Control

パフォーマンス	パラメーター	デフォルト値
非稼働	0-31	160
レンズ動作停止	32-95	
非稼働	96-159	
短いステップ移動	160-223	
非稼働	224-255	

- レンズメモリ

パフォーマンス	パラメーター	デフォルト値
非稼働	0-31	0
中心位置に移動	32-47	
非稼働	48-63	
メモリ 1 を適用	64-79	
非稼働	80-95	
メモリ 2 を適用	96-111	
非稼働	112-143	
メモリ 3 を適用	144-159	
非稼働	160-175	
メモリ 4 を適用	176-191	
非稼働	192-207	
メモリ 5 を適用	208-223	
非稼働	224-255	

プロジェクトを使用する

- 水平キーストン

パフォーマンス	パラメーター	デフォルト値
非稼働	0 ~ 15	
40	16-30	
39	31-35	
...	
30	76-80	
...	
20	126-130	128
...	
10	176-180	
...	
0	226-230	
非稼働	231-255	

- 垂直キーストン

パフォーマンス	パラメーター	デフォルト値
非稼働	0 ~ 15	
40	16-30	
39	31-35	
...	
30	76-80	
...	
20	126-130	128
...	
10	176-180	
...	
0	226-230	
非稼働	231-255	

- 電源

パフォーマンス	パラメーター	デフォルト値
電源オフ	0-63	
非稼働	64-191	128
パワーオン	192-255	

- シャッター

パフォーマンス	パラメーター	デフォルト値
オン	0-63	
非稼働	64-191	128
オフ	192-255	

プロジェクターを使用する

- フリーズ

パフォーマンス	パラメーター	デフォルト値
非稼働	0-31	128
フリーズ解除	32-95	
非稼働	96-159	
フリーズ	160-223	
非稼働	224-255	

- テストパターン

パフォーマンス	パラメーター	デフォルト値
非稼働	0 ~ 15	0
オフ	16-31	
緑色のグリッド	32-47	
マゼンタのグリッド	48-63	
白色グリッド	64-79	
白色	80-95	
黒	96-111	
赤色	112-127	
緑色	128-143	
青色	144-159	
黄色	160-175	
マゼンタ	176-191	
シアン	192-207	
ANSI コントラスト 4x4	208-223	
カラーバー	224-239	
全画面表示	240-255	

注: Art-Net 機能を使用してプロジェクターを制御しているときに、リモコンやコントロールパネルを使用してプロジェクターを操作したり、制御コマンドでプロジェクターを操作したりすると、DMX コントローラーまたはコンピューター アプリケーションの設定がプロジェクターの状態と異なる場合があります。すべてのチャンネルの制御をプロジェクターに反映するには、チャンネル 1 の「有効/無効」を「無効」に設定してから、「有効」に戻します。

プロジェクターを使用する

情報メニュー

プロジェクターのステータスと設定に関する情報を表示します。プロジェクター情報は読み取り専用です。

サブメニュー

- 制御
- シリアル番号
- ソース情報
- 光源モード
- デバイスID
- リモートコード
- システムステータス
- コントロール
- LAN
- FWバージョン

制御

プロジェクターのモデル名を表示します。

シリアル番号

プロジェクターのシリアル番号を表示します。

ソース情報

メインソース情報とセカンドソース情報を表示します。

ソース

プロジェクターの現在の入力信号を表示します。

- 解像度:** プロジェクターの現在の入力信号ソースの解像度を表示します。
- 信号形式:** プロジェクターの現在の入力信号ソースの形式を表示します。
- ピクセルロック:** プロジェクターの現在の入力信号ソースのピクセルロックを表示します。
- リフレッシュ レート:** プロジェクターの現在の入力信号ソースの水平および垂直リフレッシュ周波数を表示します。
- 色深度:** 現在の入力信号の色深度を表示します。
- 色域:** 現在の入力信号の色域を表示します。
- カラースペース:** プロジェクターの現在の入力信号ソースの色空間を表示します。
- ピクチャーモード:** プロジェクターの現在の入力信号で使用されているピクチャーモードを表示します。

光源モード

プロジェクターの現在の光源モード設定を表示します。

デバイスID

プロジェクターの現在のデバイス ID 設定を表示します。

リモートコード

プロジェクターの現在のリモートコード設定を表示します。

プロジェクターを使用する

システムステータス

プロジェクターのシステムステータス情報を表示します。

- **電源モード(スタンバイ):** プロジェクターの現在のスタンバイモード設定を表示します。
- **投影時間:** プロジェクターの総使用時間を表示します。
- **Total Hours:** プロジェクターの合計レーザー使用時間を、通常、エコ、カスタム輝度モードで表示します。
- **標準:** 通常モードでのプロジェクターの合計レーザー使用時間を表示します。
- **Ecoモード:** エコモードでのプロジェクターの合計レーザー使用時間を表示します。
- **カスタム輝度:** カスタム輝度モードでのプロジェクターの合計レーザー使用時間を表示します。
- **周囲温度:** プロジェクターの現在の周囲温度を表示します。
- **内部温度:** プロジェクターの現在のシステム温度を表示します。
- **圧力 (hPa):** プロジェクターの現在の圧力を表示します。
- **Humidity:** プロジェクターの現在の湿度を表示します。

コントロール

プロジェクターの制御設定情報を表示します。

- **クレストロン:** プロジェクターの現在の Crestron 設定を表示します。
- **エクストロン:** プロジェクターの現在の Extron 設定を表示します。
- **PJ リンク:** プロジェクターの現在の PJLink 設定を表示します。
- **AMX デバイス検出:** プロジェクターの現在の AMX デバイス設定を表示します。
- **Telnet:** プロジェクターの現在の Telnet 設定を表示します。
- **HTTP:** プロジェクターの現在の HTTP 設定を表示します。
- **Art-Net:** プロジェクターの現在の Art-Net 設定を表示します。
- **Art-Net Status:** プロジェクターの現在の Art-Net チャンネル設定を表示します。

LAN

プロジェクターのネットワーク設定情報を表示します。

- **LAN インターフェイス:** プロジェクターの現在の LAN インターフェイス設定を表示します。
- **MACアドレス:** プロジェクターの MAC アドレス情報を表示します。
- **ネットワーク情報:** プロジェクターのネットワーク接続ステータスを表示します。
- **DHCP:** プロジェクターの DHCP 設定を表示します。
- **IPアドレス:** プロジェクターの現在の IP アドレスを表示します。
- **サブネットマスク:** プロジェクターの現在のサブネットマスクを表示します。
- **ゲートウェイ:** プロジェクターの現在のゲートウェイを表示します。
- **DNS 1 / DNS 2:** プロジェクターの現在の DNS1 および DNS2 アドレスを表示します。

FWバージョン

プロジェクターのファームウェアのバージョン情報を表示します。

追加情報

対応解像度

タイミング表

信号タイプ	信号形式	解像度	アスペクト比	垂直同期(Hz)	HDMI 1 / HDMI 2							
					RGB			YCbCr 4:4:4			YCbCr 4:2:2	
					8 ビット	10 ビット	12 ビット	8 ビット	10 ビット	12 ビット	8 ビット	
PC	VGA	640x480	1.33	4:3	60	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	XGA	1024x768	1.33	4:3	60	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
					70	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
					75	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
					85	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
					120	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	SXGA	1152x864	1.33	4:3	75	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
		1152x870	1.32		75	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	WXGA	1280x768	1.67	5:3	60	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
					75	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
					85	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
		1280x800	1.6	16:10	60	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
					75	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
					85	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	SXGA	1280x960	1.33	4:3	60	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
		1280x1024	1.25		85	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
		1280x1024	1.25	5:4	60	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
					75	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
		85	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	WXGA	1360x765	1.78	16:9	60	✓	該当なし	該当なし	✓	該当なし	該当なし	該当なし
		1360x768			60	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
		1366x768			60	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	SXGA+	1400x1050	1.33	4:3	60	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	WXGA+	1440x900	1.6	16:10	60	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					75	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					85	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	WXGA++	1600x900	1.78	16:9	60	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	UXGA	1600x1200	1.33	4:3	50	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					60	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	WSXGA+	1680x1050	1.6	16:10	60	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	WUXGA RB	1920x1200 RB	1.6	16:10	50	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					60	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					120	✓	該当なし	該当なし	✓	該当なし	該当なし	✓
	UWFHD	2560x1080	2.37	21.9	24	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					25	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					30	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					50	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					60	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

追加情報

信号タイプ	信号形式	解像度	アスペクト比	垂直同期(Hz)	HDMI 1 / HDMI 2						
					RGB			YCbCr 4:4:4			YCbCr 4:2:2
					8 ビット	10 ビット	12 ビット	8 ビット	10 ビット	12 ビット	8 ビット
TV	EDTV (480p)	720x480	1.5	3:2	60	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	EDTV (576p)	720x576	1.25	5:4	50	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	HDTV (1080i)	1920x1080	1.78	16:9	50	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					59.94	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					60	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	HDTV (720p)	1280x720	1.78	16:9	50	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					59.94	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					60	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					120	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	HDTV (1080p)	1920x1080	1.78	16:9	23.98	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					24	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					25	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					29.97	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					30	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					50	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					59.94	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					60	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					120	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	1920x1200	1920x1200	1.6	16:10	23.98	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					24	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					25	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					29.97	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					30	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					50	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					59.94	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					60	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					120	✓	該当なし	該当なし	✓	該当なし	該当なし
Frame Sequential 3D	XGA	1024x768	1.33	4:3	120	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	HDTV	1280x720	1.78	16:9	120	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	1080p	1920x1080	1.78	16:9	120	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					60	✓	✓	✓	✓	✓	X
	WUXGA	1920x1200	1.6	16:10	60	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					120	✓	該当なし	該当なし	✓	該当なし	該当なし

追加情報

信号タイプ	信号形式	解像度	アスペクト比	垂直同期(Hz)	HDMI 1 / HDMI 2							
					RGB			YCbCr 4:4:4			YCbCr 4:2:2	
					8 ビット	10 ビット	12 ビット	8 ビット	10 ビット	12 ビット	8 ビット	
4K	3840x2400	3840x2400	1.6	16:10	24	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
					25	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
					30	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
					50	✓	該当なし	該当なし	✓	該当なし	該当なし	
					60	✓	該当なし	該当なし	✓	該当なし	該当なし	
	3840x2160	3840x2160	1.78	16:9	24	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
					25	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
					30	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
					50	✓	該当なし	該当なし	✓	該当なし	該当なし	
					60	✓	該当なし	該当なし	✓	該当なし	該当なし	
	4096x2160	4096x2160	1.9	該当なし	24	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
					25	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
					30	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
					50	✓	該当なし	該当なし	✓	該当なし	該当なし	
					60	✓	該当なし	該当なし	✓	該当なし	該当なし	
高フレームレート	1080p	1920x1080	1.78	16:9	240	✓	該当なし	該当なし	✓	該当なし	該当なし	✓

追加情報

信号タイプ	信号形式	解像度	アスペクト比	垂直同期(Hz)	DisplayPort							
					RGB			YCbCr 4:4:4			YCbCr 4:2:2	
					8 ビット	10 ビット	12 ビット	8 ビット	10 ビット	12 ビット	8 ビット	
PC	VGA	640x480	1.33	4:3	60	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
	XGA	1024x768	1.33	4:3	60	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					72	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					75	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					85	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	SXGA	1152x864	1.33	4:3	120	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
		1152x870	1.32		75	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	WXGA	1280x768	1.67	5:3	60	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					75	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					85	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
		1280x800	1.6	16:10	60	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					75	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					85	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	SXGA	1280x960	1.33	4:3	60	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
		1280x1024	1.25		85	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
		WXGA	1.78	16:9	60	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					60	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					60	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	SXGA+	1400x1050	1.33	4:3	60	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	WXGA+	1440x900	1.6	16:10	60	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					75	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					85	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	WXGA++	1600x900	1.78	16:9	60	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	UXGA	1600x1200	1.33	4:3	50	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
		1600x1200	1.33		60	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	WSXGA+	1680x1050	1.6	16:10	60	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	WUXGA RB	1920x1200 RB	1.6	16:10	50	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					60	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					120	✓	該当なし	該当なし	✓	該当なし	該当なし	✓
TV	EDTV (480p)	720x480	1.5	3:2	60	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
		720x576	1.25	5:4	50	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
	UWFHD	2560x1080	2.37	21:9	24	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
					25	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
					30	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
					50	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
					60	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

追加情報

信号タイプ	信号形式	解像度	アスペクト比	垂直同期(Hz)	DisplayPort						
					RGB			YCbCr 4:4:4			YCbCr 4:2:2
					8 ビット	10 ビット	12 ビット	8 ビット	10 ビット	12 ビット	8 ビット
TV	HDTV (1080i)	1920x1080	1.78	16:9	50	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					59.94	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					60	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	HDTV (720p)	1280x720	1.78	16:9	50	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					59.94	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					60	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					120	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	HDTV (1080p)	1920x1080	1.78	16:9	23.98	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					24	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					25	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					29.97	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					30	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					50	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					59.94	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					60	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					120	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	1920x1200	1920x1200	1.6	16:10	23.98	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					24	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					25	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					29.97	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					30	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					50	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					59.94	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					60	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					120	✓	該当なし	該当なし	✓	該当なし	該当なし
Frame Sequential 3D	XGA	1024x768	1.33	4:3	120	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	HDTV	1280x720	1.78	16:9	120	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	1080p	1920x1080	1.78	16:9	120	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					60	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	WUXGA	1920x1200	1.6	16:10	60	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					120	✓	該当なし	該当なし	✓	該当なし	該当なし

追加情報

信号タイプ	信号形式	解像度	アスペクト比	垂直同期(Hz)	DisplayPort							
					RGB			YCbCr 4:4:4			YCbCr 4:2:2	
					8 ビット	10 ビット	12 ビット	8 ビット	10 ビット	12 ビット	8 ビット	
4K	3840x2400	3840x2400	1.6	16:10	24	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
					25	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
					30	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
					50	✓	該当なし	該当なし	✓	該当なし	該当なし	
					60	✓	該当なし	該当なし	✓	該当なし	該当なし	
	3840x2160	3840x2160	1.78	16:9	24	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
					25	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
					30	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
					50	✓	該当なし	該当なし	✓	該当なし	該当なし	
					60	✓	該当なし	該当なし	✓	該当なし	該当なし	
	4096x2160	4096x2160	1.9	該当なし	24	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
					25	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
					30	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
					50	✓	該当なし	該当なし	✓	該当なし	該当なし	
					60	✓	該当なし	該当なし	✓	該当なし	該当なし	
高フレームレート	1080p	1920x1080	1.78	16:9	240	✓	該当なし	該当なし	✓	該当なし	該当なし	✓

追加情報

信号タイプ	信号形式	解像度	アスペクト比	垂直同期(Hz)	HDBaseT							
					RGB			YCbCr 4:4:4			YCbCr 4:2:2	
					8 ビット	10 ビット	12 ビット	8 ビット	10 ビット	12 ビット	8 ビット	
PC	VGA	640x480	1.33	4:3	60	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	XGA	1024x768	1.33	4:3	60	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
					72	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
					75	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
					85	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	SXGA	1152x864	1.33	4:3	120	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
		1152x870	1.32		75	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	WXGA	1280x768	1.67	5:3	60	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
					75	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
					85	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
		1280x800	1.6	16:10	60	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
					75	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
					85	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	SXGA	1280x960	1.33	4:3	60	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
		1280x1024	1.25		85	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
		WXGA	1.78	16:9	60	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
					60	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
					60	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	SXGA+	1400x1050	1.33	4:3	60	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	WXGA+	1440x900	1.6	16:10	60	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
					75	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
					85	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	WXGA++	1600x900	1.78	16:9	60	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	UXGA	1600x1200	1.33	4:3	50	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
		1600x1200	1.33		60	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	WSXGA+	1680x1050	1.6	16:10	60	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	WUXGA RB	1920x1200 RB	1.6	16:10	50	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
					60	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
					120	✓	該当なし	該当なし	✓	該当なし	該当なし	
TV	UWFHD	2560x1080	2.37	21:9	24	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
					25	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
					30	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
					50	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
					60	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	EDTV (480p)	720x480	1.5	3:2	60	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
	EDTV (576p)	720x576	1.25	5:4	50	✓	✓	✓	✓	✓	✓	

追加情報

信号タイプ	信号形式	解像度	アスペクト比	垂直同期(Hz)	HDBaseT						
					RGB			YCbCr 4:4:4			YCbCr 4:2:2
					8 ビット	10 ビット	12 ビット	8 ビット	10 ビット	12 ビット	8 ビット
TV	HDTV (1080i)	1920x1080	1.78	16:9	50	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					59.94	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					60	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	HDTV (720p)	1280x720	1.78	16:9	50	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					59.94	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					60	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					120	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	HDTV (1080p)	1920x1080	1.78	16:9	23.98	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					24	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					25	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					29.97	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					30	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					50	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					59.94	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					60	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					23.98	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	1920x1200	1920x1200	1.6	16:10	23.98	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					24	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					25	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					29.97	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					30	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					50	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					59.94	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					60	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					120	✓	該当なし	該当なし	✓	該当なし	該当なし
Frame Sequential 3D	XGA	1024x768	1.33	4:3	120	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	HDTV	1280x720	1.78	16:9	120	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	1080p	1920x1080	1.78	16:9	120	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					60	✓	✓	✓	✓	✓	✓
	WUXGA	1920x1200	1.6	16:10	60	✓	✓	✓	✓	✓	✓
					120	✓	該当なし	該当なし	✓	該当なし	該当なし

追加情報

信号タイプ	信号形式	解像度	アスペクト比	垂直同期(Hz)	HDBaseT							
					RGB			YCbCr 4:4:4			YCbCr 4:2:2	
					8 ビット	10 ビット	12 ビット	8 ビット	10 ビット	12 ビット	8 ビット	
4K	3840x2400	3840x2400	1.6	16:10	24	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
					25	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
					30	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
					50	✓	該当なし	該当なし	✓	該当なし	該当なし	
					60	✓	該当なし	該当なし	✓	該当なし	該当なし	
	3840x2160	3840x2160	1.78	16:9	24	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
					25	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
					30	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
					50	✓	該当なし	該当なし	✓	該当なし	該当なし	
					60	✓	該当なし	該当なし	✓	該当なし	該当なし	
	4096x2160	4096x2160	1.9	該当なし	24	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
					25	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
					30	✓	✓	✓	✓	✓	✓	
					50	✓	該当なし	該当なし	✓	該当なし	該当なし	
					60	✓	該当なし	該当なし	✓	該当なし	該当なし	
高フレームレート	1080p	1920x1080	1.78	16:9	240	✓	該当なし	該当なし	✓	該当なし	該当なし	✓

注:

- 「✓」はサポートされていることを意味し、「該当なし」はサポートされていないことを意味します。
- 「RB」は「縮小ブランкиング」を意味します。

追加情報

EDID 表

HDMI 1.4 / HDBaseT 1.4			
確立されたタイミング	標準タイミング	詳細タイミング	サポートされるビデオのタイミング
640x480 @60 Hz	1024x768 @120 Hz	1280x768 @59 Hz	640x480 @60 Hz
800x600 @60 Hz	1280x800 @60 Hz	1360x768 @59 Hz	720x480x 60Hz
1024x768 @60 Hz	1280x960 @60 Hz	1360x768 @60 Hz	720x576 @50 Hz
1152x 870 @75Hz	1280x1024 @60 Hz	1920x1080 @60 Hz	1280x720 @50 Hz
	1440x900 @60 Hz	1920x1080i @60 Hz	1280x720 @60 Hz
	1600x900 @60 Hz	1920x1200 @60Hz (ネイティブ)	1280x720 @120 Hz
	1600x1200 @60 Hz		1920x1080i @50 Hz
	1680x1050 @60 Hz		1920x1080i @60 Hz
			1920x1080 @24 Hz
			1920x1080 @25 Hz
			1920x1080 @30 Hz
			1920x1080 @50 Hz
			1920x1080 @60 Hz
			1920x1080 @120 Hz
			3840x2160 @30Hz(HDMI VICs 4Kx2K 29.97,30Hz)
			3840x2160 @25Hz(HDMI VICs 4Kx2K 25Hz)
			3840x2160 @24Hz(HDMI VICs 4Kx2K 23.98,24Hz)
			4096x2160 @24Hz(HDMI VICs 4Kx2K 24Hz)

追加情報

HDMI 2.0 / HDBaseT 2.0			
確立されたタイミング	標準タイミング	詳細タイミング	サポートされるビデオのタイミング
1024x768 @60 Hz	1024x768 @120 Hz	1920x1080 @240 Hz	640x480 @60 Hz
1024x768 @70 Hz	1280x800 @60 Hz	1920x1200 @59 Hz	720x480x 60Hz
1024x768 @75 Hz	1280x960 @60 Hz	3840x2400 @30 Hz	720x576 @50 Hz
1152x870 @75 Hz	1280x1024 @60 Hz	3840x2400 @60Hz (ネイティブ)	1280x720 @50 Hz
1280x1024 @75 Hz	1440x900 @60 Hz		1280x720 @60 Hz
	1600x900 @60 Hz		1280x720 @120 Hz
	1600x1200 @60 Hz		1920x1080 @24 Hz
	1680x1050 @60 Hz		1920x1080 @25 Hz
			1920x1080 @30 Hz
			1920x1080 @50 Hz
			1920x1080 @60 Hz
			1920x1080 @120 Hz
			2560x1080 @24 Hz
			2560x1080 @25 Hz
			2560x1080 @30 Hz
			2560x1080 @50 Hz
			2560x1080 @60 Hz
			3840x2160 @24 Hz
			3840x2160 @25 Hz
			3840x2160 @30 Hz
			3840x2160 @50 Hz
			3840x2160 @60 Hz
			4096x2160 @24 Hz
			4096x2160 @25 Hz
			4096x2160 @30 Hz
			4096x2160 @50 Hz
			4096x2160 @60 Hz

追加情報

DisplayPort			
確立されたタイミング	標準タイミング	詳細タイミング	サポートされるビデオのタイミング
1024x768 @60 Hz	1024x768 @120 Hz	1366x768 @60 Hz	1280x720 @50 Hz
1024x768 @70 Hz	1280x800 @60 Hz	1920x1080 @60 Hz	1280x720 @60 Hz
1024x768 @75 Hz	1280x1024 @60 Hz	1920x1080 @240 Hz	1280x720 @120 Hz
1152x870 @75 Hz	1360x765 @60 Hz	3840x2160 @60 Hz	1920x1080 @24 Hz
	1440x900 @60 Hz	3840x2400 @30 Hz	1920x1080 @25 Hz
	1600x1200 @60 Hz	3840x2400 @60Hz (ネイティブ)	1920x1080 @50 Hz
	1680x1050 @60 Hz		1920x1080 @60 Hz
	1920x1200 @60 Hz		1920x1080 @120 Hz
			1920x1080i @50 Hz
			1920x1080i @60 Hz
			3840x2160 @24 Hz
			3840x2160 @25 Hz
			3840x2160 @30 Hz
			3840x2160 @50 Hz
			3840x2160 @60 Hz
			4096x2160 @24 Hz
			4096x2160 @25 Hz
			4096x2160 @30 Hz
			4096x2160 @50 Hz
			4096x2160 @60 Hz

追加情報

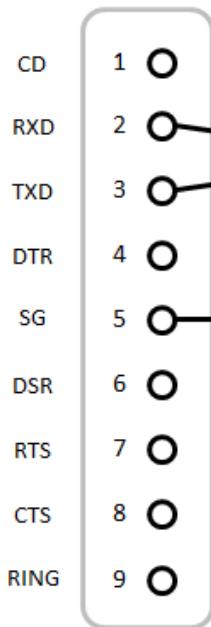
RS232 ポート設定と信号接続

RS232 ポート設定

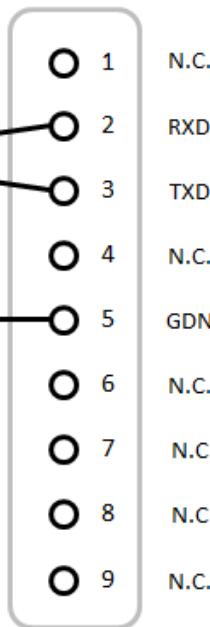
項目	方法
通信方法	非同期通信
通信速度	115200
データビット	8 ビット
パリティ	なし
停止ビット	1
フロー制御	なし

RS232 信号接続

コンピューター COM ポート
(D-Sub 9 ピン端子)



プロジェクター COM ポート
(D-Sub 9 ピン端子)



注: RS232 シェルは接地されます。

追加情報

画像サイズと投影距離

プラットフォーム			4K+ (16:10)									
DMD			0.8"									
投影レンズ		BX-CTA28	BX-CTA10		BX-CTA11		BX-CTA12		BX-CTA08			
		超短焦点	短焦点		短焦点		短焦点		標準			
スロー比仕様 (広角/望遠)			0.34-0.37		0.50-0.65		0.78-0.90		0.90-1.30		1.25-2.00	
ズーム比:			1.1x		1.3x		1.15x		1.44x		1.6x	
投影スクリーンサイズ			投影距離 (m)									
対角 (インチ)	高さ (m)	幅 (m)	広角	望遠	広角	望遠	広角	望遠	広角	望遠	広角	望遠
50	0.67	1.08	0.37	0.40	0.54	0.70	0.84	0.97	0.97	1.40	1.35	2.15
60	0.81	1.29	0.44	0.48	0.65	0.84	1.01	1.16	1.16	1.68	1.62	2.58
70	0.94	1.51	0.51	0.56	0.75	0.98	1.18	1.36	1.36	1.96	1.88	3.02
80	1.08	1.72	0.59	0.64	0.86	1.12	1.34	1.55	1.55	2.24	2.15	3.45
90	1.21	1.94	0.66	0.72	0.97	1.26	1.51	1.74	1.74	2.52	2.42	3.88
100	1.35	2.15	0.73	0.80	1.08	1.40	1.68	1.94	1.94	2.80	2.69	4.31
110	1.48	2.37	0.81	0.88	1.18	1.54	1.85	2.13	2.13	3.08	2.96	4.74
120	1.62	2.58	0.88	0.96	1.29	1.68	2.02	2.33	2.33	3.36	3.23	5.17
130	1.75	2.80	0.95	1.04	1.40	1.82	2.18	2.52	2.52	3.64	3.50	5.60
140	1.88	3.02	1.03	1.12	1.51	1.96	2.35	2.71	2.71	3.92	3.77	6.03
150	2.02	3.23	1.10	1.20	1.62	2.10	2.52	2.91	2.91	4.20	4.04	6.46
160	2.15	3.45	1.17	1.28	1.72	2.24	2.69	3.10	3.10	4.48	4.31	6.89
170	2.29	3.66	1.24	1.35	1.83	2.38	2.86	3.30	3.30	4.76	4.58	7.32
180	2.42	3.88	1.32	1.43	1.94	2.52	3.02	3.49	3.49	5.04	4.85	7.75
190	2.56	4.09	1.39	1.51	2.05	2.66	3.19	3.68	3.68	5.32	5.12	8.18
200	2.69	4.31	1.46	1.59	2.15	2.80	3.36	3.88	3.88	5.60	5.38	8.62
250	3.37	5.38	1.83	1.99	2.69	3.50	4.20	4.85	4.85	7.00	6.73	10.77
300	4.04	6.46	2.20	2.39	3.23	4.20	5.04	5.82	5.82	8.40	8.08	12.92
350	4.71	7.54	2.56	2.79	3.77	4.90	5.88	6.78	6.78	9.80	9.42	15.08
400	5.38	8.62	2.93	3.19	4.31	5.60	6.72	7.75	7.75	11.20	10.77	17.23
450	6.06	9.69	3.30	3.59	4.85	6.30	7.56	8.72	8.72	12.60	12.12	19.39
500	6.73	10.77	3.66	3.98	5.38	7.00	8.40	9.69	9.69	14.00	13.46	21.54

追加情報

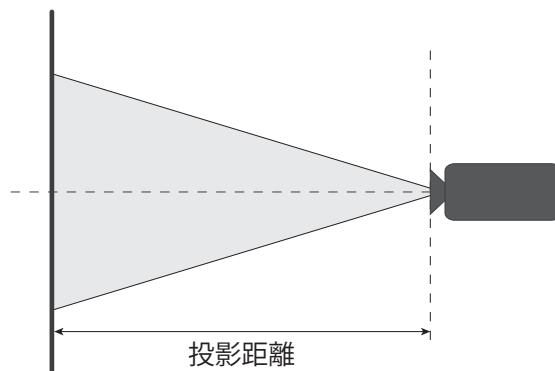
プラットフォーム			4K+ (16:10)									
DMD			0.8"									
投影レンズ			BX-CTA07	BX-CTA20	BX-CTA21	BX-CTA22	BX-CTA23					
			標準	標準	ロングズーム	超ロングズーム	超ロングズーム					
スロー比仕様 (広角/望遠)			1.30-1.80	1.44-1.80	1.80-2.40	2.40-4.80	4.80-8.64					
ズーム比:			1.38x	1.25x	1.33x	2x	1.8x					
投影スクリーンサイズ			投影距離 (m)									
対角 (インチ)	高さ (m)	幅 (m)	広角	望遠	広角	望遠	広角	望遠	広角	望遠	広角	望遠
50	0.67	1.08	1.40	1.94	1.55	1.94	1.94	2.58	2.58	5.17	5.17	9.30
60	0.81	1.29	1.68	2.33	1.86	2.33	2.33	3.10	3.10	6.20	6.20	11.17
70	0.94	1.51	1.96	2.71	2.17	2.71	2.71	3.62	3.62	7.24	7.24	13.03
80	1.08	1.72	2.24	3.10	2.48	3.10	3.10	4.14	4.14	8.27	8.27	14.89
90	1.21	1.94	2.52	3.49	2.79	3.49	3.49	4.65	4.65	9.30	9.30	16.75
100	1.35	2.15	2.80	3.88	3.10	3.88	3.88	5.17	5.17	10.34	10.34	18.61
110	1.48	2.37	3.08	4.26	3.41	4.26	4.26	5.69	5.69	11.37	11.37	20.47
120	1.62	2.58	3.36	4.65	3.72	4.65	4.65	6.20	6.20	12.41	12.41	22.33
130	1.75	2.80	3.64	5.04	4.03	5.04	5.04	6.72	6.72	13.44	13.44	24.19
140	1.88	3.02	3.92	5.43	4.34	5.43	5.43	7.24	7.24	14.47	14.47	26.05
150	2.02	3.23	4.20	5.82	4.65	5.82	5.82	7.75	7.75	15.51	15.51	27.91
160	2.15	3.45	4.48	6.20	4.96	6.20	6.20	8.27	8.27	16.54	16.54	29.78
170	2.29	3.66	4.76	6.59	5.27	6.59	6.59	8.79	8.79	17.58	17.58	31.64
180	2.42	3.88	5.04	6.98	5.58	6.98	6.98	9.30	9.30	18.61	18.61	33.50
190	2.56	4.09	5.32	7.37	5.89	7.37	7.37	9.82	9.82	19.64	19.64	35.36
200	2.69	4.31	5.60	7.75	6.20	7.75	7.75	10.34	10.34	20.68	20.68	37.22
250	3.37	5.38	7.00	9.69	7.75	9.69	9.69	12.92	12.92	25.85	25.85	46.52
300	4.04	6.46	8.40	11.63	9.30	11.63	11.63	15.51	15.51	31.02	31.02	55.83
350	4.71	7.54	9.80	13.57	10.86	13.57	13.57	18.09	18.09	36.19	36.19	65.13
400	5.38	8.62	11.20	15.51	12.41	15.51	15.51	20.68	20.68	41.36	41.36	74.44
450	6.06	9.69	12.60	17.45	13.96	17.45	17.45	23.26	23.26	46.52	46.52	83.74
500	6.73	10.77	14.00	19.39	15.51	19.39	19.39	25.85	25.85	51.69	51.69	93.05

注: スクリーンが 300 インチより大きい場合、細かい文字や画像が鮮明に表示されない場合があります。

追加情報

投影距離

プロジェクターとスクリーン間の距離によって、画像のおおよそのサイズが決まります。プロジェクターがスクリーンから遠いほど、投影される画像は大きくなります。画像サイズは、アスペクト比、ズームなどの設定によっても異なります。



電動レンズシフト範囲

投影レンズ	光学レンズシフト範囲		機械式シフト範囲	
	ΔH_o	ΔV_o	ΔH_m の最大	ΔV_m の最大
BX-CTA08	25%	55%	50%	120%
BX-CTA10		53%		
BX-CTA28		55%		
BX-CTA07	30%	60%		

映像垂直位置：投影画像の高さ

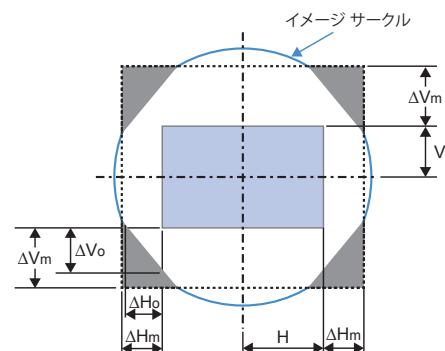
映像水平位置：投影画像の幅

□投影画像

記載の動作範囲を超えてレンズを移動すると、画面の端が暗くなったり、画像の焦点が合わなくなる場合があります。

注:

- 計算は、画像の幅の 1/2 と画像の高さの 1/2 に基づいて行われます。
- レンズシフト精度は 1 ステップあたり 0.5 ピクセルです。



追加情報

投影レンズ	光学レンズシフト範囲		機械式シフト範囲			
	ΔH_o	ΔV_o	ΔH_m の最大	ΔV_m の最大		
BX-CTA12	40%	80%	50%	120%		
BX-CTA11	42%	83%				
BX-CTA20	48%	94%				
BX-CTA21						
BX-CTA22						
BX-CTA23						

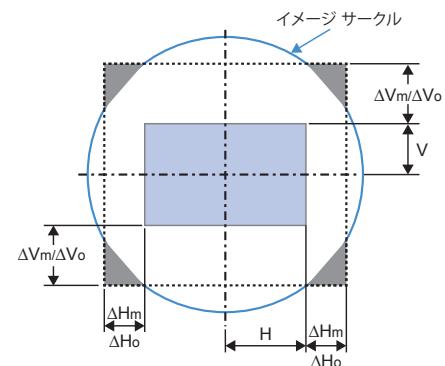
映像垂直位置：投影画像の高さ

映像水平位置：投影画像の幅

□ 投影画像

■ 記載の動作範囲を超えてレンズを移動すると、画面の端が暗くなったり、
画像の焦点が合わなくなる場合があります。

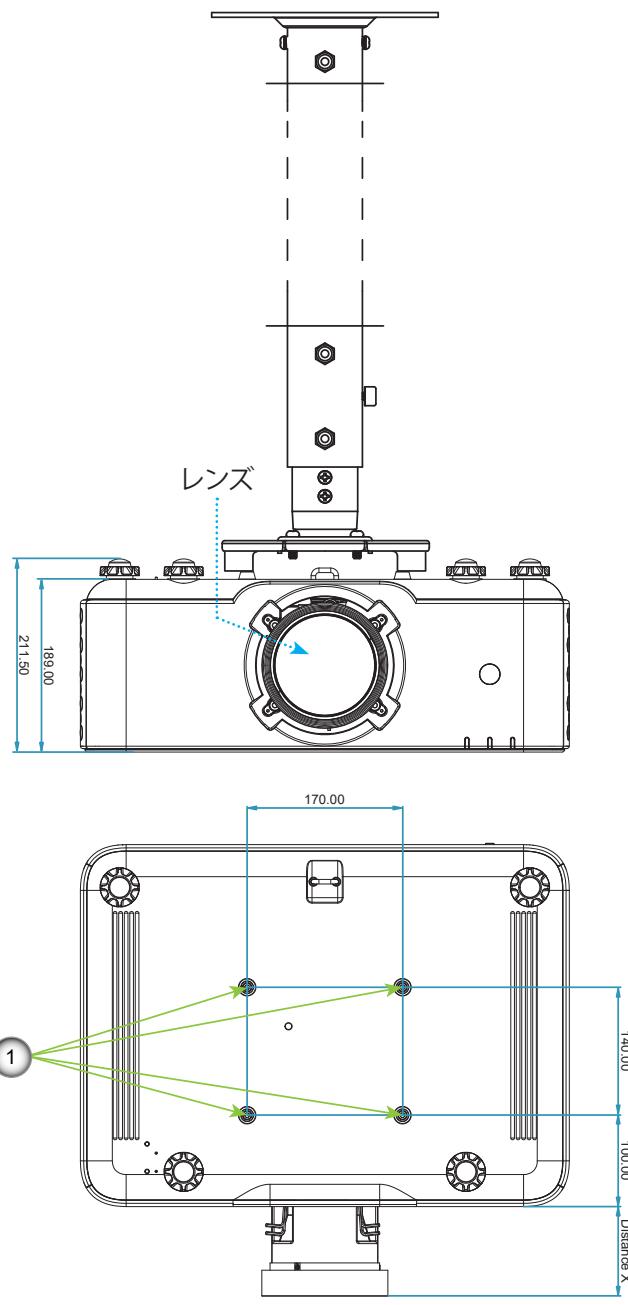
注：計算は、画像の幅の 1/2 と画像の高さの 1/2 に基づいて行われます。



追加情報

天井への取り付け

1. プロジェクターの損傷を防ぐため、必ず、Optoma の天吊り用パッケージを使用して取り付けてください。
2. 他社製の天吊りキットをご利用になる場合は、プロジェクターを取り付けるネジが以下の仕様に適合していることを必ず確認してください。
 - ネジの種類: M6*4
 - 最大穴深さ: 16 mm
 - 締め付けトルク: 25Kgf-cm~30Kgf-cm



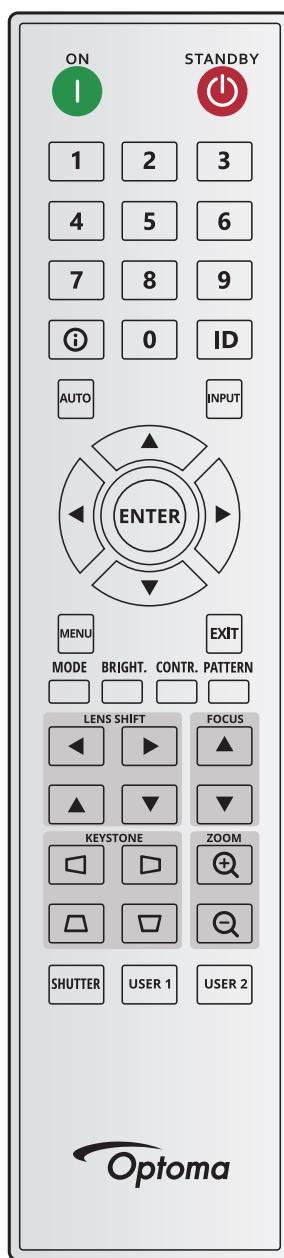
レンズタイプ	距離 X (単位: mm)
BX-CTA07	109.4
BX-CTA08	98.1
BX-CTA10	122.4
BX-CTA11	136.1
BX-CTA12	124.8
BX-CTA20	110.8
BX-CTA21	96.1
BX-CTA22	130.3
BX-CTA23	155.3
BX-CTA28	217.6

注:

1. 天吊り用の取り付け穴。
2. プロジェクターを正しく取り付けていないことが原因で発生した損傷に関しては、保証は無効になります。予めご了承ください。
3. X: プロジェクターとレンズの端の間の距離。

追加情報

IR リモコンコード



キーの凡例	キーの位置	繰り返し形式	アドレス		データ		説明
			バイト 1	バイト 2	バイト 3	バイト 4	
オン(1)	1	F1	32	CD	2	FD	押すとプロジェクターの電源がオンになります。
オフ(0)	2	F1	32	CD	2E	D1	押すとプロジェクターの電源がオフになります。
1	3	F1	32	CD	72	8D	テンキーの [1] として使用します。
2	4	F1	32	CD	73	8C	テンキーの [2] として使用します。
3	5	F1	32	CD	74	8B	テンキーの [3] として使用します。
4	6	F1	32	CD	75	8A	テンキーの [4] として使用します。
5	7	F1	32	CD	77	88	テンキーの [5] として使用します。
6	8	F1	32	CD	78	87	テンキーの [6] として使用します。

追加情報

キーの凡例	キーの位置	繰り返し形式	アドレス		データ		説明
			バイト1	バイト2	バイト3	バイト4	
7	9	F1	32	CD	79	86	テンキーの[7]として使用します。
8	10	F1	32	CD	80	7F	テンキーの[8]として使用します。
9	11	F1	32	CD	81	7E	テンキーの[9]として使用します。
情報 (O)	12	F1	32	CD	82	7D	押してソース画像情報を表示します。
0	13	F1	32	CD	25	DA	テンキーの[0]として使用します。
ID	14	F1	32	CD	A7	58	押してリモートIDを設定します。
自動	15	F1	32	CD	4	FB	押すと、プロジェクトが自動的に入力ソースと同期します。
入力	16	F1	32	CD	18	E7	押して入力信号を選択します。
上(▲)	17	F1	32	CD	0F	F0	押して、項目を選択するか、選択に合わせて調整を行います。
左(◀)	18	F1	32	CD	11	EE	押して、項目を選択するか、選択に合わせて調整を行います。
入力	19	F1	32	CD	14	EB	押して、項目選択を確認します。
右(▶)	20	F1	32	CD	10	EF	押して、項目を選択するか、選択に合わせて調整を行います。
下(▼)	21	F1	32	CD	12	ED	押して、項目を選択するか、選択に合わせて調整を行います。
メニュー	22	F1	32	CD	0E	F1	押して、プロジェクターのオンスクリーンディスプレイメニューを表示します。
戻る	23	F1	32	CD	2A	D5	押して、前のレベルに戻るか、トップレベルの場合はメニューを終了します。
モード	24	F1	32	CD	5	FA	押して、プリセット表示モードを選択します。
輝度	25	F1	32	CD	28	D7	押して、画像内の光の量を調整します。
コントラスト	26	F1	32	CD	29	D6	押して、明暗の差を調整します。
パターン	27	F1	32	CD	58	A7	押して、テストパターンを表示します。
レンズシフト◀	28	F1	32	CD	41	BE	押して、画像の水平方向の位置を調整します。
レンズシフト▶	29	F1	32	CD	42	BD	
フォーカス▲	30	F1	32	CD	86	79	押して、フォーカスを調整し、必要に応じて画像の鮮明さを向上させます。
レンズシフト▲	31	F1	32	CD	34	CB	押して、画像の垂直方向の位置を調整します。
レンズシフト▼	32	F1	32	CD	32	CD	押して、画像の垂直方向の位置を調整します。
フォーカス▼	33	F1	32	CD	26	D9	押して、フォーカスを調整し、必要に応じて画像の鮮明さを向上させます。
キーストーン□	34	F1	32	CD	87	78	押して、水平キーストーンを調整します。
キーストーン□	35	F1	32	CD	51	AE	押して、水平キーストーンを調整します。
ズーム⊕	36	F1	32	CD	52	AD	押して、ズームを調整し、希望の画像サイズを実現します。
キーストーン□	37	F1	32	CD	53	AC	押して、垂直キーストーンを調整します。
キーストーン□	38	F1	32	CD	54	AB	押して、垂直キーストーンを調整します。
ズーム⊖	39	F1	32	CD	55	AA	押して、ズームを調整し、希望の画像サイズを実現します。
シャッター(AV消音)	40	F1	32	CD	56	A9	押して、画面の画像を非表示/再表示します。
ユーザー1	41	F1	32	CD	57	A8	押して、ユーザー機能を割り当てます。「リモコン設定」(69ページ)を参照してください。
ユーザー2	42	F1	32	CD	27	D8	押して、ユーザー機能を割り当てます。「リモコン設定」(69ページ)を参照してください。

追加情報

トラブルシューティング

プロジェクターに問題が発生した場合は、以下をご参照ください。それでも問題が解決しない場合、最寄りの販売店またはサービスセンターにお問い合わせください。

画像の問題

スクリーンに画像が写らない

- すべてのケーブルと電源が、「設定と設置」の章に記載されている手順どおりに正しく接続されていることを確認してください。
- 端子のピンが曲がっていたり、壊れていないかどうか、ご確認ください。
- シャッター (AV 消音) 機能がオンに設定されていないか確認してください。

画像のピントが合っていない

- リモコンまたはプロジェクターのキーパッドの「フォーカス ▲」または「フォーカス ▼」ボタンを押して、画像が鮮明で読みやすくなるまでフォーカスを調整します。
- 投影画面がプロジェクターから必要な距離の間に入っていることを確認してください。(96 ページ 画像サイズと投影距離を参照してください)。

16:10 DVDを再生表示しているとき、画像が伸びる

- アナモフィックDVDまたは 16:10 DVD を再生しているとき、プロジェクタはプロジェクタ側で 16:10 フォーマットで最高の画像を表示します。
- 4:3 フォーマット DVD タイトルを再生している場合、プロジェクター OSD で 4:3 としてフォーマットを変更してください。
- お使いの DVD プレーヤーで、16:10 (ワイド) アスペクト比タイプとして表示フォーマットをセットアップしてください。

画像が大きすぎるか、小さすぎる

- リモコンまたはプロジェクターのキーパッドの「ズーム」 または「ズーム」 ボタンを押して、投影される画像のサイズを調整します。
- プロジェクターをスクリーンに近づけたり、遠ざけたりしてください。
- OSD メニューから、**ディスプレイ設定 > アスペクト比**を選択してアスペクト比を変更します。

画像が横に傾く

- 可能であれば、プロジェクターがスクリーンの中央下端に来るよう配置し直してください。
- リモコンの「キーストーン」 ボタンを押して、画面の形状を調整します。

画像が反転する

- OSD メニューから、**Device Setup > 投射位置 > 背面**を選択して画像を反転し、半透明のスクリーンの背面から投影できるようにします。

その他の問題

プロジェクターがすべてのコントロールへの反応を停止します

- 可能であれば、プロジェクターの電源を切って電源コードを抜き、20 秒待ってから電源を接続し直してください。

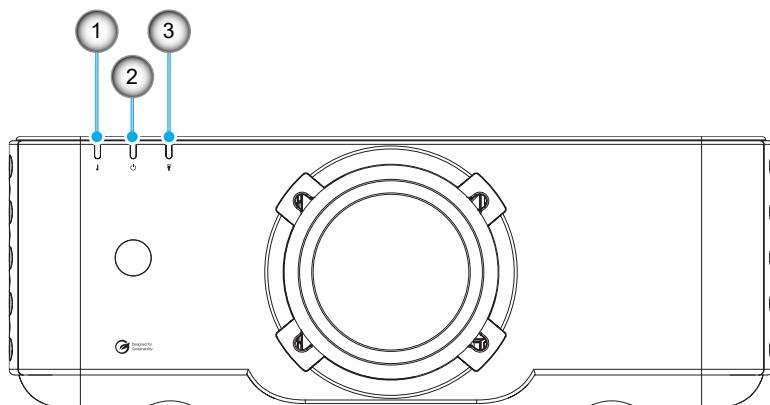
リモコンの問題

リモコンが作動しない場合、次を確認してください

- リモコンの操作角度が、プロジェクターの IR レシーバーから ±30° 以上ずれていないことを確認します。
- リモコンとプロジェクターとの間に障害物がないことを確認する。プロジェクターから 6 m (19.7 フィート) 以内に移動する。
- 電池が正しくセットされていることを確認する。
- 古くなった電池は、新しいものと交換します。

追加情報

LED インジケータと点灯メッセージ



番号	項目
1.	温度 LED
2.	電源 LED
3.	ライト LED

ステータス	ライト LED	電源 LED		温度 LED
	赤色	赤色	緑色	赤色
スタンバイ	該当なし	点灯	該当なし	該当なし
パワーオン	該当なし	該当なし	点灯	該当なし
警告スタート	該当なし	点滅 (1 秒オフ/1 秒オン)	該当なし	該当なし
冷却開始	該当なし	該当なし	点滅 (0.5 秒オフ/0.5 秒オン)	該当なし
AV 消音	点滅 (1 秒オフ/1 秒オン)	該当なし	点灯	該当なし
エラー (電源が異常です)	点灯	該当なし	該当なし	点灯
エラー (ファンが異常です)	該当なし	該当なし	該当なし	点滅 (3 秒オン/3 秒オフ)
エラー (カラーホール破損)	該当なし	該当なし	該当なし	点滅 (0.5 秒オフ/0.5 秒オン)
エラー (過熱)	該当なし	該当なし	該当なし	点灯
エラー (LD 過熱)	該当なし	該当なし	該当なし	点灯
エラー (LD 電圧が異常です)	点灯	該当なし	該当なし	該当なし
エラー (温度センサー切斷)	点滅 (0.5 秒オフ/0.5 秒オン)	点滅 (0.5 秒オフ/0.5 秒オン)	該当なし	該当なし
エラー (LD が異常です)	点灯	該当なし	点灯	該当なし
アップグレードプロセス	点滅 (3 秒オフ/3 秒オン)	点滅 (3 秒オフ/3 秒オン)	点滅 (3 秒オフ/3 秒オン)	点滅 (3 秒オフ/3 秒オン)

注: プロジェクターがアップグレードプロセスに入ると 10 分間消灯し、すべての LED が点滅します(3 秒オフ / 3 秒オン)。

追加情報

仕様

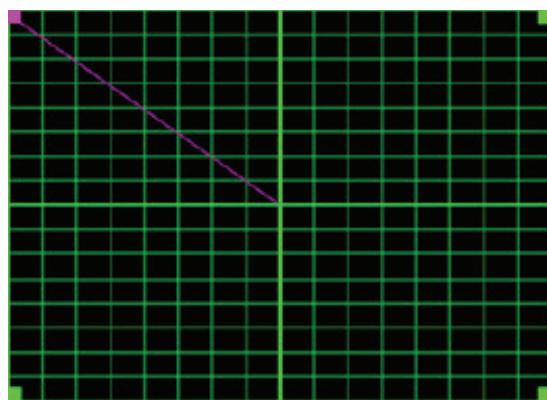
光学	説明
表示解像度	3840 x 2400
最大解像度	3840 x 2400 @ 60Hz (HDMI)
オフセット	0
画像サイズ	50 インチ ~ 500 インチ (メカニズム移動) (100 インチで最適化)
投影距離	レンズタイプにより異なります (1.87 m で最適化) (65 ページの画像サイズと投影距離を参照してください)
入力インターフェイス	<ul style="list-style-type: none">HDMI 入力 2.0 x 2DisplayPort 入力 x 1HDBaseT x 13D 同期入力 x 1
出力インターフェイス	<ul style="list-style-type: none">HDMI 出力 2.0 x 1電源 USB 5V/2A 用 USB Type-A x 13D 同期出力 x 1
コントロールインターフェイス	<ul style="list-style-type: none">LAN x 1 (10/100 Mbps)RS232 x 1有線リモコン x 1
色	10 億 7340 万色
スキャン速度	<ul style="list-style-type: none">水平スキャン速度: 15.375 ~ 91.146 KHz垂直スキャン速度: 24 ~ 85 Hz (3D 機能の場合 120 Hz)
電力要件	AC 100-240 V~, 50/60 Hz
入力電流	9A
取り付け方向	360° 回転、制限なし
寸法 (幅 x 奥行 x 高さ)	<ul style="list-style-type: none">535 x 396 x 189 mm (21.1 x 15.6 x 7.4 インチ) (レンズなし、フットなし)535 x 396 x 211.5 mm (21.1 x 15.6 x 8.3 インチ) (レンズなし、フットあり)
重さ	<ul style="list-style-type: none">16.8 kg ± 0.5 kg (37.04 ポンド ± 1.1 ポンド) (レンズを除く)18.9 kg ± 0.5 kg (41.67 ポンド ± 1.1 ポンド) (BX-CTA08 レンズを含む)
環境	<ul style="list-style-type: none">稼動: 0°C ~ 40°C* (32 ~ 104°F)、10 ~ 85%RH、結露なしストレージ: -10°C ~ 60°C (14 ~ 140°F)、5 ~ 90%RH、結露なし <p>注: 高度が 5000 フィートを超える場合、プロジェクターの正常な動作を確保するために、システムは 0 ~ 35°C の範囲で動作します。周囲温度が高い (≥35°C) ため、光の出力が低下します。</p>

注: 仕様はすべて予告なしで変更されることがあります。

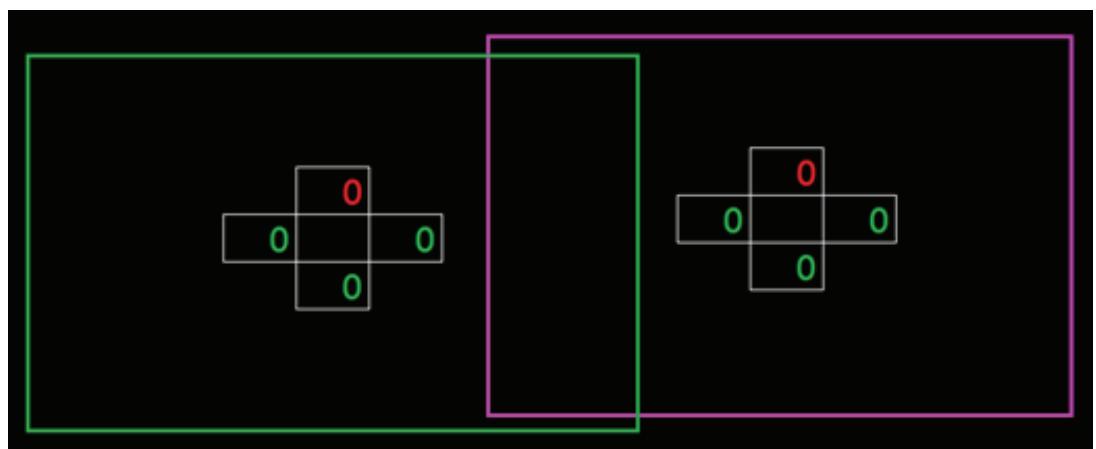
追加情報

手動ワープ制御手順

1. ワープ/ブレンド コントロールオプションを OSD オプションに切り替える必要があります。ステップ: メニュー > ディスプレイ設定 > ジオメトリ補正 > 詳細設定。
2. グリッドの色を変更すると、ワープ調整を行うとき、各プロジェクター上のグリッドの色の間を識別しやすくなります。Warp/Blend Grid Color オプションには、Green (既定)、Magenta、Red、Cyan が含まれます。ステップ: メニュー > ディスプレイ設定 > ジオメトリ補正 > 詳細設定 > グリッドカラー。



3. ブレンドオーバーラップサイズを設定します。ステップ: メニュー > ディスプレイ設定 > ジオメトリ補正 > 詳細設定 > ブレンド設定 > ブレンド幅。オーバーラップサイズのオプションおよび有効範囲は以下の通りです:
 - (a) 左: 0 (0%) / 192 (10%) ~ 960 (50%)
 - (b) 右: 0 (0%) / 192 (10%) ~ 960 (50%)
 - (c) 上: 0 (0%) / 120 (10%) ~ 600 (50%)
 - (d) 下: 0 (0%) / 120 (10%) ~ 600 (50%)
- 3.1 プロジェクターをセットアップし、実際の投影のオーバーラップに応じて、オーバーラップサイズを設定します。
 - A. オーバーラップサイズが、実際の投影のオーバーラップサイズよりも小さいことを確認してください。
 - B. すべてのプロジェクターのブレンド画面をオンにすると、有効オーバーラップ範囲を決定しやすくなります。
例として、1x2 レイアウトでの設定を参照し、以下のステップに従ってください。



追加情報

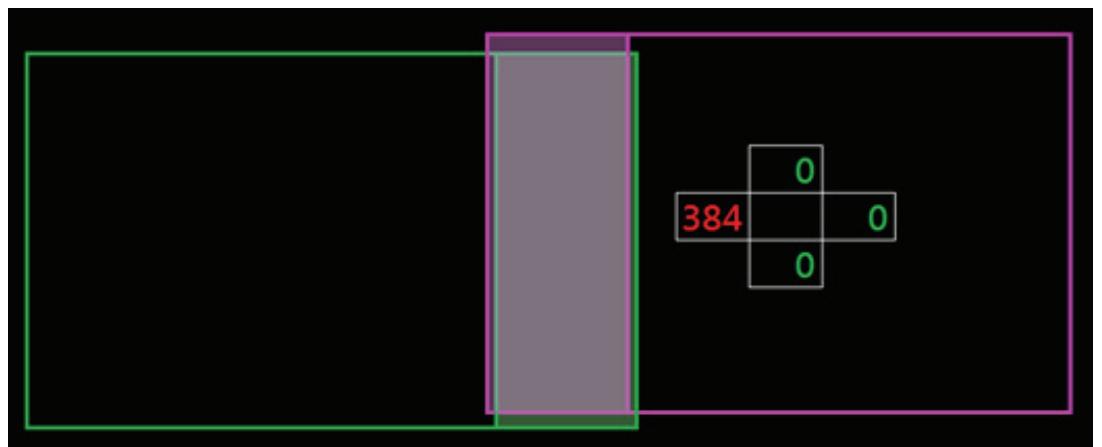
3.2 最初に、左側のプロジェクターの右境界線のオーバーラップサイズを調整します。

- A. オーバーラップ領域の左側をブレンド設定の値に沿ってシフトさせます。オーバーラップ領域は、明るい色に正方形で表示されます。
- B. 左側のプロジェクターのオーバーラップ領域の左側が右側のプロジェクターの左境界線を超えないようになるまで、オーバーラップサイズを調整します。



3.3 右側のプロジェクターの左境界線のオーバーラップサイズを調整します。

- A. オーバーラップ領域の右側をブレンド設定の値に沿ってシフトさせます。オーバーラップ領域は、明るい色に正方形で表示されます。
- B. ブレンド設定の値が、左側のプロジェクターの右境界線のオーバーラップサイズと同じになるように調整します。
- C. オーバーラップ領域の右側が左側のプロジェクターの右境界線を超えていないことを確認します。
- D. 超えている場合は、結果がステップCの状態と一致するまで、ブレンド設定の値を減らします。
- E. 右側のプロジェクターのブレンド設定の値が、左側のプロジェクターよりも小さい場合は、左側のプロジェクターの値を右側のプロジェクターの値と同じになるように調整します。



追加情報

4. グリッド ポイントおよびワープ内部を使用して、ワープ校正を完了します。
 - A. グリッド ポイントのオプションには、2x2 (既定)、3x3、5x5、9x9、17x17 が含まれます。

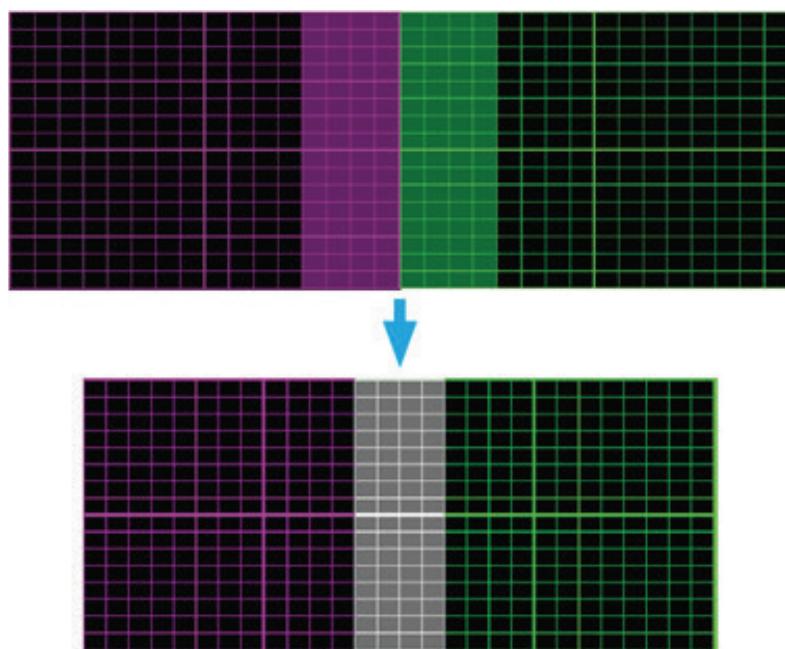
注:

 1. **↑、↓、←** または **→** ボタンを使用して、グリッド ポイントを選択します。
 2. 「決定」ボタンを押して、ポイントを選択します。
 3. 次に、**↑、↓、←** または **→** ボタンを押して、選択したポイントの位置をシフトさせます。
 4. **⬅** を押して、前ページに戻ります。

B. ワープ内部: 内部コントロールのオン/オフを切り替えます。
注: ワープ内部は、2x2 グリッドポイントをサポートしていません。

C. オーバーラップ領域は、ワープパターン内で、4 つの部分に等しく分割されます。

D. ワープ調整を使用して、オーバーラップのグリッド線を 2 つのプロジェクターに位置合わせして、手動ブレンディングを終了します。次のステップに従います。



- (1) グリッド ポイント 2x2 を選択して、プロジェクターの境界線をオーバーラップ領域面に位置合わせします。
 - (2) 設置状況に応じて、グリッド ポイント 3x3、5x5、9x9、17x17 を選択して、グリッド線を調整します。
 - (3) ワープ内部をオンにして、内部グリッドを調整します。
 - (4) すべてのグリッド線が位置合わせされました。「戻る」ボタンを押して、グリッドパターンを終了し、次に、手動ブレンディング設定を完了します。
5. グリッド線が直線から曲線に反っている場合、グリッド線は歪むか、ギザギザになります。これを避けるために、ワープシャープネスを調整して、画像のエッジをぼかしたりシャープにしたりできます。

追加情報

RS232プロトコル機能リスト

通信速度: 115200

データビット: 8

パリティ: なし

停止ビット: 1

フロー制御: なし

UART16550 FIFO: 無効化

■ Write Command

~	X	X	X	X	X	n	CR
Lead Code		Projector ID		Command		space	variable
Prefix	00~99 (Default: 00)		000~999			0~9999	suffix

Pass:

Fail:

■ Read Command

~	X	X	X	X	X	n	CR
Lead Code		Projector ID		Command		space	variable
Prefix	00~99 (Default: 00)		000~999			0~9999	suffix

Response Format

Pass:

O	k	n
Variable		

Fail:

■ System Automatically Send

I	N	F	O	n
Variable				

注: すべてのASCIIコマンドの後には<CR>が付きます。0Dは、ASCIIコードでの<CR>に対するHEXコードです。

追加情報

Write Command							Read Command								
Command			Command				Command			Command					
Level 1	Level 2	Level 3	Level 4	Level 5	Level 6	n value	CMD	space	Set Para.	CMD	CMD Value	Pass	Pass	Pass	Pass
Picture Mode	Picture Mode	[None]					~XX20		16	~XX123	1	O	k	0	
		Vivid					~XX20		21	~XX123	1	O	k	16	
		HDR					~XX20		25	~XX123	1	O	k	21	
		HLG					~XX20		3	~XX123	1	O	k	25	
		Cinema					~XX20		4	~XX123	1	O	k	3	
		Reference					~XX20		2	~XX123	1	O	k	4	
		Bright					~XX20		13	~XX123	1	O	k	2	
		DICOM SIM.					~XX20		19	~XX123	1	O	k	10	
		Blending					~XX20		9	~XX123	1	O	k	19	
		3D					~XX20		18	~XX123	1	O	k	9	
	Dynamic Range	High Frame Rate					~XX20		5	~XX123	1	O	k	18	
		User					~XX565		0	~XX291	1	O	k	5	
		HDR	Off				~XX565		1	~XX291	1	O	k	0	
		Auto					~XX566		0	~XX291	2	O	k	1	
		Bright					~XX566		1	~XX291	2	O	k	0	
Gamma	Dynamic Range	Standard					~XX566		2	~XX291	2	O	k	1	
		Film					~XX566		3	~XX291	2	O	k	2	
		Detail					~XX21		-50~50	~XX125	1	O	k	-50~50	
		Brightness	-50 ~ 50				~XX22		-50~50	~XX126	1	O	k	-50~50	
		Contrast	-50 ~ 50				~XX23		1~15						
	Gamma	Sharpness	1 ~ 15				~XX35		1						
		Film					~XX35		3						
		Graphics					~XX35		5						
		1.8					~XX35		6						
		2.0					~XX35		7						
		2.2					~XX35		12						
		2.4					~XX35		8						
		2.6					~XX35		21						
		Vivid					~XX35		9						
		3D					~XX35		10						
Image Settings	Dynamic Contrast	Blackboard					~XX35		11						
		DICOM SIM.													
		HDR					~XX191		0	~XX271	1	O	k	0	
		Dynamic Black	Off				~XX191		1	~XX271	1	O	k	1	
		On					~XX253		1~255						
		Speed	1 ~ 255				~XX254		0~3						
		Strength	0 ~ 3				~XX255		50~100						
		Level	50% ~ 100%				~XX218		0	~XX271	2	O	k	0	
		Extreme Black	Off				~XX218		1	~XX271	2	O	k	1	
		On					~XX256		0~20						
	Color Settings	AV Mute Timer	0.0s ~ 10.0s				~XX257		0~255						
		Black Signal Level	0 ~ 255				~XX45		0~100	~XX292	1	O	k	0~100	
		Color	0 ~ 100				~XX44		0~100	~XX293	1	O	k	0~100	
		Tint	0 ~ 100				~XX34		1~10	~XX294	1	O	k	0~10	
		BrilliantColor™	0 ~ 10				~XX36		4	~XX128	1	O	k	3	
Color Settings	Color Settings	Color Temperature	Warm				~XX36		1	~XX128	1	O	k	0	
		Standard					~XX36		2	~XX128	1	O	k	1	
		Cool					~XX36		3	~XX128	1	O	k	2	
		Color Matching	Auto Test Pattern	Off			~XX411		0						
			On				~XX411		1						
		Red	Hue	0 ~ 254			~XX327		0~254	~XX491	1	O	k	0~254	
			Saturation	0 ~ 254			~XX333		0~254	~XX491	2	O	k	0~254	
			Luminance	0 ~ 254			~XX339		0~254	~XX491	3	O	k	0~254	
			Reset				~XX215		5						
		Green	Hue	0 ~ 254			~XX328		0~254	~XX492	1	O	k	0~254	
	Color Matching		Saturation	0 ~ 254			~XX334		0~254	~XX492	2	O	k	0~254	
			Luminance	0 ~ 254			~XX340		0~254	~XX492	3	O	k	0~254	
			Reset				~XX215		6						
		Blue	Hue	0 ~ 254			~XX329		0~254	~XX493	1	O	k	0~254	
			Saturation	0 ~ 254			~XX335		0~254	~XX493	2	O	k	0~254	
	White		Luminance	0 ~ 254			~XX341		0~254	~XX493	3	O	k	0~254	
			Reset				~XX215		7						
		Cyan	Hue	0 ~ 254			~XX330		0~254	~XX494	1	O	k	0~254	
			Saturation	0 ~ 254			~XX336		0~254	~XX494	2	O	k	0~254	
			Luminance	0 ~ 254			~XX342		0~254	~XX494	3	O	k	0~254	
	White Balance	Reset					~XX215		8						
		Magenta	Hue	0 ~ 254			~XX332		0~254	~XX495	1	O	k	0~254	
			Saturation	0 ~ 254			~XX338		0~254	~XX495	2	O	k	0~254	
			Luminance	0 ~ 254			~XX344		0~254	~XX495	3	O	k	0~254	
		Yellow	Reset				~XX215		9						
Wall Color	Color Space (HDMI Input)	White	Red	0 ~ 254			~XX331		0~254	~XX496	1	O	k	0~254	
			Green	0 ~ 254			~XX337		0~254	~XX496	2	O	k	0~254	
			Blue	0 ~ 254			~XX343		0~254	~XX496	3	O	k	0~254	
			Reset				~XX215		10						
		Reset All (CLI Only)	Red	0 ~ 254			~XX345		0~254	~XX497	1	O	k	0~254	
	White Balance		Green	0 ~ 254			~XX346		0~254	~XX497	2	O	k	0~254	
			Blue	0 ~ 254			~XX347		0~254	~XX497	3	O	k	0~254	
			Reset				~XX215		4						
		Color Space (HDMI Input)	Auto				~XX224		0~100	~XX498	1	O	k	0~100	
			RGB (0-255)				~XX225		0~100	~XX498	2	O	k	0~100	
	3D Setup		RGB (16-235)				~XX226		0~100	~XX498	3	O	k	0~100	
			REC709				~XX227		0~100	~XX499	1	O	k	0~100	
			REC601				~XX228		0~100	~XX499	2	O	k	0~100	
			Blue Offset	0 ~ 100			~XX229		0~100	~XX499	3	O	k	0~100	
			Light Green	0 ~ 100			~XX230		0~100	~XX295	1	O	k	1	
	3D Sync Type		Light Blue	0 ~ 100			~XX231		0~100	~XX295	2	O	k	2	
			Pink				~XX232		0~100	~XX295	3	O	k	4	
			Gray				~XX233		0~100	~XX295	5	O	k	6	
	3D Setup	3D Mode	Off				~XX234		0	~XX296	1	O	k	0	
			Auto				~XX235		4	~XX296	1	O	k	4	
			DLP-Link				~XX236		1	~XX297	1	O	k	1	
			3D Sync				~XX237		3	~XX298	1	O	k	3	

追加情報

Write Command							Read Command							
Command			Command				Command			Command				
Level 1	Level 2	Level 3	Level 4	Level 5	Level 6	n value	CMD	space	Set Para	CMD	CMD Value			
Image Settings	3D Setup	3D Format	Auto				-XX405		0					
			Frame Packing				-XX405		7					
			Side by Side				-XX405		1					
			Top and Bottom				-XX405		2					
		Frame Sequential					-XX405		3					
	3D Sync Invert	Off					-XX231		1					
		On					-XX231		0					
		To Emitter					-XX232		0					
		To Next Projector					-XX232		1					
	Frame Delay	1 ~ 202					-XX233		1~202					
		Reset					-XX234		1					
	Reset						-XX509		1					
Image Settings	Light Source Settings	Normal					-XX110		1					
		Eco Mode					-XX110		2					
		Custom Brightness					-XX110		6					
		Brightness Level	10%~100%				-XX326		10~100					
		Constant Brightness	Off				-XX522		0					
	Low Latency Mode	On					-XX522		1					
		Off					-XX220		0					
		On					-XX220		1					
		4:3					-XX60		1					
	Aspect Ratio	16:9					-XX60		2					
		21:9					-XX60		16					
		LBX					-XX60		5					
		Auto					-XX60		7					
Image Settings	Digital Zoom	Native					-XX60		6					
		Proportional	Off				-XX364		0					
		On					-XX364		1					
		Horizontal	50% ~ 400%				-XX504		50~400					
		Vertical	50% ~ 400%				-XX505		50~400					
	Image Shift	Horizontal Shift	0 ~ 100				-XX365		0~100					
		Vertical Shift	0 ~ 100				-XX366		0~100					
		Reset					-XX364		9					
		Horizontal	0 ~ 100				-XX63		0~100					
	Vertical	0 ~ 100					-XX64		0~100					
Display Settings	Warp Control	Basic					-XX142		1					
		Advanced					-XX142		5					
		AP					-XX142		2					
		Keystone	Horizontal	0 ~ 40			-XX66		0~40					
		Vertical	0 ~ 40				-XX65		0~40					
	Geometric Correction	Pincushion	Horizontal	0 ~ 100			-XX300		0~100					
		Vertical	0 ~ 100				-XX301		0~100					
			right (0 ~ 1152)				-XX59		1					
			left (0 ~ 1152)				-XX59		2					
Display Settings	Basic		up (0 ~ 648)				-XX59		3					
			down (0 ~ 648)				-XX59		4					
			right (2688 ~ 3839)				-XX59		5					
			left (2688 ~ 3839)				-XX59		6					
			up (0 ~ 648)				-XX59		7					
	4-Corner		down (0 ~ 648)				-XX59		8					
			right (0 ~ 1152)				-XX59		9					
			left (0 ~ 1152)				-XX59		10					
			up (1512 ~ 2159)				-XX59		11					
Display Settings	Advanced		down (1512 ~ 2159)				-XX59		12					
			right (2688 ~ 3839)				-XX59		13					
			left (2688 ~ 3839)				-XX59		14					
			up (1512 ~ 2159)				-XX59		15					
			down (1512 ~ 2159)				-XX59		16					
	Grid Color	Green					-XX143		1					
		Magenta					-XX143		2					
		Red					-XX143		3					
		Cyan					-XX143		4					
Display Settings	Grid Background	Black					-XX145		1					
		Transparent					-XX145		2					
			2x2				-XX144		1					
			3x3				-XX144		2					
			5x5				-XX144		3					
	Warp Setting		9x9				-XX144		4					
			17x17				-XX144		5					
			Off				-XX146		0					
			On				-XX146		1					
Display Settings	Advanced		Warp Sharpness	0 ~ 9			-XX148		0~9					
			Blend Width				-XX144		1					
			4				-XX169		2					
			6				-XX169		3					
			8				-XX169		4					
	Blend Setting		10				-XX169		5					
			12				-XX169		6					
			1.8				-XX170		1					
			1.9				-XX170		2					
Display Settings	Gamma		2.0				-XX170		3					
			2.1				-XX170		4					
			2.2				-XX170		5					
	Overlap Grid Number		2.3				-XX170		6					
			2.4				-XX170		7					

追加情報

Write Command							Read Command									
Command			CMD				Command			CMD Value				Pass		
Level 1	Level 2	Level 3	Level 4	Level 5	Level 6	n value	CMD	space	Set Para.	CMD	CMD Value					
Display Settings	Geometric Correction	Advanced	Black Level	Area	Bottom											
				Top												
				Enable	Off		~XX166		4/6							
				On			~XX166		3/5							
				Edit Area												
				Brightness	Brightness		~XX263		1/2/3/4							
				Red	0 ~ 255		~XX281		0~255							
				Green	0 ~ 255		~XX282		0~255							
				Blue	0 ~ 255		~XX283		0~255							
				Boundary	Off		~XX287									
				On												
				Red	0 ~ 255											
				Green	0 ~ 255											
				Blue	0 ~ 255											
				Reset	Bottom		~XX167		3							
				Top			~XX167		5							
				All			~XX167		1							
				Save Memory	Memory 1 ~ Memory 5		~XX141		1~5							
				Apply Memory	Memory 1 ~ Memory 5		~XX147		1~5							
				Clear Memory			~XX174		1							
				Reset			~XX561		1							
				Edge Mask	0 ~ 10		~XX61		0~10							
				Freeze Screen (CLI Only)	Unfreeze		~XX04		0							
				Freeze			~XX04		1							
				Screen	Off		~XX302		0							
				PIP			~XX302		1							
				PBP			~XX302		2							
				[no Signal]												
				Main Source	HDMI 1		~XX12		1							
				HDMI 2			~XX12		15							
				DisplayPort			~XX12		20							
				HDBaseT			~XX12		21							
				Sub Source	[no Signal]		~XX305		1							
				HDMI 1			~XX305		4							
				HDMI 2			~XX305		17							
				DisplayPort			~XX305		10							
				HDBaseT			~XX306		1							
				Swap			~XX304		3							
				Size	Small		~XX304		2							
				Medium			~XX304		1							
				Large			~XX304		5							
				Location	PBP, Main Left		~XX303		6							
				PBP, Main Top			~XX303		7							
				PBP, Main Right			~XX303		8							
				PBP, Main Bottom			~XX303		4							
				PIP, Bottom Right			~XX303		3							
				PIP, Bottom Left			~XX303		1							
				PIP, Top Left			~XX303		2							
				PIP, Top Right			~XX173		1							
				Reset			~XX195		0							
				Test Pattern	Green Grid		~XX195		3							
				Magenta Grid			~XX195		4							
				White Grid			~XX195		1							
				White			~XX195		2							
				Black			~XX195		11							
				Red			~XX195		5							
				Green			~XX195		6							
				Blue			~XX195		7							
				Yellow			~XX195		8							
				Magenta			~XX195		9							
				Cyan			~XX195		10							
				ANSI Contrast 4x4			~XX195		14							
				Color Bars			~XX195		13							
				Full Screen			~XX195		16							
	Device Setup	Projection Orientation	Ceiling	Auto			~XX523		3							
				On			~XX523		1							
				Off			~XX523		0							
			Rear	Off			~XX524		0							
				On			~XX524		1							
	Language			English			~XX70		1							
				Čeština			~XX70		19							
				Dansk			~XX70		24							
				Nederland			~XX70		8							
				Suomi			~XX70		11							
				Français			~XX70		3							
				Deutsch			~XX70		2							
				ελληνικά			~XX70		12							
				Magyar			~XX70		18							
				Bahasa Indonesia			~XX70		26							
				Italiano			~XX70		4							
				日本語			~XX70		15							
				한국어			~XX70		16							
				Norsk			~XX70		10							
				Polski			~XX70		7							
				Português			~XX70		6							
				Română			~XX70		27							
				Русский			~XX70		17							
				简体中文			~XX70		14							
				Español			~XX70		5							
				Svenska			~XX70		9							
				ไทย			~XX70		21							
				繁體中文			~XX70		13							
				Türkçe			~XX70		22							
				Tiếng Việt			~XX70		25							

追加情報

Write Command							Read Command								
Command			Command				Command			Command					
Level 1	Level 2	Level 3	Level 4	Level 5	Level 6	n value	CMD	space	Set Para	CMD	CMD Value	Pass	O	K	Pass
Menu Settings	Menu Location	Top Left					-XX72		1	-XX382	2		O	k	1
		Top Right					-XX72		2	-XX382	2		O	k	2
		Center					-XX72		3	-XX382	2		O	k	3
		Bottom Left					-XX72		4	-XX382	2		O	k	4
		Bottom Right					-XX72		5	-XX382	2		O	k	5
		Menu Transparency	0 ~ 9				-XX526		0~9	-XX382	3		O	k	0~9
		Off					-XX515		0	-XX382	1		O	k	0
		5s					-XX515		1	-XX382	1		O	k	1
	Menu Timer	10s					-XX515		3	-XX382	1		O	k	3
		20s					-XX515		7	-XX382	1		O	k	7
		30s					-XX515		5	-XX382	1		O	k	5
		60s					-XX515		6	-XX382	1		O	k	6
	Information Hide	Off					-XX102		0	-XX383	1		O	k	0
		On					-XX102		1	-XX150	22		O	k	1
	High Altitude	Off					-XX101		0	-XX150	22		O	k	1
		On					-XX101		1						
Lens Settings	Lens Type	Lens Type								-XX245	1				
		Focus	+				-XX308		1						
		-					-XX308		2						
		Zoom	+				-XX307		1						
		-					-XX307		2						
		Lens Function	Lock				-XX349		1	-XX545	4		O	k	0
		Unlock					-XX349		2	-XX545	4		O	k	1
		Up					-XX84		3						
	Lens Shift	Down					-XX84		4						
		Left					-XX84		5						
		Right					-XX84		6						
		Lens Calibration					-XX525		1						
Device Setup	Lens Memory	Save Memory	Memory 1 ~ Memory 5				-XX360		1~5	-XX384	1				
		Apply Memory	Memory 1 ~ Memory 5				-XX359		1~5				O	k	1~5
		Clear Memory					-XX361		1						
		Reset					-XX175		1						
	Schedule	Date and Time								-XX243	1				
		Schedule Mode	Off				-XX284		0	-XX244	1		O	K	(202107051750)
		On					-XX284		1	-XX244	1		O	K	1
		View Today	Monday / Tuesday / Wednesday / Thursday / Friday / Saturday / Sunday							-XX243	2				
		Event 01-16	Schedule Enable	Off			-XX284		0 ~n, n=0~6 Sun. to Saturday						
			On				-XX284		1 ~n						
			Time	00:00 ~ 23:59			-XX471		dhhmmnn aabb						
				Off			-XX471		dhhmmnn aabb						
				Power Settings			-XX471		dhhmmnn aabb						
				Input Source			-XX471		dhhmmnn aabb						
			Function	Light Source Mode			-XX471		dhhmmnn aabb						
				Shutter			-XX471		dhhmmnn aabb						
				Event	Off		-XX471		dhhmmnn aabb						
			(Function = Power Settings)	Power On			-XX471		dhhmmnn aabb						
				Power Off			-XX471		dhhmmnn aabb						
				HDMI1			-XX471		dhhmmnn aabb						
			(Function = Input Source)	HDMI2			-XX471		dhhmmnn aabb						
				DisplayPort			-XX471		dhhmmnn aabb						
				HDBaseT			-XX471		dhhmmnn aabb						
			(Function = Light Source Mode)	Normal			-XX471		dhhmmnn aabb						
				Eco Mode			-XX471		dhhmmnn aabb						
				Custom Brightness			-XX471		dhhmmnn aabb						
			(Function = Shutter)	Shutter On			-XX471		dhhmmnn aabb						
				Shutter Off			-XX471		dhhmmnn aabb						
			Reset				-XX472		d~nn, d=0~6, nn=01~16 ex. ~XX472 5 ~13~ Reset Friday #13 event						

追加情報

Write Command							Read Command							
Command			Command				Command			Command				
Level 1	Level 2	Level 3	Level 4	Level 5	Level 6	n value								
Schedule	Clock Mode	Monday Tuesday Wednesday Thursday Friday Saturday Sunday	Copy Events To	Monday			~XX473	1 ~n n=1~7 Mon. to Sunday ex. ~XX473 1 ~=Copy Mon. event to Sunday	~XX473	1 ~n	~XX473	1 ~n	~XX473	1 ~n
				Tuesday			~XX473	2 ~n	~XX473	2 ~n	~XX473	2 ~n	~XX473	2 ~n
				Wednesday			~XX473	3 ~n	~XX473	3 ~n	~XX473	3 ~n	~XX473	3 ~n
				Thursday			~XX473	4 ~n	~XX473	4 ~n	~XX473	4 ~n	~XX473	4 ~n
				Friday			~XX473	5 ~n	~XX473	5 ~n	~XX473	5 ~n	~XX473	5 ~n
				Saturday			~XX473	6 ~n	~XX473	6 ~n	~XX473	6 ~n	~XX473	6 ~n
				Sunday			~XX473	7 ~n	~XX471	9 ~n, n=1~7 Mon. to Sunday ex. ~XX471 9 ~=Reset Friday schedule	9	~XX284	9	~XX284
		Reset the Day					~XX471	9 ~n, n=1~7 Mon. to Sunday ex. ~XX471 9 ~=Reset Friday schedule	~XX471	9	~XX471	9	~XX471	9
			Reset Schedule				~XX471	9	~XX471	9	~XX471	9	~XX471	9
							~XX471	9	~XX471	9	~XX471	9	~XX471	9
Device Setup	Date and Time	NTP Server	Use NTP Server				~XX474	1	~XX474	1	~XX474	1	~XX474	1
			Manual				~XX474	3	~XX474	3	~XX474	3	~XX474	3
			2000 ~ 2037 (Year)				~XX475	nnnn	~XX475	nnnn	~XX475	nnnn	~XX475	nnnn
			01 ~ 12 (Month)				~XX476	nn	~XX476	nn	~XX476	nn	~XX476	nn
			01 ~ 31 (Day)				~XX477	nn	~XX477	nn	~XX477	nn	~XX477	nn
			00 ~ 23 (Hour)				~XX478	nn	~XX478	nn	~XX478	nn	~XX478	nn
			00 ~ 59 (Minute)				~XX479	nn	~XX479	nn	~XX479	nn	~XX479	nn
			Off				~XX480	0	~XX480	0	~XX480	0	~XX480	0
			On				~XX480	1	~XX480	1	~XX480	1	~XX480	1
			time.google.com				~XX481	1	~XX481	1	~XX481	1	~XX481	1
		Time Zone	asia.pool.ntp.org				~XX481	2	~XX481	2	~XX481	2	~XX481	2
			europe.pool.ntp.org				~XX481	3	~XX481	3	~XX481	3	~XX481	3
			north-america.pool.ntp.org				~XX481	4	~XX481	4	~XX481	4	~XX481	4
			UTC+14:00				~XX482	1	~XX482	1	~XX482	1	~XX482	1
			UTC+13:00				~XX482	2	~XX482	2	~XX482	2	~XX482	2
			UTC+12:45				~XX482	3	~XX482	3	~XX482	3	~XX482	3
			UTC+12:00				~XX482	4	~XX482	4	~XX482	4	~XX482	4
			UTC+11:00				~XX482	5	~XX482	5	~XX482	5	~XX482	5
			UTC+10:30				~XX482	6	~XX482	6	~XX482	6	~XX482	6
			UTC+10:00				~XX482	7	~XX482	7	~XX482	7	~XX482	7
		Update Interval	UTC+09:30				~XX482	8	~XX482	8	~XX482	8	~XX482	8
			UTC+09:00				~XX482	9	~XX482	9	~XX482	9	~XX482	9
			UTC+08:45				~XX482	10	~XX482	10	~XX482	10	~XX482	10
			UTC+08:00				~XX482	11	~XX482	11	~XX482	11	~XX482	11
			UTC+07:00				~XX482	12	~XX482	12	~XX482	12	~XX482	12
			UTC+06:30				~XX482	13	~XX482	13	~XX482	13	~XX482	13
			UTC+06:00				~XX482	14	~XX482	14	~XX482	14	~XX482	14
			UTC+05:45				~XX482	15	~XX482	15	~XX482	15	~XX482	15
			UTC+05:30				~XX482	16	~XX482	16	~XX482	16	~XX482	16
			UTC+05:00				~XX482	17	~XX482	17	~XX482	17	~XX482	17
		Apply	UTC+04:30				~XX482	18	~XX482	18	~XX482	18	~XX482	18
			UTC+04:00				~XX482	19	~XX482	19	~XX482	19	~XX482	19
			UTC+03:30				~XX482	20	~XX482	20	~XX482	20	~XX482	20
			UTC+03:00				~XX482	21	~XX482	21	~XX482	21	~XX482	21
			UTC+02:00				~XX482	22	~XX482	22	~XX482	22	~XX482	22
			UTC+01:00				~XX482	23	~XX482	23	~XX482	23	~XX482	23
			UTC+00:00				~XX482	24	~XX482	24	~XX482	24	~XX482	24
			UTC-01:00				~XX482	25	~XX482	25	~XX482	25	~XX482	25
			UTC-02:00				~XX482	26	~XX482	26	~XX482	26	~XX482	26
			UTC-03:00				~XX482	27	~XX482	27	~XX482	27	~XX482	27
		Power Settings	UTC-03:30				~XX482	28	~XX482	28	~XX482	28	~XX482	28
			UTC-04:00				~XX482	29	~XX482	29	~XX482	29	~XX482	29
			UTC-05:00				~XX482	30	~XX482	30	~XX482	30	~XX482	30
			UTC-06:00				~XX482	31	~XX482	31	~XX482	31	~XX482	31
			UTC-07:00				~XX482	32	~XX482	32	~XX482	32	~XX482	32
			UTC-08:00				~XX482	33	~XX482	33	~XX482	33	~XX482	33
			UTC-09:00				~XX482	34	~XX482	34	~XX482	34	~XX482	34
			UTC-09:30				~XX482	35	~XX482	35	~XX482	35	~XX482	35
			UTC-10:00				~XX482	36	~XX482	36	~XX482	36	~XX482	36
			UTC-11:00				~XX482	37	~XX482	37	~XX482	37	~XX482	37
		OMS	UTC-12:00				~XX482	38	~XX482	38	~XX482	38	~XX482	38
			Hourly				~XX483	1	~XX483	1	~XX483	1	~XX483	1
			Daily				~XX483	3	~XX483	3	~XX483	3	~XX483	3
			Apply				~XX484	1	~XX484	1	~XX484	1	~XX484	1
		Shutter	Direct Power On				~XX105	0	~XX105	0	~XX105	0	~XX105	0
			On				~XX105	1	~XX105	1	~XX105	1	~XX105	1
			Signal Power On				~XX113	0	~XX113	0	~XX113	0	~XX113	0
			On				~XX113	1	~XX113	1	~XX113	1	~XX113	1
			Auto Power Off (min.)	0, 2 ~ 180			~XX106	0~180	~XX106	0~180	~XX106	0~180	~XX106	0~180
			Sleep Timer (min.)	0 ~ 960			~XX107	0~960	~XX107	0~960	~XX107	0~960	~XX107	0~960
			Energy Saving	Off			~XX319	0	~XX319	0	~XX319	0	~XX319	0
			On				~XX319	1	~XX319	1	~XX319	1	~XX319	1
			Eco				~XX114	0	~XX114	0	~XX114	0	~XX114	0
			Power Mode (Standby)	Active			~XX114	1	~XX114	1	~XX114	1	~XX114	1
		Security	Communication				~XX114	3	~XX114	3	~XX114	3	~XX114	3
			Off				~XX520	0	~XX520	0	~XX520	0	~XX520	0
			On				~XX520	1	~XX520	1	~XX520	1	~XX520	1
			Reset				~XX177	1	~XX177	1	~XX177	1	~XX177	1
			Security	Off			~XX78	0~nnnn	~XX78	0~nnnn	~XX78	0~nnnn	~XX78	0~nnnn
			On				~XX78	1~nnnn	~XX78	1~nnnn	~XX78	1~nnnn	~XX78	1~nnnn
			Month	0 ~ 35			~XX537	00~35	~XX537	00~35	~XX537	00~35	~XX537	00~35
			Day	0 ~ 29			~XX538	00~29	~XX538	00~29	~XX538	00~29	~XX538	00~29
			Hour	0 ~ 23			~XX539	00~23	~XX539	00~23	~XX539	00~23	~XX539	00~23
			Change Password				~XX77	~MMDDHH	~XX77	~MMDDHH	~XX77	~MMDDHH	~XX77	~MMDDHH
Keypad Lock	Off						~XX406	nnnn~nnnn	~XX406	nnnn~nnnn	~XX406	nnnn~nnnn	~XX406	nnnn~nnnn
		On					~XX103	0	~XX103	0	~XX103	0	~XX103	0

追加情報

Write Command							Read Command								
Level 1	Level 2	Level 3	Level 4	Level 5	Level 6	n value	Command			Command			Pass		
							CMD	space	Set Para.	CMD	CMD Value	Pass			
Device Setup	Backlight	Keypad	Off				-XX362		0	-XX393	1	O	k	0	
		On					-XX362		1	-XX393	1	O	k	1	
	Power Key	Off					-XX362		3	-XX393	2	O	k	0	
		On					-XX362		4	-XX393	2	O	k	1	
	Startup Logo	Change Logo	Default				-XX82		1	-XX395	1	O	k	1	
		Neutral					-XX82		3	-XX395	1	O	k	3	
		User					-XX82		4	-XX395	1	O	k	4	
		Delete Logo					-XX407		2						
	Background Color	None					-XX104		0	-XX396	1	O	k	0	
		Blue					-XX104		1	-XX396	1	O	k	1	
		Red					-XX104		3	-XX396	1	O	k	3	
		Green					-XX104		4	-XX396	1	O	k	4	
		Grey					-XX104		6	-XX396	1	O	k	6	
		White					-XX104		5	-XX396	1	O	k	5	
		Logo					-XX104		7	-XX396	1	O	k	7	
	User Data	Save all settings	Memory 1 ~ Memory 5				-XX258		1~5						
		Load all settings	Memory 1 ~ Memory 5				-XX259		1~5	-XX397	1	O	k	1~5	
	System Update	Auto	Off				-XX168		0	-XX158	1	O	k	0	
		On					-XX168		1	-XX158	1	O	k	1	
		Auto Download	Off				-XX168		3	-XX398	1	O	k	0	
		Update					-XX168		4	-XX398	1	O	k	1	
	Device Reset	Reset OSD					-XX546		1						
		Reset All Settings					-XX112		1						
		Image Settings					-XX509		1						
		Display Settings					-XX173		1						
		Device Setup					-XX179		1						
Input Settings	Input Settings	Input Settings					-XX178		1						
		Control Settings					-XX181		1						
	Auto Source	Off					-XX563		0	-XX372	1	O	k	0	
		On					-XX563		1	-XX372	1	O	k	1	
	Quick Resync	Off					-XX315		0	-XX373	1	O	k	0	
		On					-XX315		1	-XX373	1	O	k	1	
	Active Inputs	[None]					-XX12		1	-XX121	1	O	k	7	
		HDMI 1					-XX12		15	-XX121	1	O	k	8	
		HDMI 2					-XX12		20	-XX121	1	O	k	15	
		DisplayPort					-XX12		21	-XX121	1	O	k	16	
	EDID Settings	HDMI 1 EDID	1.4				-XX236		1	-XX374	1	O	k	1	
		2.0					-XX236		2	-XX374	1	O	k	2	
		HDMI 2 EDID	1.4				-XX237		1	-XX375	1	O	k	1	
		2.0					-XX237		2	-XX375	1	O	k	2	
	HDBaseT EDID	1.4					-XX238		1	-XX376	1	O	k	1	
		2.0					-XX238		2	-XX376	1	O	k	2	
	HDMI Out	HDMI 1					-XX309		5						
	HDMI 2						-XX309		6						
	Reset						-XX178		1						
Control Settings	IR Function	Device ID	0 ~ 99				-XX79		00~99	-XX558	1	O	k	00~99	
		Front	Off				-XX11		4	-XX542	1	O	k	0	
		On					-XX11		5	-XX542	1	O	k	1	
		Top	Off				-XX11		6	-XX542	2	O	k	0	
		On					-XX11		7	-XX542	2	O	k	1	
		Rear	Off				-XX11		8	-XX542	4	O	k	0	
		HDBaseT	On				-XX11		10	-XX542	3	O	k	0	
	Remote Settings	Remote Code	0 ~ 99				-XX350		00~99	-XX138	1	O	k	00~99	
		Quick Switch Code	1 ~ 9				-XX314		1~9	-XX138	3	O	k	1~9	
		HDMI 1					-XX117		8	-XX394	1	O	k	8	
		HDMI 2					-XX117		9	-XX394	1	O	k	9	
		Color Matching					-XX117		13	-XX394	1	O	k	13	
		Color Temperature					-XX117		4	-XX394	1	O	k	4	
		Projection Orientation					-XX117		14	-XX394	1	O	k	14	
		Light Source Mode					-XX117		15	-XX394	1	O	k	15	
		Freeze Screen					-XX117		17	-XX394	1	O	k	17	
		LAN					-XX117		20	-XX394	1	O	k	20	
		Reset Selective					-XX117		21	-XX394	1	O	k	21	
		HDMI 1					-XX118		8	-XX394	2	O	k	8	
		HDMI 2					-XX118		9	-XX394	2	O	k	9	
		Color Matching					-XX118		13	-XX394	2	O	k	13	
		Color Temperature					-XX118		4	-XX394	2	O	k	4	
	LAN	Projection Orientation					-XX118		14	-XX394	2	O	k	14	
		Light Source Mode					-XX118		15	-XX394	2	O	k	15	
		Freeze Screen					-XX118		17	-XX394	2	O	k	17	
		LAN					-XX118		20	-XX394	2	O	k	20	
		Reset Selective					-XX118		21	-XX394	2	O	k	21	
		RJ45					-XX460		1	-XX386	1	O	k	1	
		HDBaseT					-XX460		2	-XX386	1	O	k	2	
Control	Control	(read only) Connected					-XX87		1	-XX87	1	O	k	1	
		(read only) Disconnected					-XX87		1	-XX87	1	O	k	0	
		MAC Address	(read only)				-XX87		1	-XX87	1	O	k	nnnn:nnnn:nnnn:nnnn	
		DHCP	Off				-XX461		0	-XX150	17	O	k	0	
		On					-XX461		1	-XX150	17	O	k	1	
		IP Address	-----				-XX87		3	-XX87	3	O	k	nnnn:nnnn:nnnn:nnnn	
		Subnet Mask	-----				-XX87		4	-XX87	4	O	k	nnnn:nnnn:nnnn:nnnn	
		Gateway	-----				-XX87		5	-XX87	5	O	k	nnnn:nnnn:nnnn:nnnn	
		DNS 1	-----				-XX87		6	-XX87	6	O	k	nnnn:nnnn:nnnn:nnnn	
		DNS 2	-----				-XX87		7	-XX87	7	O	k	nnnn:nnnn:nnnn:nnnn	
		Apply					-XX462		9	-XX462	1	O	k	0	
		Reset					-XX462		1	-XX462	1	O	k	1	
Control	Crestron	Off					-XX454		0	-XX441	1	O	k	0	
		On					-XX454		1	-XX441	1	O	k	1	
		Off					-XX456		0	-XX440	2	O	k	0	
		On					-XX456		1	-XX440	2	O	k	1	
	Extron	Off					-XX455		0	-XX442	1	O	k	0	
		On					-XX455		1	-XX442	1	O	k	1	
		Off					-XX457		0	-XX444	1	O	k	0	
		On					-XX457		1	-XX444	1	O	k	1	
Control	AMX Device Discovery	Off					-XX458		0	-XX445	1	O	k	0	
		On					-XX458		1	-XX445	1	O	k	1	
	Telnet	Off					-XX458		1	-XX445	1	O	k	0	
	Telnet	On					-XX458		1	-XX445	1	O	k	1	

追加情報

Write Command							Read Command						
			Command				Command			Pass			
Level 1	Level 2	Level 3	Level 4	Level 5	Level 6	n value	CMD	space	Set Para.	CMD	CMD Value		
Control	HTTP	Off					~XX459		0	~XX446	1		
		On					~XX459		1	~XX446	1	O	k 0
		Off					~XX452		0	~XX447	1	O	k 0
		On					~XX452		1	~XX447	1	O	k 1
		On(2.X.X)					~XX452		2	~XX447	1	O	k 2
		On(10.X.X)					~XX452		3	~XX447	1	O	k 3
		Net	0 ~ 127				~XX425		0~127	~XX226	1	O	k 0~127
		Subnet	0 ~ 15				~XX426		0~15	~XX226	2	O	k 0~15
	Art-Net	Universe	0 ~ 15				~XX427		0~15	~XX226	3	O	k 0~15
		Channel Settings	User 1				~XX429		1	~XX226	5	O	k 1
			User 2				~XX429		2	~XX226	5	O	k 2
		User 1	1	Art-Net			~XX429		101a	~XX226	11		
			2	Light Source Settings			~XX429		102a	~XX226	12		
			3	Active Inputs			~XX429		103a	~XX226	13		
			4	Lens Shift (H)			~XX429		104a	~XX226	14		
			5	Lens Shift (V)			~XX429		105a	~XX226	15		
			6	Focus			~XX429		106a	~XX226	16		
			7	Zoom			~XX429		107a	~XX226	17		
			8	Lens Function			~XX429		108a	~XX226	18		
	Control Settings	Art-Net	9	Lens Control			~XX429		109a	~XX226	19		
			10	Lens Memory			~XX429		110a	~XX226	20		
			11	H Keystone			~XX429		111a	~XX226	21		
			12	V Keystone			~XX429		112a	~XX226	22		
			13	Power			~XX429		113a	~XX226	23		
			14	Shutter			~XX429		114a	~XX226	24		
			15	Freeze			~XX429		115a	~XX226	25		
			16	Test Pattern			~XX429		116a	~XX226	26		
	Edit Channel	User 1	Reset				~XX429		11				
			1	None			~XX429		201a	~XX226	11		
			2	None			~XX429		202a	~XX226	12		
			3	None			~XX429		203a	~XX226	13		
			4	None			~XX429		204a	~XX226	14		
			5	None			~XX429		205a	~XX226	15		
			6	None			~XX429		206a	~XX226	16		
			7	None			~XX429		207a	~XX226	17		
			8	None			~XX429		208a	~XX226	18		
			9	None			~XX429		209a	~XX226	19		
			10	None			~XX429		210a	~XX226	20		
			11	None			~XX429		211a	~XX226	21		
			12	None			~XX429		212a	~XX226	22		
			13	None			~XX429		213a	~XX226	23		
			14	None			~XX429		214a	~XX226	24		
			15	None			~XX429		215a	~XX226	25		
			16	None			~XX429		216a	~XX226	26		
			Reset				~XX429		12				
Baud Rate	9600						~XX153		1			O	k 9600
	19200						~XX153		1			O	k 19200
	38400						~XX153		1			O	k 38400
	57600						~XX153		1			O	k 57600
	115200						~XX153		1			O	k 115200
	Reset						~XX181		1				

追加情報

Information							Write Command			Read Command		
Level 1	Level 2	Level 3	Level 4	Level 5	Level 6	n value	Command		Command		Pass	
							CMD	space	Set Para.	CMD	CMD Value	
Source Info.	Regulatory						-XX151		3	O	k	nnnnnnnn
	Serial Number	Source					-XX353		1	O	k	nnnnnnnnnnnnnnnn
		Resolution					-XX150		3	O	k	nnn..nn (e.g. OkHDMI)
		Signal Format					-XX150		4	O	k	nnn..nn (e.g.Ok1920x1080)
		Pixel Clock					-XX150		5	O	k	a=nnnnnnnnnnn (e.g. BT.2020 HDR)
		Refresh Rate					-XX150		6	O	k	nn..nn
		Color Depth					-XX150		19	O	k	a=string (e.g. Ok60Hz)
		Color Gamut					-XX156		1	O	k	a=bit nn (e.g. 8bit RGB)
		Color Space					-XX156		3	O	k	a=string (e.g. BT.2020 HDR)
	Picture Mode						-XX295		1	O	k	a=2 RGB \ RGB (0-255)* a=3 YUV a=4 RGB(16 - 235)* a=5 Rec709 a=6 Rec601
System Status	Sub Source						-XX123		1	O	k	a = 0 None a = 2 Bright a = 3 Cinema a = 4 sRGB/Reference/ Standard a = 5 User 1 a = 6 User 2 / 3D User a = 9 3D a = 10 DICOM SIM. a = 14 Vivid (Photo) a = 19 Blending a = 21 HLG a = 25 HLG a = 26 User HDR a = 27 User HLG a = 32 User-Bright a = 33 User-Cinema a = 34 User-sRGB a = 35 User-DICOM a = 36 User-Blending
	Resolution						-XX150		9	O	k	nnn..nn (e.g. Ok48C)
	Signal Format						-XX150		10	O	k	nnn..nn (e.g. Ok48C)
	Pixel Clock						-XX150		11	O	k	a=nnnnnnnnnnn (e.g. BT.2020 HDR)
	Refresh Rate						-XX150		12	O	k	nn..nn
	Color Depth						-XX150		24	O	k	nn..nn
	Color Gamut						-XX156		2	O	k	a=bit nn (e.g. 8bit RGB)
	Color Space						-XX156		3	O	k	a=string (e.g. BT.2020 HDR)
	Light Source Mode						-XX295		2	O	k	a=2 RGB \ RGB (0-255)* a=3 YUV a=4 RGB(16 - 235)* a=5 Rec709 a=6 Rec601
	Device ID						-XX79	00~99		O	k	00~99
Control	Remote Code						-XX558		1	O	k	00~99
	Power Mode (Standby)						-XX350	00~99		O	k	00~99
	Projection Hours						-XX150		16	O	k	a=1 Active a=0 Eco a=3 Communication
	Total Hours						-XX150		21	O	k	nnnn (nnnn= hour digits)
	Normal						-XX108		1	O	k	nnnn (nnnn= hour digits)
	Eco Mode						-XX108		3	O	k	nnnn (nnnn= hour digits)
	Custom Brightness						-XX108		4	O	k	nnnn (nnnn= hour digits)
	Ambient Temp.						-XX108		7	O	k	nnnn..nn (e.g. Ok48)
	System Temp.						-XX150		23	O	k	nn..nn (e.g. Ok48)
	Pressure(hPa)						-XX150		18	O	k	nn..nn (e.g. Ok1122)
Art-Net Status	Humidity						-XX159		3	O	k	nnnn..nn (e.g. Ok50)
	Creston						-XX441		1	O	k	a=0 off ; a=1 On
	Extron						-XX442		1	O	k	a=0 off ; a=1 On
	PJ Link						-XX440		2	O	k	a=0 off ; a=1 On
	AMX Device Discovery						-XX444		1	O	k	a=0 off ; a=1 On
	Telnet						-XX445		1	O	k	a=0 off ; a=1 On
	HTTP						-XX446		1	O	k	a=0 off ; a=1 On
	Art-Net						-XX447		1	O	k	a=0 off ; a=1 On; a=2 On(2.X.X); a=3 On(10.X.X)
	Channels	User 1					-XX226		5	O	k	1=User1, 2=User2
	1	Art-Net					-XX226		11	O	k	n01a(eg. Ok20101=User 2 Channel 01, 01 Artet)
Art-Net Status	2	Light Source Settings					-XX226		12	O	k	n02a(eg. Ok20207=User 2 Channel 02, 07 Zoom)
	3	Active Inputs					-XX226		13	O	k	n03a(eg. Ok20307=User 2 Channel 03, 07 Zoom)
	4	Lens Shift (H)					-XX226		14	O	k	n04a(eg. Ok20407=User 2 Channel 04, 07 Zoom)
	5	Lens Shift (V)					-XX226		15	O	k	n05a(eg. Ok20507=User 2 Channel 05, 07 Zoom)
	6	Focus					-XX226		16	O	k	n06a(eg. Ok20607=User 2 Channel 06, 07 Zoom)
	7	Zoom					-XX226		17	O	k	n07a(eg. Ok20707=User 2 Channel 07, 07 Zoom)
	8	Lens Function					-XX226		18	O	k	n08a(eg. Ok20807=User 2 Channel 08, 07 Zoom)
	9	Lens Control					-XX226		19	O	k	n09a(eg. Ok20907=User 2 Channel 09, 07 Zoom)
	10	Lens Memory					-XX226		20	O	k	n10a(eg. Ok21007=User 2 Channel 10, 07 Zoom)

追加情報

Write Command							Read Command						
Command			Set Para.				Command			Pass			
Level 1	Level 2	Level 3	Level 4	Level 5	Level 6	n value	CMD	space	CMD Value				
Information	Control	Art-Net Status	11	H Keystone					-XX226	21			
			12	V Keystone					-XX226	22			
			13	Power					-XX226	23			
			14	Shutter					-XX226	24			
			15	Freeze					-XX226	25			
	LAN	LAN Interface	16	Test Pattern					-XX226	26			
			LAN Interface						-XX386	1			
			MAC Address						-XX555	1			
			Network Status						-XX87	1			
			DHCP						-XX150	17			
			IP Address						-XX87	3			
			Subnet Mask						-XX87	4			
			Gateway						-XX87	5			
			DNS 1						-XX87	6			
			DNS 2						-XX87	7			
			FW Version						-XX122	1			
When projector in standby, RS232 have to support													
Power Off							-XX00		-XX124	1			
Power On							-XX00		-XX124	1			
Power On with password							-XX00	1 ~nnnn					
Information	Info String								-XX150	1			
Light Source Hours									-XX108	1			
Other Items													
Power Off							-XX00	0	-XX124	1			
Power On							-XX00	1	-XX124	1			
Power On with password							-XX00	1 ~nnnn					
Re-Sync							-XX01	1					
AV Mute	Off						-XX02	0	-XX355	1			
	On						-XX02	1	-XX355	1			
Freeze	Unfreeze						-XX04	0	-XX357	1			
Zoom Plus	Freeze						-XX04	1	-XX357	1			
3D Sync Out	To Emitter						-XX232	0					
	To Next Projector						-XX232	1					
3D Frame Delay	1 ~ 202						-XX233	1~nnn					
Output 3D state	2D								-XX130	1			
	3D								-XX130	1			
System Auto Send	Standby Mode						-XX00	0	-XX124	1			
	Warming up						-XX00	1	-XX124	1			
	Cooling Down						-XX00	1 ~nnnn					
	Out of Range						-XX01	1					
	Light Source Fail (LED Fail)						-XX02	0	-XX355	1			
	Thermal Switch Error						-XX02	1	-XX355	1			
	Fan Lock						-XX04	0	-XX357	1			
	Over Temperature						-XX04	1	-XX357	1			
	Light Source Hours Running Out						-XX232	0					
	Cover Open						-XX232	1					
	Lightsource Ignite Fail						-XX233	1~nnn					
	Format Board Power On Fail								-XX130	1			
	Color Wheel Unexpected Stop								-XX130	1			
	FAN 1 Lock								-I N F O	0			
	FAN 2 Lock								-I N F O	1			
	FAN 3 Lock								-I N F O	2			
	FAN 4 Lock								-I N F O	3			
	FAN 5 Lock								-I N F O	7			
	LAN fail then restart								-I N F O	9			
	LD lower than 6%								-I N F O	12			
	LD NTC (1) Over Temperature								-I N F O	14			
	LD NTC (2) Over Temperature								-I N F O	15			
	High Ambient Temperature								-I N F O	16			
	System Ready								-I N F O	17			
	FAN 8 Lock								-I N F O	18			
	FAN 9 Lock								-I N F O	19			
	FAN 10 Lock								-I N F O	20			
	Green/Normal								-I N F O	21			
	Orange/Notice								-I N F O	22			
	Red/Warning. About to trigger shutdown								-I N F O	23			
	Green/Normal						-XX155	1	-I N F O	24			
	Orange/Notice						-XX155	1	-I N F O	28			
	Red/Warning. About to trigger shutdown						-XX159	1	-I N F O	29			
Device Type	Projector						-XX159	1	-I N F O	30			
Model Name	Optoma UHD								-XX149	1			
									-XX151	1			

追加情報

Level 1	Level 2	Level 3	Level 4	Level 5	Level 6	n value
OSD Lock	On					
Off						
Regulatory Model						
Software Version						
LAN FW version						
Fan Speed	Fan 1 Speed	0000~9999				
	Fan 2 Speed	0000~9999				
	Fan 3 Speed	0000~9999				
	Fan 4 Speed	0000~9999				
	Fan 5 Speed	0000~9999				
	Fan 6 Speed	0000~9999				
	Fan 7 Speed	0000~9999				
	Fan 8 Speed	0000~9999				
	Fan 9 Speed	0000~9999				
	Fan 10 Speed	0000~9999				
System Temperature						
Information	Info String					
	Native Resolution					
	Main Source					
	- Resolution					
	- Signal Format					
	- Pixel Clock					
	- Horz Refresh					
	- Vert Refresh					
	Sub Source					
	- Resolution					
	- Signal Format					
	- Pixel Clock					
	- Horz Refresh					
	- Vert Refresh					
	Light Source Mode					
	Standby Power Mode	Active				
		Eco.				
		Communication				
	DHCP	Off				
		On				
	System Temperature					
	Refresh rate					
Source Lock	On					
	Off					
Display message on the OSD						
Filter Wheel Index						
Phosphor Wheel Index						
Light Sensor Calibration						
Get Security password status						
Clear Security password (Service Only)						

Read Command		
Command		
Pass		
	O	k 1
	O	k 0
	O	k nn..nn (Regulatory Name)
	O	k Pnn..nn.nr
	O	k nnnnnn (LAN FW version)
	O	k 0000-9999
	O	k abbbbbccdddee (Note*1)
	O	k nn..nn (e.g. Ok1920x1080)
	O	k nnn..nn (e.g. OkHDMI)
	O	k nnn..nn (e.g. Ok1920x1080)
	O	k nnn..nn
	O	K nnn..nn (e.g. Ok1920x1080)
	O	K nnn..nn (e.g. OkHDMI)
	O	K nnn..nn
	O	k n
	O	k 1
	O	k 0
	O	k 3
	O	k 0
	O	k 1
	O	k nnn..nn (e.g. Ok48)
	O	k nnn..nn (e.g. Ok60Hz)
	O	0000-9999
	O	0000-9999
	O	K a=0 Doesn't exist ; a=1 Existed

Remote Control Simulation					
Power					
Power Off					
Up					
Left					
Enter (for projection MENU)					
Right					
Down					
V Keystone +					
V Keystone -					
Brightness					
Menu					
AV Mute					
Contrast					
Zoom +					
Zoom -					
Focus +					
Focus -					
Mode					
Info					
Re-sync					
HDMI 1					
HDMI 2					
Source					
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
0					
Gamma					
PIP					
Lens H(left)					
Lens H(Right)					
Lens V(left)					
Lens V(Right)					
H Keystone +					
H Keystone -					

-XX140	1
-XX140	2
-XX140	10
-XX140	11
-XX140	12
-XX140	13
-XX140	14
-XX140	15
-XX140	16
-XX140	19
-XX140	20
-XX140	24
-XX140	28
-XX140	32
-XX140	33
-XX140	34
-XX140	35
-XX140	36
-XX140	40
-XX140	41
-XX140	42
-XX140	43
-XX140	47
-XX140	51
-XX140	52
-XX140	53
-XX140	54
-XX140	55
-XX140	56
-XX140	57
-XX140	58
-XX140	59
-XX140	60
-XX140	61
-XX140	63
-XX140	64
-XX140	65
-XX140	66
-XX140	67
-XX140	68
-XX140	69

追加情報

Level 1	Level 2	Level 3	Level 4	Level 5	Level 6	n value
Hot Key (user1)(F1)						
Hot Key (user2)(F2)						
Pattern						
Exit						
Mute						
Return						

Write Command		
Command		
CMD	space	Set Para
-XX140		70
-XX140		71
-XX140		73
-XX140		74
-XX140		77
-XX140		82

Read Command		
Command		
CMD	CMD Value	Pass

追加情報

Optoma 社グローバルオフィス

サービスやサポートにつきましては、現地オフィスにお問い合わせください。

米国

Optoma Technology, Inc.
47697 Westinghouse Drive.
Fremont, Ca 94539

 888-289-6786
 510-996-4794
 services@optoma.com

カナダ

Optoma Technology, Inc.
47697 Westinghouse Drive.
Fremont, Ca 94539

 888-289-6786
 510-996-4794
 services@optoma.com

中南米およびメキシコ

Optoma Technology, Inc.
47697 Westinghouse Drive.
Fremont, Ca 94539

 888-289-6786
 510-996-4794
 services@optoma.com

ヨーロッパ

1 Bourne End Mills
Hemel Hempstead
Hertfordshire
HP1 2UJ
United Kingdom
www.optoma.eu
サービスダイヤル: +44 (0)1923 691865

 +44 (0) 1923 691 800
 +44 (0) 1923 691 888
 service@tsc-europe.com

Benelux BV

Optoma Benelux BV
Europalaan 770 D
1363BM Almere
The Netherlands
www.optoma.nl

 +31 (0) 36 8200 250
 +31 (0) 36 548 9052

フランス

Bâtiment E
81-83 avenue Edouard Vaillant
92100 Boulogne Billancourt, France
 savoptoma@optoma.fr

 +33 1 41 46 12 20
 +33 1 41 46 94 35

スペイン

C/ José Hierro, 36 Of.1C 28529 Rivas
VaciaMadrid, Spain
 +34 91 499 06 06
 +34 91 670 08 32

ドイツ

Optoma Deutschland GmbH
Madrider Straße 10
41069 Mönchengladbach
 info@optoma.de

 +49 (0) 2161 68643 0
 +49 (0) 2161 68643 99

Optoma Scandinavia

Hägernähuset
Sjöflygvägen 35
183 62 Täby
Sweden
 info@optoma.no

韓国

<https://www.optoma.com/kr/>

日本

 <https://www.optoma.com/jp/>

台湾

 <https://www.optoma.com/tw/>

中国

Room 2001, 20F, Building 4,
No.1398 Kaixuan Road,
Changning District
Shanghai, 200052, China

 +86-21-62947376
 +86-21-62947375
www.optoma.com.cn

オーストラリア

 <https://www.optoma.com/au/>

